

● 視學職務規程 明治四十年六月二十七日 廳 達 第一一七號

本市視學職務規程左ノ通相定ム

視學職務規程

第一條 視學ハ市長ノ命ヲ承ケ學事ノ視察并ニ本市教育ノ發達ヲ圖ルヘキ資料ノ研究ニ從事ス但必要ニ應ジ命ヲ承ケ學事ニ關スル庶務ニ從事スルコトアルヘシ

第二條 視學ノ主トシテ視察スヘキ事項ノ概目左ノ如シ

- 一 市立學校長及教員ノ勤務狀況
- 一 教授訓練ニ關スル事項
- 一 其他學校一般ノ狀況

幼稚園ノ視察ニ關シテハ前項ヲ準用ス

第三條 視學ハ視察ノ狀況ヲ具シテ復命スヘシ

第四條 視學ハ視察ニ際シ左ノ事項ニ就テハ其意見ヲ陳述シ若クハ關係者ニ注意スルコトヲ得

一 法令ノ明文及上司ノ訓示ニ牴觸スル事項

二 教授訓練ニ關スル事項

● 學校教員ノ政談等ニ關スル 取締

明治卅一年三月三日 大阪市訓令第五號

用シテ公事ノ進行ヲ左右シ若クハ公法場裏ノ實行ヲ企圖スルカ如キコトアラハ漸ク學術上ノ出版若クハ講談結社タル性質ヲ失ヒ政談若クハ政談社ニ化シ去ルノ恐アルニ依リ教員ニ於テ之ニ與ルハ往々法規ニ觸ルルノ嫌アルノミナラス教員タル者ノ高尚ナル職務及純潔ヲ重スヘキ地位ト全然相容レサル所ナルヲ以テ不心得ノ者ナキ樣嚴ニ取締ヲナスヘシ

區 役 所
市立大阪商業學校
市立大阪高等女學校

國運ノ泰否ハ教育ノ弛張ト相仍ル者最モ密ナリ而シテ教育ノ弛張ハ一ニ教育ヲ司ル者ノ責務ニ屬ス學校教員ハ己ヲ持スルコト謹嚴端正ニ務ニ服スルコト恪勤贊實ニ克ク身ヲ以テ斯道ニ殉スルノ至誠アルニアラスンハ職守ヲ完ニスルコト難シト謂フヘシ若ク大學校教員タル者政論ニ參與シ政事ニ狂奔スルカ如キ事アラシカ職務上ノ公平威信ヲ保チ得ヘカラサルノミナラス教授上ノ懇篤慎密ヲ關キ教育爲ニ萎靡シ延テ國運ノ進歩ヲ阻遏スルニ至ランコト必セリ是現行法規ノ學校教員ニ政談政社ニ參與スル事ヲ嚴禁セル所以ナリ

學校教員合同シテ學術ヲ研磨シ學制ヲ討議シ言論ニ出版ニ各其意見ヲ交換シ見聞ヲ擴充シ以テ其職守ヲ完ウセンコトヲ計リ時ニ或ハ公衆ヲ會シテ學術ノ普及ヲ計ルカ如キ固ヨリ妨ケサル所トス

政談政社ト學術上ノ集會結社トノ分界時ニ或ハ明確ヲ關グコトナキヲ保セサルカ故ニ之ヲ取締ルニ苛察ニ涉ラザルハ固ヨリナリト雖トモ事苟モ明ニ法規ニ觸ルル者アルニ於テハ斷乎タル所置ニ出サル可カラサルモ亦明ナリ

教員タル者徒ニ上司ニ反抗シ他人ヲ誹毀シ又ハ公衆ヲ挑發スルカ如キ行爲ハ常ニ之ヲ慎ムヘキハ勿論出版集會若クハ結社ニシテ其目的單ニ學術ヲ講究シ學制ヲ討議シ自他ノ參考ニ資スルニ止ラスシテ或ハ著作ノ頒布ニ依リ或ハ辯舌ノ感動力ニ依リ又ハ多衆ノ結合力ヲ利

第十類 救 恤

● 窮民救助規則

明治廿二年十月一日
大阪市告示第一四號

(沿革) 四一年三月告示第一六號改正

本市會ノ議決ヲ經テ窮民救助規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

窮民救助規則

第一條 明治七年第百六十二號公達救恤規則ニ適合セサルモ飢餓ニ
迫リ捨置難キ者アルトキハ救助トシテ一人一日金拾七錢以内ヲ支
給スヘシ

救恤規則ニ依リ救助ヲ受クルモ尙生存スルコト能ハサル者ハ國庫
ヨリ下付ノ米代金ヲ合セ一人一日前項ノ金額ニ達スル迄補給ス可
シ

救助ヲ受クル者罹病若クハ死亡シタル時又ハ現ニ救助ヲ受ケサル
モ情狀相等シキモノ罹病若クハ死亡シ費用支辨ノ途ナキトキハ其
療養若クハ埋葬ニ關スル費用ハ實費ヲ支給ス

第二條 前條ニ依リ救助又ハ埋葬費ノ支給ヲ要スルモノアルトキハ
區長ハ其事狀ヲ具シ之ヲ市參事會ニ申請ス可シ
市參事會ハ區長ノ申請ニ依リ事實ヲ審査シ不得止モノト認ムルモ
ノハ其支給金額ヲ定メ之ヲ給與ス可シ

● 窮民救助費支給手續

明治廿二年十一月一日
大阪市訓令第六號
區 役 所

(沿革) 四四年一〇月訓令庶第二九號改正

窮民救助費支給手續左ノ通相定ム

窮民救助費支給手續

第一條 衣食費ハ第一號様式ニ依リ療養費埋葬費ハ其實費ヲ計算シ
第二號様式ニ依リ其時々債主ノ請求書(第三號様式)ヲ徴シ報告ス
ヘシ

第二條 被救助人死亡其他異動ヲ生シタルトキハ直ニ市參事會へ報
告スヘシ但疾病ニ罹リタルモノアルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添へ報
告スヘシ

前項ノ場合ニ於テ救助金ノ支給ヲ止ムルトキハ其月分日割ヲ以テ
支給スルモノトス

第三條 區長ハ隨時被救助人ノ居宅ニ就キ其狀況ヲ視察シ若シ救助
ヲ要セサルモノト認ムルトキハ直ニ之ヲ停止スヘシ

第四條 削 除

右之通相違無之候ニ付別紙請求書相添へ報告候也

年 月 日

何區長 氏 名印

大阪市長宛

(第三號様式)

救助費請求書(本書ハ總テ豫算ノ附記別ニ請求スルコト)

一金何程 但極貧者(一時救助人)何々費

内 譯

全	全	全	請求金額	事	由	何區役所	氏	名

計

右請求候也

年 月 日

何區 町 番地

保護者 何 某

大阪市長宛

●市費救助費支辨ニ係ル窮民 救護方

明治四十二年五月廿五日 訓令總第一六號

四 區 長

本月廿日附大阪府達第四〇號ヲ以テ本市東區中道唐居町大阪教育所 窮民救護事業停止相成候ニ付別紙ノ通り大阪慈惠會及大阪養老院へ 收容方指令致候條廿六日朝食後直ニ移轉ノ上右救護ニ關シ必要ナル

第十類 救 恤

事項ハ四區長協定ヲ遂ケ命令書ヲ交付シ將來其區ニ於ケル市費支辨ノ窮民ハ別紙指令ノ條件ニ基キ收容方取計フヘシ

命 令 書 明治四十二年五月廿九日

第一條 當區ノ送付ニ係ル被救助人ハ總テ收容救護ヲナスヘシ

第二條 被救助人ノ送付ヲ受ケタル時ハ直ニ受書ヲ差出スヘシ 但シ送付ヲ受ケタル被救助人疾病者ナルトキハ醫師ヲシテ診察セシメ受書ト同時ニ診斷書二通ヲ差出スヘシ

第十類 救 恤

三五二

- 第三條 被救助人ノ救助費ハ國庫ヨリ支給セラル、救助米代及市費ヨリ補給ノ衣食費ノ外支給セス
- 第四條 國庫ヨリ救助米代支給セラレサル者ハ市費ヨリ支給セラルル衣食費ヲ給ス
- 第五條 一時救助人トシテ送付シタルモノニ係ル時ハ衣食費一日ニ付金拾六錢以内及第七條ノ療養費ヲ支給ス
- 第六條 送付ヲ受ケタル被救助人疾病ニ罹リタル時ハ直ニ治療ヲナスヘシ此場合ニ於テハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ届出ヘシ
- 第七條 被救助人疾病治療ヲ爲シタルトキハ衣食費ノ外一人ニ付一日金拾八錢以内ノ療養費ヲ支給ス
- 第八條 疾病者全治又ハ病症變更シタル時ハ診斷書ヲ添ヘ直ニ届出ヘシ
- 第九條 送付ヲ受ケタル被救助人死亡シタル時ハ直ニ届出テ其指揮ヲ受ケ死体假埋葬ノ取扱ヲ爲スヘシ
但シ本條ノ場合ニ於テハ戸籍法第二百二十六條第三號ノ規定ニ基キ戸籍吏ニ對シ全法第二百二十五條ノ届出ヲ爲スヘシ
- 第十條 療養費ハ其治療ヲ終リタル時又ハ治療中ニ係ルモノハ其翌月三日迄ニ費用ノ請求書ヲ差出スヘシ
- 第十一條 假埋葬費ハ左ノ割合ヲ以テ支給ス
 - 一 死体番人賃 金五拾錢
 - 一 埋葬人足賃 金七拾五錢
 - 一 埋葬料墓標料共 金七拾五錢
 - 一 埋葬地料 金壹圓

- 第十二條 被救助人ノ被服寢具ハ季節ニ適シタルモノヲ供給スヘシ
- 第十三條 前數條規定ノ外特ニ費用ヲ要スルモノアル時ハ其都度事由ヲ申立テ許可ヲ得ルニ非ラサレハ一切支給セサルモノトス
- 第十四條 被救助人送付ノ人足賃及埋葬費等ハ一時繰換ヘ置キ他日其者ノ救護取扱費請求ノ際共ニ請求スヘシ
- 第十五條 左ノ場合ニ於テハ現ニ支拂ヲ受ケタル費用ノ返納ヲ爲スヘシ
 - 一 市費衣食費支給後本人放解又ハ死亡其他救助ヲ解キタル時ハ其翌日以後ノ分
 - 二 支拂後過剩ヲ生シタルカ又ハ誤謬ニ依リ支拂ヒタルコトヲ發見シタル時ハ其過剩若クハ誤謬ニ係ル分
- 第十六條 其院規定代表者及擔當醫師ノ變更アリタルトキハ直ニ届出ヘシ
- 第十七條 此命令ニ違背シタル時又ハ當所ノ都合ニ依リ委託解除若クハ命令ヲ變更スルコトアルヘシ

●貧民施療規則

明治廿二年十月一日
大阪市告示第一六號

本市會ノ議決ヲ經テ貧民施療規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

貧民施療規則

第一條 市内ニ住居スル貧困者疾病ニ罹リ他ニ保護スヘキ親族故舊

ナキモノハ此規則ニ依リ施療スルモノトス

第二條 前條ニ依リ治療ヲ受ケントスル者ハ本人又ハ其親族知人ヨリ書面若クハ口頭ヲ以テ所轄區長ニ願出ヘシ

第三條 區長ハ出願者アルトキハ其實情ヲ審査シ別紙様式ノ施療券ヲ付與スヘシ

第四條 施療券ヲ受ケタル患者ハ該券ヲ携帶シ市參事會ニ於テ指定シタル病院ニ就キ治療ヲ受クヘシ
但瘋癲病患者ニ限リ入院セシムルコトアルヘシ

第五條 前條ニ依リ治療ヲ受ケタル患者ハ其時々施療券ノ裏面ニ治療全癒又ハ入院等月日ノ記入ヲ受クヘシ

第六條 患者全癒死亡又ハ一週日以上休業スルトキハ直ニ施療券ヲ返納スヘシ

第七條 施療費ハ左ノ定額ニ依リ市費ヲ以テ支辨スヘシ

- 一 診察料 一回 金拾錢以内
- 一 入院料 一日 金參拾錢以内
- 一 内用藥價 一日 金六錢以内
- 一 外用藥價 實費
- 一 療用品代價 同上

(別紙) 第 號 貧民施療券

區町番地戸主又ハ其子弟
職業 何 某
生年月日

第十類 救 恤

三五三

右貧民施療規則第三條ニ依リ之ヲ付與ス

年 月 日
(裏面)

某區役所

注 意

一 此證券ハ全癒又ハ一週日以上休業シタルトキハ速ニ返納スヘシ
若返納セサルトキハ無効タルヘシ

●貧民施療券付與手續

明治廿二年十月十六日
大阪市訓令第三二號

區 役 所

(沿革) 四四年一〇月訓令第三二號改正

貧民施療券付與手續左ノ通相定ム

貧民施療券付與手續

第一條 區長ハ施療患者名簿ヲ製シ施療券付與又ハ返納ノ時々第一號様式ニ依リ登記スヘシ

第二條 規則第三條ニ依リ施療券ヲ付與スルトキハ患者名簿卜割印ヲ爲スヘシ

第三條 區長ハ第二號様式ニ依リ毎月施療券付與人員表ヲ製シ翌月五日限リ囑託醫ノ請求書(第三號様式)ヲ徴シ市長ヘ報告スヘシ

第四條 施療券用紙ハ豫算ヲ以テ市長ヘ請求スヘシ

第五條 削除

第十類 救 恤

(第一號樣式)

施療券番號	第何號
住所及族籍	何町何番屋敷住居何縣何市何郡何町何番屋敷士族又ハ平民
戶主及父子兄弟ノ別	戶主又ハ其父子兄弟
職 業	何々
氏 名	何某
生 年 月 日	何年何月何日生
施療券付與月日	何年何月何日付與
全返納事由及月日	全癒死亡又ハ休藥ニ付何年何月何日返納

(第二號樣式)

明治何年何月中貧民施療券付與人名表

施療券付與月日全引換月日	施療券番號	住 所 及 族 籍	職 業	氏 名	生 年 月 日
月 日		何町何番屋敷何府縣士族又ハ平民		何 某	何年何月日生

右ハ貧民施療規則第三條ニ依リ施療券付與ノ人員書面ノ通ニ有之候間此段報告候也

年 月 日

大阪市長宛

何區長 氏

名 印

(第三號樣式)

救助費請求書(本書ハ總テ豫算ノ附記別ニ請求スヘシ)

但貧民施療費ノ内診察料(藥料)

一金 何程 内 譯

請求金額	事	由	住 所	被 救 助 人 名
金 何圓 何錢	何月何日ヨリ何月何日マテ何日間診察料何回一回金何錢			
全				

第十類 救 恤

計
右請求候也
年 月 日
何 町
何 某

●棄兒養育規則

明治廿二年十月一日 大阪市告示第十五號

(沿革) 四一年三月告示第一五號改正

本市會ノ議決ヲ經テ棄兒養育規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

棄兒養育規則

第一條 貰受人ナキ棄兒ハ區長ニ於テ相當ノ養育人ヲ定メ之ヲ依トスヘシ

第二條 棄兒ノ養育ヲ依トスルトキハ明治四年六月布告ニ依リ國庫ヨリ下付ノ米代金ヲ給與スルノ外補助費トシテ滿十三歲迄一人一日金拾四錢以內ノ金額ヲ給與ス可シ但棄兒罹病若クハ死亡シタルトキハ其療養費及ヒ埋葬費ハ實費ヲ支給ス

第三條 前條補助費ノ支給額ハ區長ノ申請ニ依リ市參事會之ヲ定ム

●棄兒養育補助費支給手續

明治廿二年十月一日 大阪市訓令第五號 區 役 所

(沿革) 四四年一〇月訓令庶第三〇號改正

棄兒養育補助費支給手續左ノ通相定ム

棄兒養育補助費支給手續

第一條 規則第一條ニ依リ區長ニ於テ養育人ヲ選定シタルトキハ其受負命令書ノ贈本ヲ添附シ市參事會ヘ報告スヘシ

第二條 補助費ノ支給方法ハ國費養育米代下渡手續ニ準據ス可シ但衣食費ハ第一號様式ニ依リ療養費埋葬費ハ其實費ヲ計算シ第二號様式ニ依リ其時々債主ノ請求書(第三號様式)ヲ徴シ市長ニ

第三條 棄兒死亡其他異動アリタルトキハ直ニ市參事會ヘ報告スヘシ

シ但疾病ニ罹リタルモノアルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ報告スヘシ
前項ノ場合ニ於テ補助費ノ支給ヲ止ムルトキハ其月分ハ日割ヲ以

テ支給スルモノトス
第四條 區長ハ隨時養育人ノ居室ニ就キ其狀況ヲ視察スヘシ
第五條 削除

○様式左ノ如シ用紙ハ通常罫紙 (第一號様式)

一金何 程	明治何年度市費救助費中棄兒養育報告
内 釋	但衣食費(療養費)
支給金額	事 由
何圓何錢	何月何日ヨリ何月何日迄何日分
.....	何月何日ヨリ何月何日迄何日分
計 何 程	何 人
	棄兒名及何月相當年齡
	養育人町村氏名
	住 所 氏 名
	某何年何月
	何區何町
	何區何町
	何 某

第十類 救 恤

右棄兒養育補助費書面之通相違無之候ニ付此段報告候也

年	月	日
何區長 氏 名 印		
大阪市長宛		

(第二號様式)

明治何年度市費救助費中棄兒療養報告

一金何程	但療養費ノ内(診察料)埋葬費(ノ内埋葬料)	
内 譯	事 由	棄兒氏名
支給金額	何月何日ヨリ何日迄服藥何日分一日金何程	正當受領人
金何程	何月何日ヨリ何日迄服藥何日分一日金何程	住 所 氏 名
金何程	何區何町
金何程	何區何町
金何程	何區何町
金何程	何區何町
金何程	何區何町

金何程	何月何日 死亡 埋葬料(埋葬地料)
計何程			

右之通り相違無之候ニ付此段及報告候也

年 月 日

何區長 氏 名 印

大阪市長宛			
-------	--	--	--

(第三號様式)

救助費請求書(請求書ハ總テ豫算ノ附記別ニ調製スヘシ)

一金何程	但棄兒養育費ノ内衣食費(療養費)
------	------------------

第十類 救 恤

請求金額	事由	内譯			由	何區何町	棄兒名
		全	全	全			
計							
右請求候也							
年 月 日	何區何町	番地					
大 阪 市 長 宛	養育人 何	某					

●被救助者及棄兒ニ對シ金品給與方

明治卅二年二月一日
大阪告示第七號

明治二十二年十月大阪告示第十四號窮民救助規則ニ依リ救助(時ノナ除ク)及補給ノ者並ニ同年十月大阪告示第十五號棄兒養育規則ニ基キ補助費支給ノ棄兒ニ對シテハ其規定給與金ノ外時機ニ依リ特ニ金品ヲ給與スルコトアルヘシ

第四條 救助米ハ年齡十五年以上七十年未滿男一日白米五合十五年未滿七十年以上ノ男及女ハ一日同四合ノ割ヲ以テ之レヲ給與スヘシ

●交通遮斷窮民救助費支給手續

明治廿八年六月十一日
大阪告示第一六號

交通遮斷窮民救助費支給手續別紙ノ通相定ム(別紙)

第一條 交通遮斷中薪水及飯米等ヲ給與シタルトキハ遮斷解除後五日以内ニ其費用ヲ市參事會ヘ請求スヘシ

第二條 副食物及薪水等ハ左ノ程度ヲ以テ給與スヘシ
 梅干 一日一人ニ付 六 個
 飲料水 全 二 升
 薪 全 百五十匁
 家賃 實 費

第三條 薪水及飯米等ハ區役所ニ於テ購入シ遮斷日數ニ應シタル員數ニ各救助人ヨリ領收證印ヲ徴シ交付スヘシ

第四條 薪水及飯米等交付ノ爲メ人足ヲ要スルトキハ日給貳拾五錢

●交通遮斷窮民救助規則

明治廿三年八月廿七日
大阪告示第四一號

本市會ノ議決ヲ經テ交通遮斷窮民救助規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

交通遮斷窮民救助規則

第一條 傳染病豫防ノ爲メ一戸若クハ一部落ノ交通ヲ遮斷シタルトキハ其遮斷内ニ居住又ハ滞在スル貧困者ニシテ資ヲ受クヘキ親戚故舊ナキモノニ限リ此規則ニ依リ救助スルモノトス

第二條 救助ヲ受ケントスル者ハ書面若クハ口頭ヲ以テ豫防消毒施行ノ爲メ出張セシ吏員ニ願出ヘシ

第三條 前條出願ノ者アルトキハ區長ニ於テ其事實及人員ヲ審査シ遮斷中救助米及飲料水其他飲食ニ必要ナル物品並ニ轉居隔離ノ爲メ家賃ヲ要スルトキハ其家賃ヲ給與スヘシ

第十類 救 恤

以內ナテテ雇使スヘシ

第五條 第一條第三條第四條ニ記載スル薪水及飯米等ノ代價並ニ交

第一號

虎列拉發生交通遮斷費請求書

付人足賃等ハ別紙第一號第二號第三號第四號様式ニ依リ調製スヘシ

但第四號様式ハ區役所ニ保存スヘシ

合計	自 年 月 日	至 年 月 日	交通遮斷期間		何斗	何石	何個	何貫	金額計	住所	族籍氏名	年齢
			員數	金額								
			飯	米								
			飲料水									
			梅干									
			薪									
			金額									

右虎列拉病發生ニ付交通遮斷線内居住ノ貧困者ニ給與セシ薪水及救

助米等ノ費用前書ノ通り相違無之候間御渡相成度此段及請求候也

年 月 日

區 長 印

大阪市參事會宛

年 月 日

區 長 印

大阪市參事會宛

第二號

請求書

一金何程

何 某渡ノ分

但明治 年 月 日ヨリ 月 日迄虎列拉病交通遮斷線内居

住貧困者ハ救助米等配布人足賃一日ニ付金何程

右御渡相成度及請求候也

右御渡相成度候也

年 月 日

區 長 印

大阪市參事會宛

但明治何年何月何日ヨリ 月 日迄虎列拉病交通遮斷線内居

住貧困者町番屋敷何某隔離ノ爲メニ要セシ家賃一日ニ付金何

第四號

救助米其他交付證印簿

某區役所

救助米其他交付證印簿

年 月 日	飯 米	飲料水	梅 干	薪	住所	族籍	戸 主 氏 名
月 日 何斗	何石	何個	何貫目

一救助ヲ受クヘキ貧困者一家數人ナルモ飯米等ハ人員ニ應シタル員數ヲ取纏メ戸主ニ交付スヘシ

一救助米等ノ交付ヲ了シタルトキハ各其欄内ニ證印ヲ徴スヘシ

第十類 救 恤

●六傳染病ニ罹リタル貧困者救濟費繰替方

明治廿六年九月十四日
大阪市訓令參三第二九號

區 役 所

六傳染病ニ罹リタル貧困者救濟費用ハ自今其役所經費中ヨリ一時繰替支辨スヘシ

●行旅病人同死亡人(精神病者)取扱件數報告方

明治卅九年九月廿六日
訓令總第三七號

行旅病人同死亡人及精神病者取扱件數報告様式別紙ノ通相定メ候條翌年一月十五日限リ報告スヘシ
別紙 行旅病死(精神病者)取扱件數表 (明治 年十二月卅一日調)

月 別	繰越件數	取扱件數	辨濟ヲ得完				扶養義務者取		未著手ノ
			了セシモノノ人員	金額	本府へ請求中ノモノノ人員	金額	扶養義務者へ請求中ノモノノ人員	金額	
一 月									
二 月									
三 月									
四 月									
五 月									

月	繰越件數	取扱件數	了セシモノノ人員	金額	本府へ請求中ノモノノ人員	金額	扶養義務者へ請求中ノモノノ人員	金額	未著手ノ
六 月									
七 月									
八 月									
九 月									
十 月									
十 一 月									
十 二 月									

第十一類 勸業及統計報告

● 苗代害蟲驅除方法

明治卅三年二月八日
訓 庶 第 四 號
區 役 所

米作ノ豊凶ニ至大ノ關係ヲ及ホスハ浮塵子及螟蟲ノ害ニシテ僅カノ害蟲ト雖モ一度發生スレハ幾分ノ收穫ヲ減スルヲ免レズ若シ全ク害蟲ナキニ於テハ肥料ノ用量耕作ノ方法ヲ改メサルモ大ニ收穫ヲ増スヘキ一言ヲ談タス而シテ害蟲ハ稻苗移植後ニ至リテハ驅除ノ法甚タ困難ニシテ寧ロ適當ノ方法ヲシト云フモ可ナラン然トモ之ヲ苗代ニ行フトキハ其區域狹少ナル爲メ完全ノ方法ヲ施スヲ得ヘシト雖トモ在來ノ苗代ハ舊慣ニ依リ其面積ノ廣大ニ失セシヨリ充分ニ之ヲ施スコト能ハスシテ終ニ害蟲ノ繁殖場ヲラシメ自他ノ害ヲナスコト頗ル大ナリトス今ヤ苗代設備ノ期節ニ當レリ此際舊慣ヲ改メ苗代ノ幅ハ五尺以内トシ其周圍ヲ自由ニ通行シ能ク驅除ノ方法ヲ實行シ得ラルル様設備可致旨當業者ヘ訓諭スヘシ

● 人口統計材料小票取扱方

明治卅三年十二月三日
訓 庶 第 一 〇 九 號

第十一類 勸業及統計報告

大阪府訓令第七十號ヲ以テ人口統計材料小票取扱手續中改正相成候ニ付テハ該小票ハ來ル明治三十四年一月分ヨリ一ヶ月分宛取廻メ送付目錄ヲ添ヘ翌月五日限り當所ニ差出ヘシ

區 役 所

● 出產死亡死産數報告方

明治四十二年九月三十日
訓 衛 第 三 六 號
區 役 所

其區ニ於ケル出產死亡死産數ハ自今別紙様式ニヨリ調製シ翌月五日限り當役所ヘ報告スヘシ
但シ從前本件ニ關シ發シタル訓令等ハ之ヲ廢止ス

明治何年何月分出產死亡死産數月報		何區役所	
出 産	死 亡	男	女

三六七

死産

本表ハ大阪府報告例第二十二表ニ準シ調製スルモノトス

報告ヲ要セサル義ト御了承有之度依命此段及通牒候也

大阪市長宛

大阪府内務部長

工場統計報告ニ關スル件

明治四十二年十二月二十二日
庶乙第三七〇號

明治四十二年十一月農商務省令第五十九號工場統計報告規則ニ依リ報告スヘキ工場調査ニ關シ別紙ノ通り其筋ヨリ通牒有之候ニ付御了知相成度此段及通牒候也

大阪市役所

工場票調査報告方

明治四十二年十二月二十二日
庶乙第三七一號

明治四十二年十一月農商務省令第五十九號ニヨリ工場主ヨリ報告シタル小票ハ一應之ヲ検査シ記入ニ誤記等アルトキハ夫々訂正セシメタル上添書ニ總枚數ヲ明記シテ進達候様其筋ヨリ通牒有之候ニ付右様御了知相成度此段移牒候也

大阪市役所

別紙

區役所宛

明治四十二年十二月六日統甲第七六九號

明治四十二年十一月農商務省令第五十九號工場統計報告規則ニヨリ報告スヘキ工場トハ家内工業ト否トナ問ハス製造、變造、修覆、裝飾、修整、其他ノ加工業、包裝業、荷造業、電氣又ハ瓦斯供給業、印刷業、寫真業、製煉業（鑛業附屬ノモノヲ除ク）其他各種ノ工業ヲ稱スルモノニ有之中央官廳直轄ノ工場中央官廳直轄ノ學校又ハ試験場等ニ附屬スル工場、監獄内ノ工場、採鑛業ニ付テハ

統計報告例

明治四十四年十一月二十二日
訓令 庶 第四十九號

統計報告例別冊ノ通制定候條自今本例ニ依リ報告スヘシ但明治三十二年九月訓令庶第五十一號明治三十二年十月訓令庶

衛生ニ關スル統計材料調査ノ件

明治四十四年一月十一日
庶乙第一二二號

本市統計書編纂材料トシテ必要有之候ニ付左記事項別紙様式ニ依リ前年中ニ於ケル事實來ル二月末日限取調ノ上御回報相成度此段依命及通牒候也

追テ右事項ハ毎年（二月末日限）御通知有之度尙死亡者體性原因及年齡別表ハ明治三十八年三月訓令第十二號別冊大阪府報告例第二十八表ノ二ノ一様式ニ依リ各區ヨリ提出セル月別表ヲ調製シ御回報相成度申添候也

衛生課長宛

庶務課長

左記

- 一 現住者ノ死産月別
- 一 八種傳染病患者及死亡者
- 一 種痘
- 一 公設便所
- 一 塵芥汚泥運搬具使用度數
- 一 塵芥焼却
- 一 掃除人夫延數月別
- 一 火葬及料金
- 一 鼠買收月別

會社、工場及工産物調査ニ關スル件

明治四十三年四月十一日
庶甲第二八八號

農商務統計報告中會社、工場及工産物調査票ニ關シテハ當業者ヨリ提出ノ際其區ニ於テ一應其記載事項ヲ検査シ不備ノ点アルモノニ對シテハ之ヲ訂正セシメタル上收受シ進達可相成管ニ有之候處近來其記載事項中ニ往々不備ノ点有之候爲メ之カ調査ニ非常ノ手數ト時日ヲ要シ不都合不尠候條右蒐集ノ際必ス検査ノ上收受相成候様致度此段及通牒候也

區長宛

助役名

八種傳染病患者及死亡者月別 (明治 年)

月	赤痢		チフス		腸胃		痘		瘧疾		紅熱		發疹		虎列拉		計
	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	患者	死亡	
一月																	
二月																	
三月																	
四月																	
五月																	
六月																	
七月																	
八月																	
九月																	
十月																	
十一月																	
十二月																	
計																	

十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	計
男												
女												
計												

種痘 (明治 年)

種	初		再		以上		合		計
	善感	不善感	善感	不善感	善感	不善感	善感	不善感	
西區									
南區									
東區									
北區									
計									

清潔法施行 (明治 年)

區	掃除		掃除		汚		泥		塵芥		運搬	具
	法	戶數	夫	人	量	容	量	容	量	車		
西區												
三區												
計												

月	塵芥燒却 (明治 年)											
	一ヶ月平均	一ヶ月平均	一ヶ月平均	一ヶ月平均	一ヶ月平均	一ヶ月平均	一ヶ月平均	一ヶ月平均	一ヶ月平均	一ヶ月平均	一ヶ月平均	一ヶ月平均
十月												
十一月												
十二月												
計												

月	塵芥燒却場著船數 (艘)						電入塵芥高						出灰量						賣却灰量						使用人夫延數 (人)					
	一	二	三	四	五	六	一	二	三	四	五	六	一	二	三	四	五	六	一	二	三	四	五	六	一	二	三	四	五	六
一月																														
二月																														
三月																														
四月																														
五月																														
六月																														

月	七	八	九	十	十一	十二
七月						
八月						
九月						
十月						
十一月						
十二月						
計						

月	汚泥搬出月別 (明治 年)												
	西三區	西四區	西區計	南五區	南六區	南區計	東一區	東二區	東區計	北七區	北八區	北區計	合計
一月													
二月													
三月													
四月													

火葬場墓地 (明治 年)

墓地	坪	境内	坪	葬儀所	坪	火葬場		禮祭所	坪	休憩所	坪	事務所	坪	其他	坪
						建	電								
岩崎															
天王寺															
長柄															
浦江															
外國人墓地															
計															

火葬及料金 (明治 年)

岩崎	坪	大		人		小		兒		合		計	料	金
		特	等	上	下	赤	貧	特	等	上	下			
岩崎														
天王寺														
長柄														

浦江	坪	大	人	小	兒	計	料	金
計								

埋葬及料金 (明治 年)

岩崎	坪	大	人	小	兒	計	料	金
天王寺								
長柄								
浦江								
計								

鼠買收月別 (明治 年)

鼠買收數	各派出所買收中發見有菌鼠數	消毒及除鼠施行ノ際發見有菌鼠數	特別除鼠隊買收中發見有菌鼠數	計
一月				
二月				

船ノ部ニハ五拾石未滿ノモノ記載ヲ要セサル處往々混記セラ
ルモノアリ注意ヲ乞フ

一 船舶表ニ記載スル船舶ハ荷扱ノ有無ニ拘ラス苟モ其港灣ニ出入
スルモノハ假令避難ノ爲メ入港シ其儘出港スルモノト雖モ悉皆
調査スルモノトス

但前項ノ船舶ハ無論記入ヲ要セス

一 貨物表ハ船舶ニ依リ出入シタル一切ノ物品ヲ調査スルモノニシ
テ陸路ニ依リ出入シタルモノハ之ニ關セス而シテ貨物ノ調査ハ
船舶ノ調査ト異ナルヲ以テ假令貳拾噸未滿、五拾石未滿ノ船舶
ニ依リ出入シタル貨物ト雖モ總テ表中ニ記載スルモノトス

一 貨物表ニハ一貨物毎ニ單位ヲ明記スルコトニ相成居レトモ地方
ニ依リ習慣上特種ノ單位ヲ記セラルルモノアリ是等ハ可成其分
量ヲ附記セラレ度又開港地ニ於ケル貨物表ノ單位ハ可成稅關ノ
分ト同一ニ致サレ度コト

一 貨物表ハ仕出地仕向地ヲ別ニスル毎ニ數量金額共區別シテ記載
スヘキ筈ノ處往々一貨物ニシテ數地方ニ亘ルモノヲ合記セラレ
タルモノアリ右ハ將來調査方法ヲ改メ必ス仕出地仕向地ヲ別ニ
スル毎ニ區別記載相成度

一 貨物中數量ノ判然セサルモノ又ハ同一品種中精粗大小ナ間ハス
壹個ニ荷造リタルモノハ金額ノミヲ記入セラレ度

一 外國貿易ニ關スルモノヲ船舶表并ニ貨物表ニ加ヘサルハ內務省
ニ於テ調査シタル内地各港間ノ出入船舶及貨物ヘ大藏省ニ於テ
調査シタル外國貿易額ヲ合セ各港灣ニ於ケル船舶及貨物ノ總額

●石炭消費高報告ニ關スル件

明治四十四年五月十七日
庶乙第一五八號

農商務統計報告材料トシテ必要有之候ニ付石炭消費高別紙様式ニ依
リ自今毎年三月十五日限リ御通知相成度依命此段及通牒候也

庶務課長

宛

土木課長

衛生課長

經理課長

電氣鐵道部長

港灣課長

追而右ハ本年ニ限リ特ニ本月二十日迄ニ御通知相成度候

(別紙)

石炭消費高

明治何年

種別	數量	斤
計		
備考		

一本表ハ前年中ニ消費シタル高ナ和斤ニ依テ調査記入セラレタシ

第十一類 勸業及統計報告

ヲ定ムルモノナルニ依リ調査ヲ要セサル次第ナリ

但シ外國貿易ニ從事スル船舶ノ避難シタル場合ハ船舶表中ニ
加フルモノトス

一 港灣狀況欄ニ記入簡略ニ失スルモノアリ可成詳細ニ記入セラレ
度又同欄戸口増減ノ項記載方ハ何年末現在戸數何程人口何程前
年ニ比シ何程増減ト記入ヲ乞フ

一 訓令ト同時ニ及通牒候三十八年ノ調査ヲ行ヒタル各港灣以外ノ
港灣ニシテ三十九年以後ノ調査ニ加ヘラレタルモノハ特ニ港灣
ノ現況ヲ詳記相成度(干満、水深、恒風、惡風、地形、砂害、
築港、關係諸港、貨物集散區域其他後方地域ニ關スル記事等別
紙例示ノ通)尤モ此現況調ハ一時各港灣ヲ調査シ難キトキハ漸
次報告相成差支無之

一 本調査ノ主査土木課ニ非ラサル地方廳ニ於テハ港灣狀況ノ調査
ハ必ス同課ニ協議相成候様致度

一 調査ノ正確ナ期スル爲メ左記ノ如キ關係官衙法人等存在スル港
灣ニ於テハ調査ノ際可成打合せヲ致サレ度コト

一 鐵道廳、稅關、海務署、同出張所、燈臺、通航信號所、港務部
水上警察署、警察署、船舶見張所、帆別錢取立所

一 從來報告無カリシ港灣ト雖トモ新ニ商船ノ出入スルコトトナリ
タル等ノ場合ハ他ノ港灣同様調査報告相成度又定期商船ノ寄港
ヲ爲シタル等ノ爲メ掲載スヘキ事實ナキ場合ハ其ノ旨報告相成
度

一種別欄ニハ石炭消費ノ用途ヲ詳細ニ區別調査記入セラレタシ
一備考欄ニハ前年ト比較シ増減ノ理由ヲ詳記セラレタシ

第十二類 度量衡

● 度量衡取締規程

明治四十一年三月三日
大阪告示第一四號

本市度量衡取締規程左ノ通り相定ム

- 度量衡取締規程
- 第一條 度量衡ノ取締ハ度量衡取締吏員ヲシテ之ニ從事セシム
 - 第二條 度量衡取締吏員ニハ左記様式ノ證票ヲ携帯セシム
 - 第三條 度量衡ノ取締ハ左ノ方法ニ據リ之ヲ行フ
 - 第一 集合調査
 - 第二 隨時調査
 - 第四條 集合調査ハ毎年一回以上度量衡器使用者ヲシテ豫メ指定シタル場所ニ其物件ヲ提出セシメテ之ヲ行ヒ隨時調査ハ隨時使用ノ場所ニ就キ之ヲ行フ但シ必要ト認ムルトキハ度量衡ニ關スル物件ヲ指定ノ場所ニ提出セシムルコトアルヘシ
 - 第五條 度量衡取締吏員ハ物件ノ調査ヲ行フ際差狂又ハ構造ノ異狀其他不正ノ疑アル物件ヲ發見シタルトキハ其使用者又ハ管理者ニ對シ相當ノ期間内ニ之ヲ修覆ヲナサシメ又ハ其檢定ヲ受ケシムルコトアルヘシ

● 度量衡取締手續

明治四十一年三月四日
應達第一四號

本市度量衡取締手續別紙ノ通相定ム

- 度量衡取締手續
- 第一章 集合調査
 - 第一條 集合調査ハ度量衡器使用者ヲシテ便宜指定ノ場所ニ其物件ヲ提出セシメテ之ヲ行フヘシ
 - 第二條 調査ノ區域場所及日時ハ豫メ之ヲ公示ス
 - 第三條 調査ノ區域場所及日時ヲ公示シタルトキハ物件所有者ニ對シ別ニ定ムル注意書ヲ配布スヘシ
 - 第四條 集合調査ハ一組四名乃至七名ノ取締吏員ヲ以テ之ヲ行ハシ

商權第 號

大阪市度量衡取締吏員證

紙質 鳥ノ子

豎 三寸

幅 二寸

第十二類 度量衡

第四條 調査事務ハ受付調査ノ二係トス

第五條 受付係ハ調査物件ヲ受付ケ之ヲ臺帳ニ記入シテ傳票ヲ添ヘ

調査係ニ引繼クヘシ

第六條 調査係ハ受付順ニ依リ調査ヲ行ヒ其成績ヲ傳票ニ記入シテ

受付係ニ引繼クヘシ

第七條 調査係ハ不正ノ疑アル物件ニ就テハ其理由ヲ傳票ニ記入シ

相當ノ措置ヲナスヘシ

第八條 受付係ハ調査物件ノ引繼ヲ受ケタルトキ其成績ヲ臺帳ニ

記入シ物件ヲ順次差出人ニ交付スヘシ

第九條 受付係ハ不合格物件ニシテ修覆ノ見込ナキトキハ其理由ヲ

差出人ニ諭示シ任意破毀セシムヘシ

第十條 調査ニ従事セル取締吏員中ノ上席技手又ハ書記ハ毎日調査

成績書ヲ作成シ課長ヲ經テ之ヲ市長ニ報告スヘシ

第二章 隨時調査

第十一條 隨時調査ハ度量衡器使用ノ場所ニ就テ之ヲ行フ

第十二條 隨時調査ニ於テ差狂又ハ構造ノ異狀其他不正ノ疑アル物

件ヲ發見シタルトキハ修覆ヲ命シ又ハ別ニ定ムル命令書ニ依リ指

定ノ場所ニ提出セシムヘシ

前項ニ該當スル場合ニハ其結果ヲ調査スヘシ

第十三條 隨時調査ニ於テ違反事實ヲ發見シタルトキハ其始末ヲ市

長ニ具申シテ指揮ヲ受クヘシ

第十四條 隨時調査ニ従事セル取締吏員ハ每週調査成績書ヲ作成シ

課長ヲ經テ之ヲ市長ニ報告スヘシ

第十三類 土木

●工事入札請負規則

明治二十二年十月一日
大阪市告示第一七號

本市會ノ議決ヲ經テ工事入札請負規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一章 工事入札請負規則

第一條 入札ヲ以テ工事ノ請負ヲ命セントスルトキハ揭示又ハ新聞

紙其他ノ方法ヲ以テ公告スヘシ

但時宜ニ依リ市參事會ニ於テ入札人ノ資格ヲ定ムルコトアルヘ

シ

公告ニハ左ノ事項ヲ掲記スヘシ

一 入札ニ付スル事項

二 入札開札ノ場所及日時

三 入札保證金額

四 請負期限

五 市參事會ニ於テ入札人ノ資格ヲ定メタルトキハ其資格

第二條 入札人ハ工事方法書及現場ノ狀況ヲ熟覽シ公告シタル日時

迄ニ別紙第一號様式ニ依リ入札スヘシ

第三條 入札セントスルモノハ入札保證金ヲ納ムヘシ其額ハ隨時之

ヲ定ム但時價相當ノ公債證書又ハ國立銀行預リ證ヲ以テ之ニ代フ

第十三類 土木

ルモ妨ケナシ

前項ノ保證金ハ入札ニ先チ府廳會計課長又ハ區長ヲ經テ市税金取

扱人ニ預ケ入其預リ證ヲ入札ニ添附シ主務吏員ノ領收書ヲ受クヘ

シ

第四條 入札保證金ハ落札者ハ第八條ノ手續ヲ了シタル上之ヲ還付

シ其他ハ開札ノ後直ニ還付スヘシ

但落札者ノ入札保證金ハ請負ヲ命スルトキ第八條ノ身元保證金

ト差繼テ爲スモ妨ケナシ

第五條 開札ハ豫定ノ日時入札人又ハ其代人ノ面前ニ於テ之ヲ行フ

ヘシ

開札ニ着手シタルトキハ入札又ハ書換取消等ノ要求ヲ爲スヲ得ス

第六條 入札ハ其最低價ヲ以テ落札トス

落札トナルヘキモノ二名以上アルトキハ抽籤ヲ以テ其落札者ヲ定

ムヘシ

落札ノ金額不相當ナルカ又ハ落札者工事ニ經驗ナキカ若クハ身元

確實ト認め難キトキハ總テ入札ヲ取消シ更ニ入札セシムヘシ但時

宜ニ依リ再入札ニ付セス第二ノ低價ヲ以テ落札トナスコトアルヘ

シ

第七條 落札者ハ日數五日以内ニ工費内譯明細書ヲ差出スヘシ但時

宜ニ依リ工程表ヲ差出ケシムルコトアルヘシ

第八條 落札者請負ヲ命セラレタルトキハ翌日正午十二時迄ニ別紙

第二號様式ノ請負證及ヒ身元保證金トシテ請負金額十分ノ一ヲ差

出スヘシ

身元保證金ハ竣功検査了了スルモ第十六條ニ記載スル日限ヲ過ル
ニアラサレハ之ヲ還付セス

第九條 落札者其取消ヲ乞ヒタルトキハ違約金トシテ入札保證金ヲ
没收スヘシ請負ヲ命セラレタルモ其取消ヲ乞ヒ又ハ前條日時迄
ニ請負證ヲ差出サ、ルトキ亦同シ此場合ニ於テハ請負ノ命令ヲ取
消スヘシ

第十條 工事着手期限後十日以内ニ起工セス又ハ起工スルモ相當工
事用品ヲ備ヘス又ハ相當人夫等ヲ使役セシテ工事縮漫ニ涉リ期
限内竣功シ難シト認ムルトキハ其請負ヲ取消シ違約金トシテ身元
保證金ヲ没收スヘシ起工ノ後請負ノ取消ヲ乞ヒタルモ亦同シ但
現場ニ存在スル工事用品及築造物ハ之ヲ没收シ工費未渡ニ係ルモ
ノハ之ヲ下付セス

第十一條 請負ヲ命シタル後工事ノ廢止又ハ仕様ノ全部ニ變更ヲ要
スルトキハ請負ノ命令ヲ取消シ身元保證金ハ之ヲ還付スヘシ但既
ニ起工セシモノハ現場存在ノ工事用品及築造物ニ對シ工費内詳明
細書ノ比準ヲ以テ其費金ヲ下渡シ尙ホ其他請負人ニ於テ損失ヲ被
リタル確證アルモノハ之ヲ辨償スルコトアルヘシ
工事仕様ノ幾部ニ變更ヲ要スルトキハ前項但書ニ準シ其請負金額
ヲ増減スルコトアルヘシ

第十二條 工事中ハ總テ主務吏員ノ指揮ヲ受ケ其用品ハ使用前検査
ヲ受クヘシ若シ數量寸尺ニ不足アルトキ又ハ品位粗惡ト認ムルト
キハ日ヲ期シテ之ヲ調達又ハ交換ヲ命スヘシ
請負人ノ代理者又ハ工事ニ使役スル職工人夫等ニシテ不都合ノ行

ルトキハ左ノ期限内本市ノ工事ニ對シ入札ヲ爲シ又ハ請負人ノ保
證人シクハ其代理人タルコトヲ許サス

一 入札保證金ヲ没收シタルトキハ其月ヨリ滿一箇年間
二 身元保證金ヲ没收シタルトキハ其月ヨリ滿三箇年間

第十八條 道路小破修繕河溝浚渫工事ニ係ル入札請負規則ハ別ニ之
ヲ定ム

第一號様式 (用紙半紙)
入札
一金何百何拾圓也 建築
但何區何町何々修繕工事仕様帳及圖面ノ通竣功迄一切ノ費額
右金額ヲ以テ請負可申候也
年 月 日 住 所 姓 名(實印)
大阪市參事會宛
(大阪市某區長宛)
第二號様式 (用紙美濃紙)
請 負 證
大阪市何區何町何々工事
一金何百何拾圓也 請 負 金 額
此身元保證金
金何拾何圓也 (何公債證書額面何圓 何枚)
右金額ヲ以テ請負被命候依テ前記現 金ヲ身元保證トシテ御廳へ
差出置總テ工事入札受負規則ニ遵ヒ別紙仕様書及圖面ノ通來ル何日

爲アルカ若クハ監督吏員ノ指揮ニ從ハサルコトアルトキハ何時ニ
テモ取換ヲ命スヘシ
工事出来形既定ノ計畫ニ違フモノアルトキハ日ヲ期シテ改造ヲ命
スヘシ
前三項ノ場合ニ於テ請負人命令ニ從ハサルトキハ第十條ニ準シ處
分ス可シ

第十三條 正當ノ事故ナク期限内竣功セサルトキハ違約金トシテ期
限ノ翌日ヨリ一日ニ付請負金高千分ノ五ヲ徵收スヘシ但請負日數
十分ノ二ヲ超過スルトキハ第十條ニ準シ處分スヘシ
前項ノ違約金ハ別途之ヲ徵收シ若シ納付セサルトキハ工費下渡金
ノ内ヨリ控除スヘシ

第十四條 工事竣功検査以前ニ於テ其出来形若クハ物件ノ毀損亡失
等アルトキハ請負人ニ於テ其損失ヲ負擔スヘシ但避クヘカラサル
變災ニ起因スルモノハ其損失ノ幾分ヲ補給スルコトアルヘシ

第十五條 工費ハ竣功検査ノ上下付スヘシ但竣功ニ至ラスト雖モ時
宜ニ依リ出来形歩合ノ七分ニ對スル迄ノ金員ヲ下付スルコトアル
ヘシ
第十六條 工事竣功ノ後若干ノ期限ヲ定メ其期限内ニ損所ヲ生シタ
ルトキハ請負人ノ費用ヲ以テ之ヲ修繕ヲ爲サシムヘシ但避クヘカ
ラサル變災ニ起因スルモノハ此限ニアラス
請負人前項ノ修繕ヲ怠ルトキハ之ヲ修繕シ其費金ハ身元保證金ヲ
以テ之ニ充用スヘシ

第十七條 本規則ニ依リ入札保證金又ハ又ハ身元保證金ヲ没收シタ
着手晴雨ヲ不論日數何日間ニ必ス竣功可致候萬一規則ニ違背シタル
トキハ違約金トシテ身元保證金ヲ没收セラルルハ勿論都テ御規則ニ
依リ處分相成候共異議無之又御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有
之本人ニ於テ等閑ニ付スルトキハ保證人ニテ引受處辨可致候仍テ連
署ヲ以テ請負證差上候也
年 月 日 住 所 姓 名(實印)
請負人 姓 名(實印)
住 所
保證人 姓 名(實印)
住 所
(保證人ハ府下現住ニシテ所得納稅者ニ限ル)
請負金額壹萬圓以上ハ二名以上壹萬圓未滿ハ一名トス時宜
ニ依リ壹萬圓未滿ト雖モ二名ヲ要スルコトアルヘシ
大阪市參事會宛
(大阪市某區長宛)

●公入札ニ付セサル工事請負
明治廿二年十月一日
大阪市訓令第四號
各 部、收稅部
區 役、除ク
所

市費ヲ以テ支辨スル工事其他ノ請負又ハ物品ノ購入等ニシテ左ニ掲
クルモノ並ニ區役所費豫算月額以内ヲ以テ購入スル需用品ハ公ノ入
札ニ付セス便宜請負ヲ命シ又ハ購入スル義ト心得ヘシ

- 一 費額五拾圓未滿ノ工事其他ノ事業
- 二 價格拾圓未滿ノ物品購入
- 三 物質ニ由リ生産製造ノ場所又ハ生産者製造者ヨリ直接ニ購入
ヲ要スル物品
- 四 一人又ハ一會社ニテ専有スル物品ノ購入又ハ借入
- 五 土地家屋ノ買入又ハ借入ヲ爲スニ當リ其位置又ハ構造ニ限リ
アルモノ
- 六 囚徒又ハ慈善ノ爲メニ設立セル教育所貧民ノ雇役及其製造物
品ノ購入

● 公入札ニ付セサル工事請負ノ取扱方

明治廿四年十二月十八日
大阪市訓令參第一九號

其役所ニ於テ物品ノ購入又ハ工事其他ノ請負ニシテ成規上公入札ニ
付スルヲ要セサル場合ト雖務メテ當業者數名ノ價格見積書ヲ徴シ調
査テ遂ケ購入又ハ請負ヲ命スル義ト心得ヘシ
右訓令ス

● 工事請負入札公告ニ關シ新聞紙へ登載方

明治廿五年三月廿二日
市參事會議決

本市工事其他ノ廣告ニシテ爾今新聞ニ登載ノ場合ハ左ノ區別ニ依ル
モノトス

- 一 一般周知ヲ要スル廣告及工事其他物品購入等其見積價格五百圓
以上ノモノハ公布式新聞へ悉ク登載スルモノトス
- 一 工事其他物品購入等見積價格五百圓以下ノモノハ朝日新聞毎日
新聞ノ二新聞ニ登載スルモノトス

● 工事請負ニ關シ入札價格不相當ナルトキ處分方

明治廿五年七月廿三日
大阪市告示參第二八號

本市會ノ議決ヲ經テ工事請負及物品購入ニ關スル條件ヲ定ムルコト左
ノ如シ
工事入札請負規則ニ依リ工事請負ノ入札ヲ爲サシメ若クハ物品購入
賣却規則ニ依リ物品調達ノ入札ヲ爲サシムルモ代價不相當ニ付之ヲ
取消シ再入札ニ付スルモ尙代價不相當ナルトキハ其最低札以下ノ代
價ヲ以テ便宜當業者ニ其請負若クハ調達ヲ爲サシムルコトヲ得但施

● 街燈點火請負規則

明治廿九年三月廿三日
大阪市告示參第六號

本市會ノ議決ヲ經テ明治二十二年大阪市告示第二十一號街燈及橋燈
點火入札請負規則ヲ廢シ更ニ街燈點火請負規則左ノ通相定ム

街燈點火請負規則

- 第一條 街燈點火ハ東西南北ノ四區ニ分チ毎年四月一日ヨリ翌年三
月三十一日迄ヲ一期トシ公入札ニ付シ又ハ時宜ニヨリ公入札ニ付
セス特撰入札ヲ以テ請負ハシムヘシ
但場合ニヨリ每區ヲ數區域ニ分チ當業者ト隨意契約ヲ爲シ施行
スルコトアルヘシ
- 第二條 請負金額ハ點火ノ基數及日數ニ應シ之ヲ下付スヘシ請負人
ハ其月分ノ請負金額ヲ翌月七日マテニ請求スヘシ
- 第三條 燈柱燈室并ニ附屬品等變災等ニヨリ毀損又ハ亡失若クハ朽
腐ノ爲メ其用ニ堪ヘサルモノアルトキハ其時々速カニ届出ツヘシ
- 第四條 請負人ハ點火ニ係ル一切ノ事件ヲ辨スル爲メ所轄區役所ヲ
距ル五町以内ノ地ニ各事務所及ヒ代人ヲ置キ其町名番地氏名ヲ届
出ツヘシ

- 第五條 正當ノ事故ナク點火セサルモノアルトキ又ハ點火請負方法
書ノ條項ニ違背スルトキハ違約金トシテ總基數ニ對スル一夜請負
金額ノ二分ノ一ヲ徵收スヘシ
前項違約金ハ別ニ之ヲ徵收ス若シ納付セザルトキハ請負金ノ内ヨ
リ控除スヘシ
- 第六條 毎夜監視人ヲ派シ燈室并ニ附屬品ノ掃除點火ノ實況等ヲ監
查セシメ若シ不都合ト認ムル時ハ改良ヲ命スヘシ
前項ノ場合ニ於テ請負人其命ニ從ハザルトキハ請負命令ヲ取消シ
身元保證金ヲ沒收スヘシ
- 第七條 身元保證金ハ請負滿期ノ後之ヲ還付スヘシ
- 第八條 點火請負方法書ハ市參事會之ヲ定ム
- 第九條 前各條ニ掲クル外ハ工事入札請負規則ヲ適用ス
但入札請負證ハ別紙様式ニヨルヘシ
(別紙)

第一號様式 (用紙半紙)
一金 何程
但何區街燈小形一基一夜點火代
但大形ノアル區ハ大小各別ニ記載スヘシ
右金額ヲ以テ請負可申候也

年 月 日 住 所 姓 名 印
大阪市何區長宛

第二號樣式 (用紙美濃紙)

大阪市何區街燈點火代

一金 何程

内 金 何程 街燈大何基一夜點火代何程何日數
金 何程 同 小何基一夜點火代何程同上

此身元保證金 (何公債證書額面何圓 何枚)
何國立銀行預券何圓 何枚

右金額ヲ以テ請負被命候ニ付テハ前記何銀行預券ヲ身元保證

トシテ御廳へ差出置キ總テ街燈火點請負規則ニ遵ヒ方法書ノ通り何
年何月何日ヨリ何年何月何日迄請負可申候萬一右規則ニ違背致候場
合ニ於テハ違約金トシテ身元保證金ヲ沒收セラル、ハ勿論總テ御規
則ノ通御處分相成候トモ異議無之又御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ
所爲有之本人ニ於テ等閑ニ付スルトキハ保證人ハ本人ニ代リ一切引
受處辨可致候仍テ連署ヲ以テ請負證書上候也

年 月 日

住 所

住 所

住 所

請負人 姓 名 印

保證人 姓 名 印

大阪市何區長宛

(保證人ハ府下現住者ニシテ所得納稅者ニ限ル)

街燈點火請負方法書

明治卅三年三月廿八日
大阪市訓士第四一號

區 役 所

明治二十九年三月二十五日付本市訓令第八號街燈點火請負方法書
別紙ノ通改定ス
右訓令ス

街燈點火請負方法書

第一條 街燈ノ油ハ石炭油上松ヲ相用ヒ其消費量ハ夜ノ長短ニ從ヒ
左ノ定量以下トス

一 自五月四ヶ月間 一基一夜平均油量 九与八才

二 自九月二ヶ月間 同 上 一合七才

三 自十一月四ヶ月間 同 上 一合二与五才

四 自三月二ヶ月間 同 上 一合七才

第二條 石炭油ハ掛吏員ニ於テ石油メートルヲ以テ隨時検査ヲ爲シ
不良ト認定テ受ケタルモノハ直ニ良品ト交換スヘシ

第三條 毎日油壺ニ石炭油ヲ注入スルトキハ其壺ニ充滿セシメ空際
ナカラシムヘシ

第四條 燈芯ハ五分ヲ相用ヒ毎日其芯ノ燈シ口ヲ直角ニ切斷シ其長
サニ寸五分以下ニ消耗シタルトキハ必ス新規取換ヲ爲スヘシ

第五條 點火時間ハ左ノ區別ニ從ヒ實行スヘシ

第十一條 油壺ハ毎月一回油滓ヲ排棄シ之ヲ洗滌スヘシ

第十二條 請負人ハ點火請負規則第三條ノ場合ヲ除ク外燈柱燈室又
ハ燈器ノ破損シタルトキハ自費ヲ以テ之ヲ修繕シ又ハ交換スヘシ

但他人ニ於テ破損シタルコト判明ナルトキハ此限ニアラス

第十三條 請負人ハ適宜分擔區域ヲ定メ每區域ニ點火受持人ヲ配置
シ其旨區役所ニ届出ヘシ

第十四條 請負人ハ毎夜三人ノ人夫ヲシテ各自石炭油及要具(脚立、
ランプ、眞、缺)ヲ携帶セシメ區役所へ差出シ監視人ニ隨行シ點火
上ニ都合ナキ様取計ハシムヘシ

但暴風雨其他區役所ノ指揮アリタルトキハ人夫ヲ増發スヘシ

第十五條 出火アルトキハ造ニ請負人ヲ現場ニ派シ時宜ニ依リ燈臺
ヲ撤却セシムヘシ

此場合ニ於テハ其基數等速ニ區役所へ届出ヘシ

第十六條 請負人若クハ其代理人ハ區役所ヨリ召喚テ受ケタルトキ
ハ迅速出頭スヘシ故ナク遲參又ハ不參スルトコトヲ得ス

第十七條 請負人若クハ其代理人ハ召喚ノ有無ニ拘ラス毎日一回必
ス區役所ニ出頭シ街燈點火等ノ狀況ヲ具申シ且指揮命令ヲ受ケ
ルヘシ

但シ時間後一時間内ニ必ス消火スヘシ

一 自五月四ヶ月間 自午後五時五十分至十一時

二 自九月二ヶ月間 自午後五時三十分至十二時

三 自十一月四ヶ月間 自午後四時三十分至十四時

四 自三月二ヶ月間 自午後五時三十分至十二時

第六條 街燈ノ燭光ハ最モ光明ナルヲ要ス其度ハ第一條規定ノ油量
ヲ消費スルヲ以テ程度トス

第七條 石炭油ノ量ハ掛吏員ニ於テ隨時検査ヲ爲シ點火前ニ於テ油
壺ニ空際アルコトヲ發顯シタルトキハ其不足油量ハ直ニ之ヲ補充
セシメ又點火後ニ於テ既定ノ油量ニ比シ消耗油量甚ク減少シア
ルコトヲ發顯シタルトキハ既定ノ通り注入セサルモノト見做シ其
不足ハ直ニ補充セシムヘシ但其油量ノ不足ヲ補充シタルノ故ヲ以
テ街燈點火請負規則第五條ノ違約處分ヲ免ルルコトヲ得ス

第八條 點火時間ヲ經過シタル後ニ於テ既定ノ油量ニ比シ消費量僅
少ニシテ殘餘多量ナルコトヲ發顯シタルトキハ點火不充分ナルモ
ノト見做シ其夜ノ點火費ヲ支拂ハサルヘシ

第九條 在來油壺ハ掛吏員ノ指揮ニ從ヒ其容量ヲ檢シ油壺ニ其容量
ヲ書載シ及計量線ヲ記入スヘシ且新規取換ヲ爲スヘキ油壺ニ就テ
モ亦同シ

第十條 請負人ハ毎日燈器及燈室等ヲ掃除シ勉メテ清潔透明ナラシ
ムヘシ

●道路橋梁下水溝上使用規則

明治廿八年四月十九日
大阪市告示第一六號

(沿革) 四一年八月告示第六三號改正

本市會ノ議決ヲ經テ大阪市道路橋梁下水溝上使用規則左ノ通り相定ム

大阪市道路橋梁下水溝上使用規則

第一條 本市費支辨ニ係ル道路橋梁下水溝上ニ於テ一定ノ場所ヲ占
有シ使用セントスルモノハ此規則ニ依ルヘシ但祭典綠日等ニ一時
道路數ヘ三尺以内出店スルモノハ此限ニアラス

第二條 使用ヲ出願セントスルモノハ第一號様式ニ依リ願書ヲ差出
スヘシ

第三條 前條出願ニハ大阪府管内に籍者ニシテ身元確實ナル保證人
ヲ立ツヘシ
保證人ハ使用人義務不履行ノ場合ニ於テ之ニ代リ其義務履行ノ責
ニ任ス可シ

第四條 使用願人ハ使用ノ許可ヲ受ケタルトキハ其許可ノ日ヨリ五
日以内ニ第二號様式ノ請書ヲ差出スヘシ
使用人ハ使用以前ニ第三號様式ノ標札ヲ調製シ本市ノ檢印ヲ受ケ
使用ニ際シ出店者ハ之ヲ其店頭ニ掲ケ其他ハ見易キ場所ヘ掲ケ置
クヘシ但使用場所ヲ返却スルトキハ檢印ノ消却ヲ受クヘシ

第五條 使用人ハ使用許可期限內ト雖モ當初使用ノ目的ヲ變更シ又
ハ之ヲ他人ニ使用セシムルコトヲ得ス

一 年ヲ以テ使用ヲ許可シタルモノニシテ本市ノ都合ニヨリ之ヲ
取消シタルトキハ其取消ヲ通知シタル月ヨリ又使用人ノ都合
ニヨリ返却シタルトキハ其返却ノ翌月ヨリ月割ヲ以テ之ヲ免
除ス

二 月ヲ以テ使用ヲ許可シタルモノニシテ本市ノ都合ニヨリ之ヲ
取消シタルトキハ其取消ヲ通知シタル月ヨリ又使用人ノ都合
ニヨリ返却シタルトキハ其返却ノ翌月ヨリ之ヲ免除ス

三 日ヲ以テ使用ヲ許可シタルモノニシテ本市又ハ使用人ノ都合
ニヨリ返却ノ時ハ其日ヨリ之ヲ免除ス

四 使用人本規則ニ違背シタルカ爲メ使用ノ許可ヲ取消シタル場
合ニ於テハ既納ノ料金を免除セス

第十三條 一場所ニシテ同時ニ二名以上ノ出願者アルトキハ抽籤ヲ
以テ之ヲ定ム

第十四條 道路使用ノ願書ニハ沿道地主ノ連署若クハ意見書ヲ添附
スヘシ

第十五條 満期後尙繼續使用ヲ爲サントスルモノニシテ年ヲ以テ使
用ヲ許可シタルモノハ満期二ヶ月以前月ヲ以テ使用ヲ許可シタル
モノハ満期十日以前日ヲ以テ使用ヲ許可シタルモノハ満期一日以
前ニ更ニ願書ヲ差出スヘシ

第十六條 本規則ハ明治二十八年五月一日ヨリ實施ス
第十七條 明治二十三年大阪市告示第五十一號溝上使用料徴收法
ハ本規則實施ノ日ヨリ廢止ス

第十三類 土 木

第六條 使用人故意怠慢ニ依リ使用許可ノ土地又ハ物件ヲ毀損シタ
ルトキハ之カ損害ヲ賠償スヘシ

第七條 使用許可期限內ト雖モ本市ノ都合ニヨリ又ハ使用人本規則
ニ違背シタルトキハ何時ニテモ其許可ヲ取消スコトアルヘシ但此
場合ニ於テ使用人ハ損害賠償等ノ苦情ヲ申立ツルコトヲ得ス

第八條 使用許可ノ場所ニ存在スル物件ハ使用満期又ハ使用人ノ都
合ニヨリ返却セントスルトキハ其場所返却以前ニ於テ又第七條ニ
依リ許可ノ取消ヲ通知シタルトキハ其通知書ヲ受領スルト同時ニ
使用人ニ於テ之ヲ撤却スヘシ

第九條 使用人前條ノ手續ヲ怠リ本市ニ於テ公害アリト認ムルトキ
ハ本市ハ便宜之ヲ處分シ其費用ハ使用人ニ負擔セシムヘシ

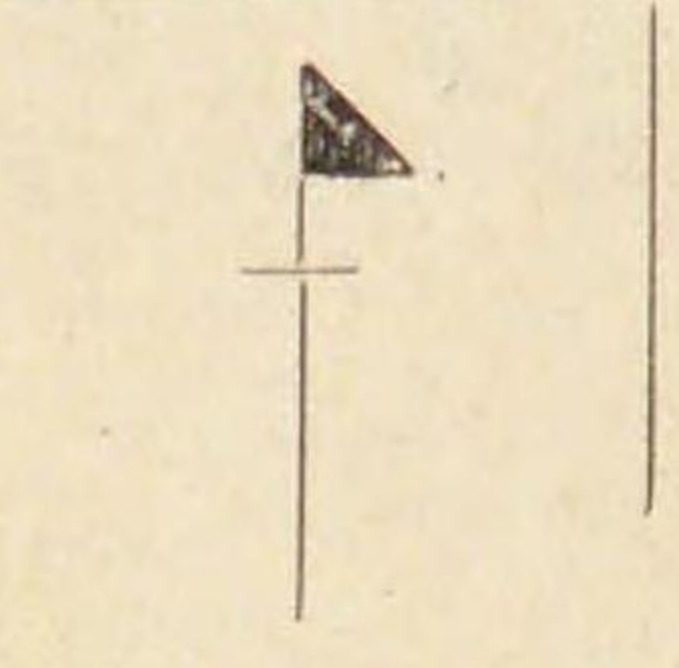
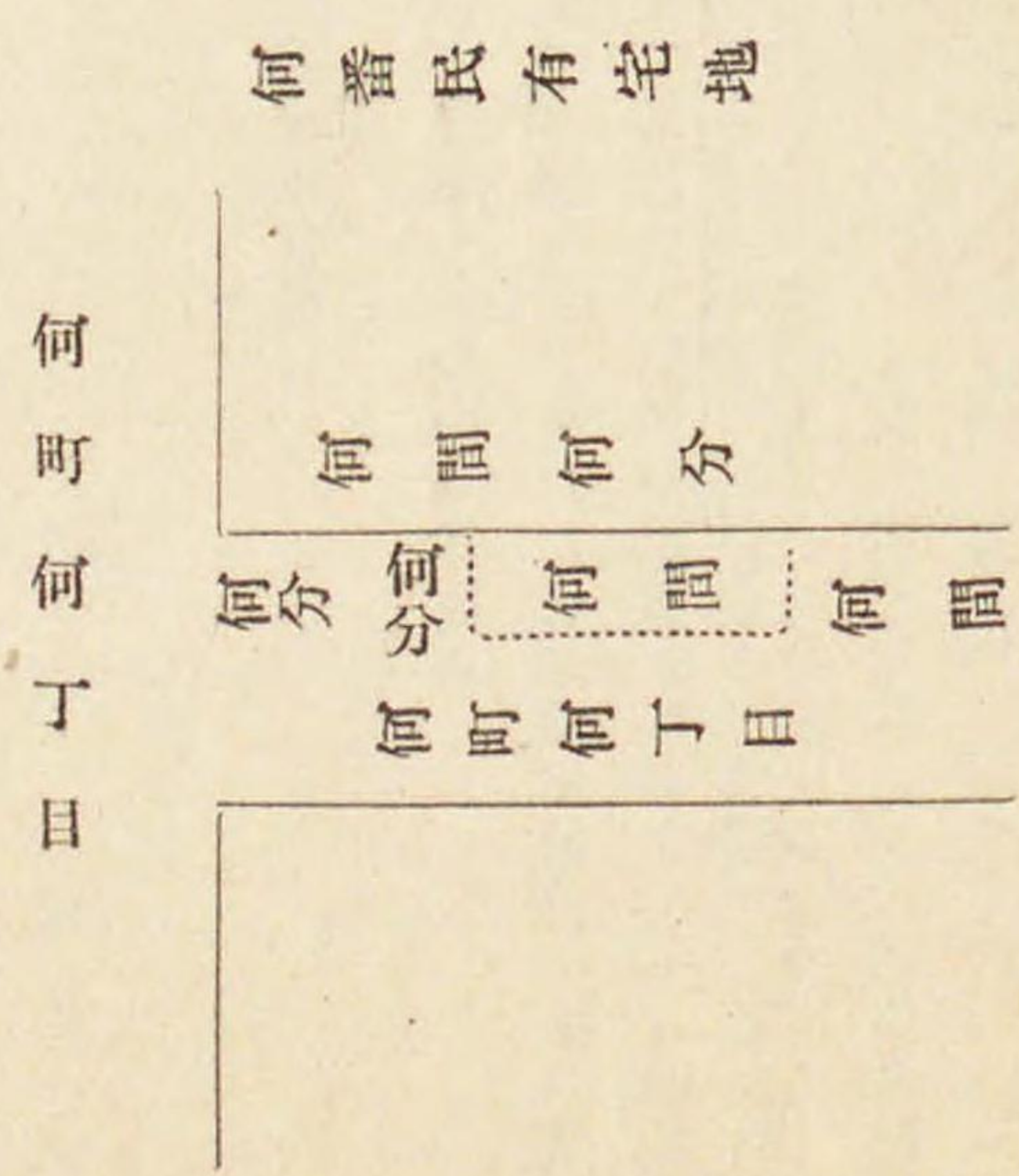
第十條 使用許可ノ場所ハ相當使用料ヲ徴收ス但公告事業ノ爲メ使
用スルモノハ之ヲ徴收セサルコトアルヘシ

第十一條 使用料金を徴收期ハ左ノ各項ニ依ル
一 其使用ノ年ヲ以テ許可シタルモノハ甲年四月ヨリ乙年三月迄
ノ一期トシ甲年四月中ニ徴收シ四月以後新ニ許可シタル者ハ
初期分ニ限り許可ノ十日以内ニ徴收ス但市場道路使用料其他
特別ノ事情アルモノハ一期分ヲ二回乃至四回ニ區分シ其年度
內ニ於テ徴收スルコトアルヘシ

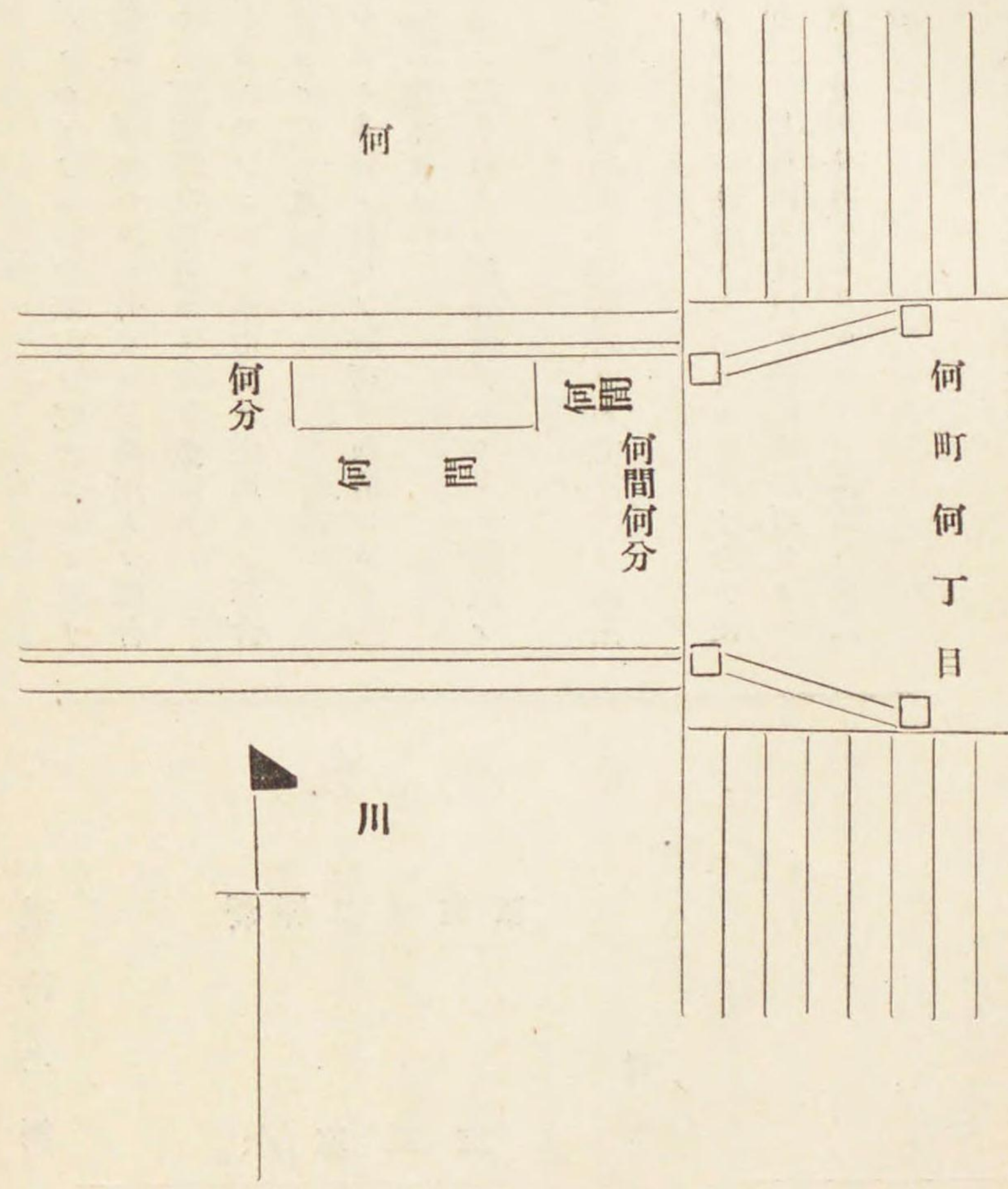
二 其使用ノ月又ハ日ヲ以テ許可シタルモノハ許可ノ日ヨリ十日
以内ニ其全部ノ料金を一時ニ徴收ス

第十二條 既納ノ使用料金を免除方ハ左ノ各項ニ依ル

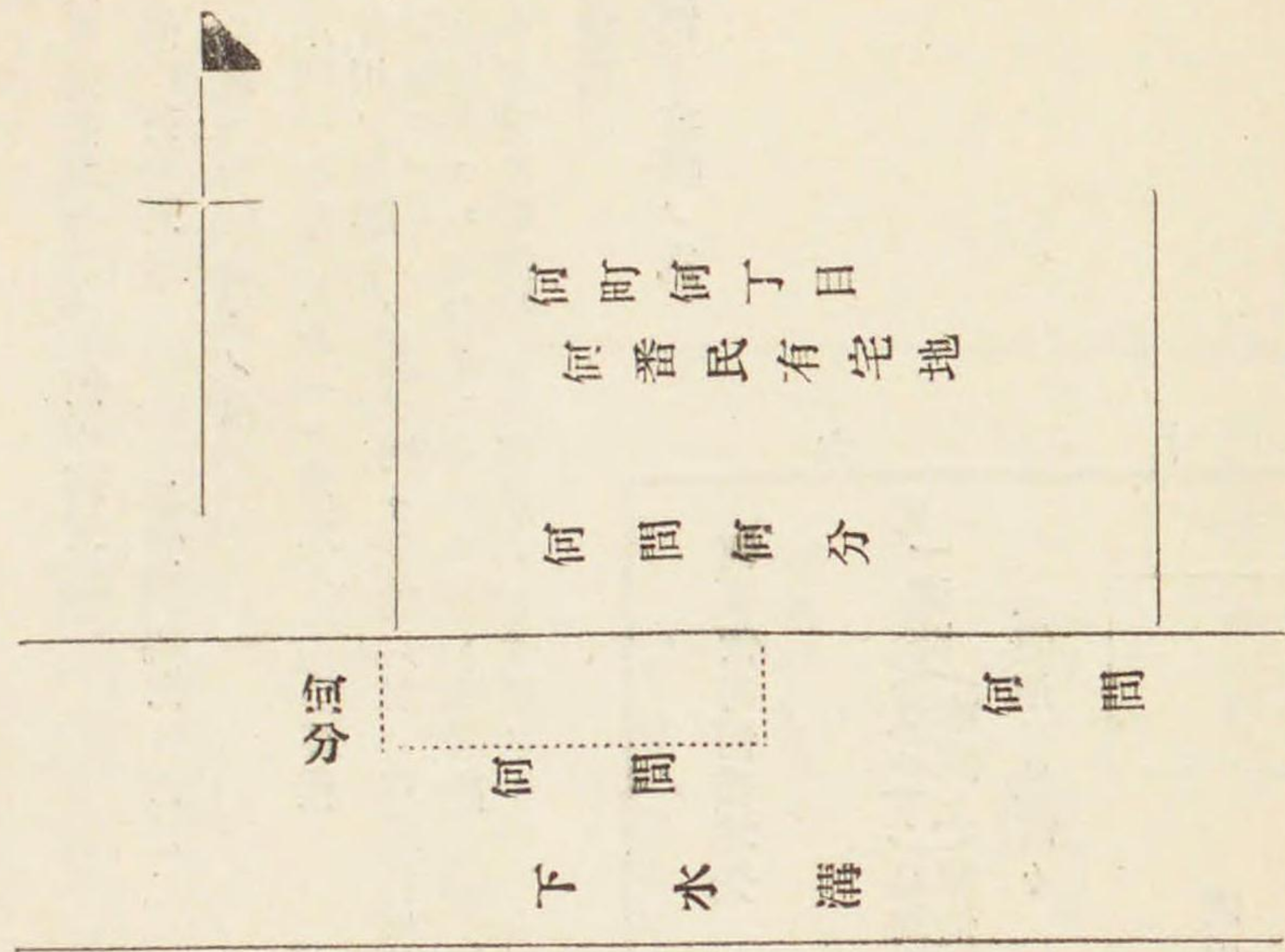
道路之例 圖面凡例



橋梁之例



下水溝之例



第一號樣式

道路(又ハ橋梁下水溝)上使用願

何區何町何番地先(又ハ何川何橋)

一何々何坪何合何勺

但位置ハ別紙圖面ノ通り

右何々詳述スヘシ

ノ爲メ何々置場(又ハ別紙仕樣書ノ通)何々ヲ

設置シ仕樣書ニハ其設置スヘキモノ、構造及

設置シ使用方法時間等ヲモ明記スルヲ要ス

明治何年何月何日ヨリ

全何年何月何日マテ使用仕度尤モ御許可ノ上ハ御市道路橋梁下水溝

上使用規則ハ堅ク遵守可仕ハ勿論使用料金ハ御指定ノ通上納可仕候

ニ付御許可被成下度此段奉願候也

明治何年何月何日

前書之通候也

住所職業	願人	住所	保證人	住所	隣地主
名印	姓	姓	姓	姓	姓
名印	名印	名印	名印	名印	名印

大阪市參事會宛

大阪市何區長

姓

名印

第二號樣式

印紙

道路(又ハ橋梁下水溝)上使用請書

何區何町何番地先(又ハ何川筋何橋)

一何々何坪何合何勾

長何間幅何分何厘

但位置ハ別紙圖面ノ通

此使用料一ケ年(又ハ一ケ月又ハ一日)何程

右何々使用ノ目的ヲ爲メ何々置場(又ハ別紙仕樣書ノ通何々)ヲ

設置シ仕樣書ニハ其設置スヘキモノ、構造及明治何年何月何日ヨリ

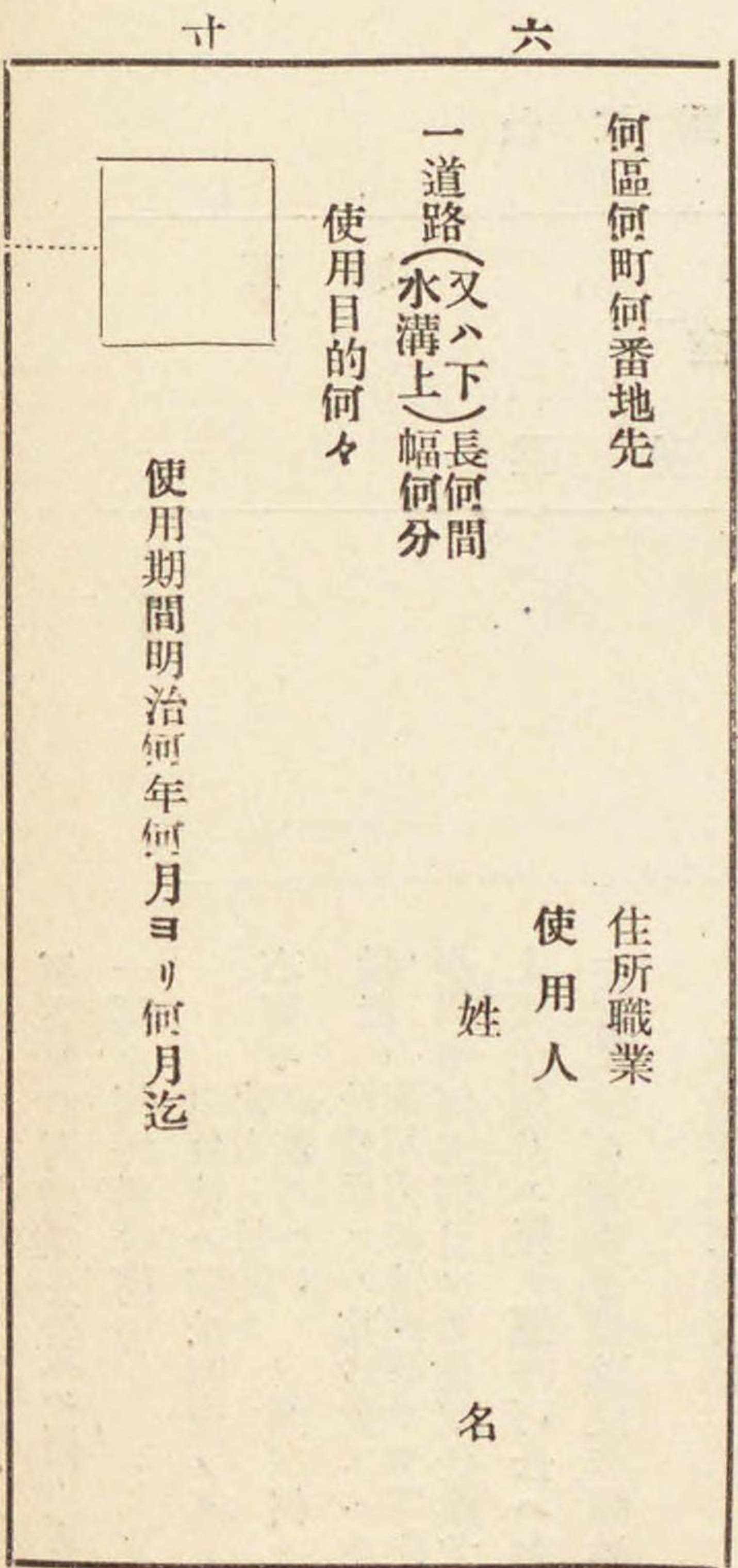
設置シ使用方法時間等ヲモ明記スルヲ要ス

第三號樣式

道路下水溝ノ例

全何年何月何日迄使用ノ義御許可ヲ得候ニ付テハ御市道路橋梁下水溝上使用規則ハ堅ク遵守可仕依テ請書差出候也
明治何年何月何日

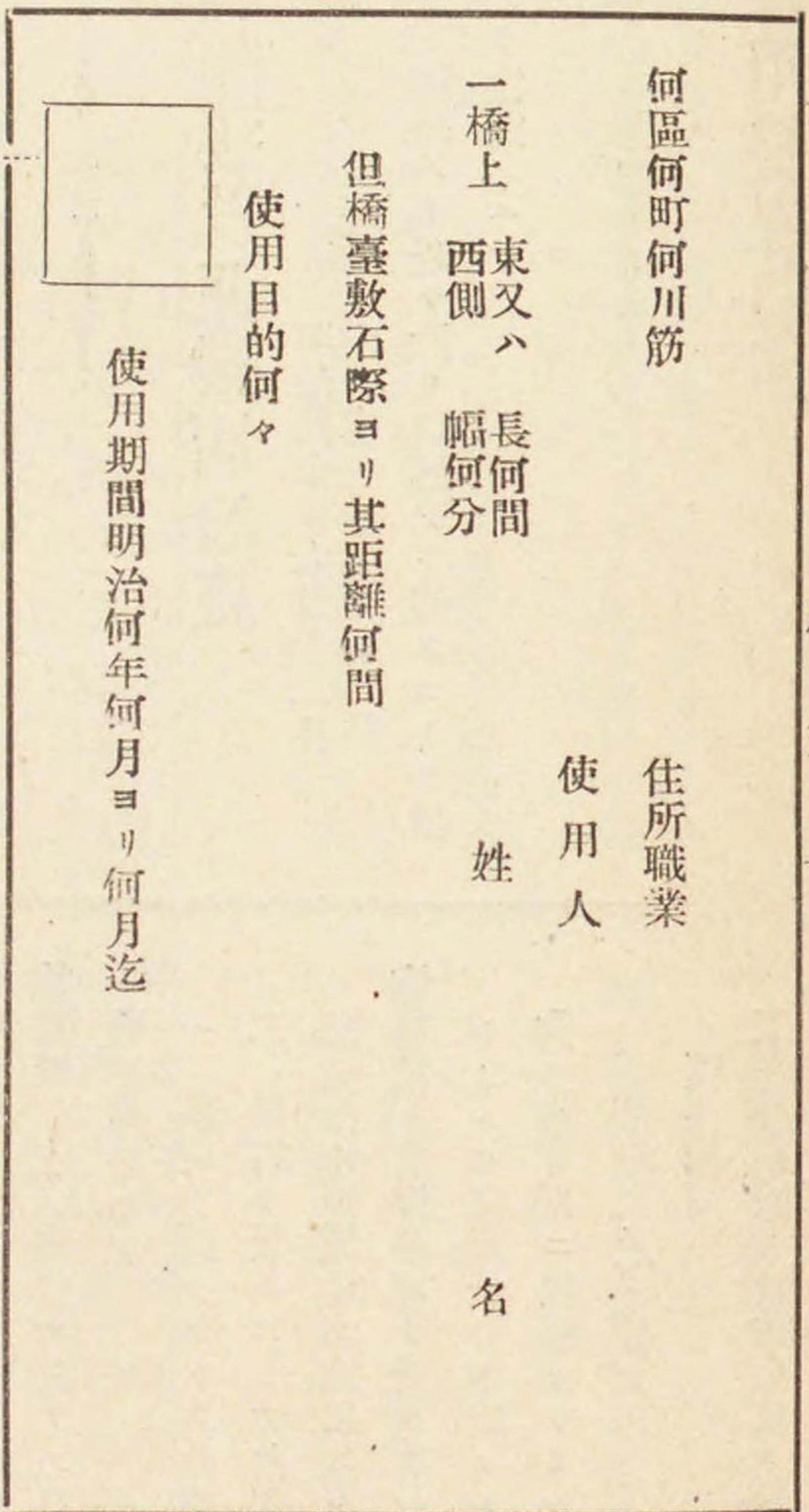
住所職業
使用人 姓 名 印
住所
保證人 姓 名 印
大阪市參事會宛
(圖面ハ願書ニ添附シタルモノト同様トス)



一尺五寸

橋上ノ例

一尺五寸



堤塘道路並木敷用悪水路
土居敷等ノ使用處分方

明治廿六年五月十一日
市會議決

明治廿四年大阪府訓令第五十三號土地用途分ノ件ハ市參事會ニ於テ處分スルモノトス

街角擴張ノ件

明治卅五年十一月十二日
市會議決

市内道路ノ交叉点及屈折点ハ左ノ方法ヲ以テ擴張スルモノトス
一 街角ニ於テ其道路幅員ノ四分ノ一迄擴張スル事
二 前項ノ實行期ハ其必要ニ應シ建造物ナキ場所ハ直チニ建造物

第十三類 土 木

第三條 土砂請願者アルトキハ前條捨場ノ位置ヨリ遠カラサル場所ニ限リ請願ノ順序ニ依リ下付スヘシ

但公設捨場ヘ土砂堆積シ投棄スルノ餘地ナキトキハ遠距離ニ涉ラサル場所ニ限リ請願者ヘ下付スルコトアルヘシ

第四條 土砂請願者ヘ下付ノ土砂ハ總テ河岸地又ハ船移シニテ交付スルモノトス

第五條 請願土砂投棄ニ要スル播キ上ケ人夫ハ請願者ニ於テ悉皆自辨セシム

第六條 請願土砂送付中ト雖モ事業上ノ都合ニ依ルカ若クハ請願者ニ於テ不都合ノ行爲アリト認ムルトキハ中止又ハ禁止スヘシ此場合ニ於テハ其旨直ニ請願者ヘ通知スヘシ

第七條 請願者土砂上ケ場ニ要スル棧橋及土砂止メ又ハ受船等ノ設備ハ總テ請願者ニ於テ施設セシメ送付濟ノ上ハ直ニ請願者ヘ取拂ハシムヘシ

第八條 請願土砂陸上ケ及船移ノ際川中ヲ埋埋セシト認ムルトキハ元水深ニ復スル迄請願者ノ自費ヲ以テ日限ヲ定メ浚疏セシムヘシ

第九條 前條ニ依リ請願者ニ於テ浚疏ヲ怠ルトキハ本市ニ於テ適宜ノ之ヲ實施シ其費用ハ請願者ヨリ之ヲ徴收スルモノトス

但本條ノ場合ハ市參事會ノ裁可ヲ經テ之ヲ施行スルモノトス

第十條 土砂下付ヲ請願セントスルモノハ別紙書式ニ據リ出願セシムヘシ

但一人一回ノ出願坪數ハ三百立坪ヲ限リトス
浚疏土砂下付願

●浚疏土砂下付心得

明治卅七年三月四日
市長 決定

第一條 公設土砂棄場以外ニ於テ土砂ノ下付ヲ願フ者アルトキハ別紙様式ニ依リ出願セシムルモノトス

第二條 前條ノ出願者アルトキハ浚疏監督吏員ノ意見ヲ徴シ工務課土木係ニ於テ相當ノ手續ヲ爲シタル上其處分ノ結果ヲ監督吏員ニ通知スルモノトス

第三條 浚場ヨリ土砂下付出願ノ場所迄ノ距離カ公設土砂棄場迄ノ距離ヨリ遠キモノハ許可セサルモノトス

第四條 土砂ハ總テ河岸地又ハ受船ニテ下付スルモノトス

第五條 土砂下付ノ許可ヲ得タル者ニハ左ノ負擔ヲ爲サシムルモノトス
一 土砂下付スヘキ場所ニ要スル一切ノ人夫其他ノ設備

二 其他土砂下付スルニ因リ特ニ命シタル必要ナル設備
前項ノ設備ハ土砂下付ノ終了ノ上日ナリテ撤却セシムルモノトス

第六條 下付土砂陸揚又ハ船積ノ際墜落シタルトキハ原水深ニ至ルマテ日ナリテ願人ノ費用ヲ以テ之ヲ浚疏セシムヘシ

前項ノ場合ヲ除ク外許可ヲ受ケタル者若クハ其使用人ノ行爲ニ因リテ損害ヲ生シタルトキハ其賠償ノ方法ヲ命スヘシ

第七條 本市ノ都合ニ依ルカ又ハ願人ニ不都合ノ行爲アリト認ムルトキハ土砂下付ヲ中止シ又ハ其許可ヲ取消スコトアルヘシ

第十三類 土 木

一何々浚疏土砂何坪

右ハ地上ケ(又ハ何々)ニ使用致度候ニ付左記ノ各項遵守可仕候間何川筋何橋何詰(或ハ何々)所ヘ御下付被成下度此段奉願候也

一土砂揚場ニ要スル土砂止メ及棧橋等ハ御指揮ノ通り自費ヲ以テ施設可致候事

但御送付濟ノ上ハ速ニ取拂可申候

一土砂播キ上ケ人夫ハ悉皆自費ヲ以テ使役シ播上ケ方等ニ付テハ渾テ御指揮ニ從ヒ可申候事

一土砂陸上ケノ際川中ヲ埋埋シタルト御認ノ節ハ御指定ノ日限内ニ於テ御指揮ノ通り自費ヲ以テ浚疏可仕候事

一前項御指定日限内ニ浚疏ヲ怠ルトキハ御市ニ於テ適宜御施行ノ上該入費ハ自費ヨリ御徴收相成異議無之候事

一本願御許可ノ後ト雖モ御市ノ御都合ニ依ル歟又ハ私ノ所爲ニ不都合アリト御認相成候トキハ何時御中止又ハ御禁止相成候トモ異議無之候事

年月日

住所

姓名印

大阪市長宛

第八條 事業ニ妨ナキ限リ公設棄場ニ投棄シアル土砂ハ隨意ニ持去ルコトヲ得セシムルモノトス

浚疏土砂下付願

(何坪)

一何川浚土砂 (何坪)
右ハ地上(或ハ何々)ニ使用致度ニ付左記ノ各項遵守可致候間何川何橋(或ハ何々)何詰何側(或ハ何々)所ヘ御下付相成度此段願上候也

一陸揚場所ノ土砂及假棧橋其他土砂下付セララルル爲メニ必要ナル設備ハ總テ御指揮ノ通り自費ヲ以テ施設可致ハ勿論終了後ハ御指命ノ日迄ニ取拂可致事

二播上人夫ハ自費ヲ以テ使役シ渾テ御指揮ニ從フヘキ事

三土砂陸上ケノ際若クハ船受ノ際川中ヲ埋メタルトキハ御指揮ニ從ヒ日ナリテ元水深ニ復スル迄浚疏可致事

四土砂下付ノ御許可ノ後御市ノ都合ニ依ルカ又ハ拙者所爲ニ不都合アリト認メラレ候節ハ何時タリトモ無償ニテ下付ヲ中止セラレ若クハ許可ヲ取消サルルモ異議無之候

五第一項及第三項ノ義務ヲ怠リシ爲メ御市ヨリ直接第三者ニ命シ御實施相成候節ハ其費用ハ御指定ニ從ヒ一切拙者ニ於テ負擔可致事

年月日

住所

姓名

大阪市參事會宛

● 評價員規程

明治卅五年五月八日
廳達第一九號

評價員規程左ノ通相定ム

評價員規程

第一條 土地水面其他財産上ノ物件及營造物ニ關スル評價ノ爲メ評價員ヲ置ク

第二條 評價員ハ市長之ヲ選定ス

第三條 評價員ハ市長ノ指定ニ從ヒ全部若クハ一部ノ合議又ハ單獨ヲ以テ其諮問ニ答申ス

第四條 評價員會ノ決議ハ評價員過半數ヲ以テ之ヲ定ム

第五條 評價員會ノ答申ハ文書ヲ以テシ其合議ニ參與シタル者二名以上ヲシテ之ニ連署セシムルヲ要ス

第六條 評價員會ハ必要アリト認ムルトキハ其職務執行ニ關スル細則ヲ定ムルコト又ハ評價員ノ互選ニ依リ主事ヲ置クコトヲ要ス

第七條 此規程ハ特別ノ手續ニ依ルヘキ評價ニ關シテハ之ヲ適用セ

當該吏員ニ於テ必要ト認ムルトキハ前項ノ外尙隨時之カ命令ヲナスコトアルヘシ

第八條 第一條ノ許可ヲ受ケス又ハ第六條第二項ノ指揮ヲ受ケスシテ工事ヲ施行シタル者ニ對シテハ其變更若クハ撤却ヲ命スルコトアルヘシ

第九條 下水道敷ハ管理上支障ナキ部分ニ限り其使用ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ノ使用ニ關シテハ別ニ定ムル規則ニ據ル

第十條 本規則ノ施行ニ必要ナル事項ハ市參事會之ヲ定ム

● 公設下水道へ私設溝渠落口
取設ニ關スル件

明治卅二年二月八日
市參事會議決

決定案

公設下水道ニ注入スル私設下水道若クハ雨水溝ノ落口ハ公設下水道改良工事施行ノ際既ニ設置アルモノ及將來設置ノ必要アリト認メタルモノニ限り市費ヲ以テ其落口ヲ設クト雖モ改良工事竣工後新ニ設置若クハ位置ノ變更及修繕ヲ加ヘントスルモノハ總テ其下水道若クハ雨水溝關係者ノ費用ヲ以テ施工セシムルモノトス

● 下水道管理規則

明治四十三年十二月二十日
大阪市規則第三號

本市會ニ於テ明治四十二年九月大阪府規則第一號下水道管理規則改正ノ件ヲ議決シ市制第二百二十三條ニ依リ大阪府參事會ノ許可ヲ受ケ左ノ通之ヲ定ム

下水道管理規則

第一條 本市ノ築造シタル下水道ニ汚水雨水ヲ疏通スヘキ施設ヲ爲スノ義務アル者ハ本市ノ許可ヲ得テ其工事ヲ施行スルコトヲ要ス但連結工事ハ本市ニ於テ施行スヘシ

第二條 前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ設計書及圖面ヲ添附シタル願書ヲ提出スヘシ

第三條 第一條ノ施設中ニハ下水道ニ塵芥及汚土等ノ流入ヲ防止スヘキ裝置ヲ爲スコトヲ要ス

第四條 汚水ハ雨水溝ニ放流スルコトヲ得ス

第五條 有毒物其他下水道ヲ損傷スヘキ藥品等ヲ放流スル者ニ對シテハ特別ノ裝置ヲ命シ又ハ其疏通ヲ禁止スルコトアルヘシ

第六條 第一條ノ施設カ破損又ハ腐朽シタルトキハ遲滞ナク其修繕工事ヲ施行スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ起工以前ニ本市ニ届出テ當該吏員ノ指揮ヲ受ケルコトヲ要ス

第七條 第一條ノ施設ハ毎月一回以上其掃除ヲ爲スコトヲ要ス

但シ本文ノ關係者ニ於テ工事ヲ施サントスルトキハ豫メ市ニ願出テ其指揮ヲ受ケシムヘキモノトス

● 公園管理規則

明治卅四年二月廿八日
大阪市規則第一號

本市會ニ於テ公園管理規則ヲ議決シ市制第二百二十三條ニ依リ大阪府參事會ノ許可ヲ受ケ左ノ通之ヲ定ム

公園管理規則

第一條 本則ニ於テ公園ト稱スルハ本市ノ所有ニ屬スル公園ヲ謂フ

第二條 公園ニ於テハ左ノ行爲ヲ禁止ス

一 魚鳥ヲ殺傷捕獲スルコト

二 焚火若クハ火技ヲ弄シ其他危險ノ遊戯ヲ爲スコト

三 行商ヲ爲スコト

四 牛馬及諸車ヲ入ルルコト

五 樹木及花卉等ヲ採折スルコト

六 前各號ノ外風致ヲ害スルコト

第三條 特ニ公園ノ使用ヲ出願スルモノアルトキハ當廳ニ於テ其目的ノ快樂若クハ便益ニ供スルモノト認ムル者ニ限り特ニ許可スルコトアルヘシ

第四條 前條ノ出願者又ハ許可ヲ得テ設置シタル物件ニシテ爾後其變更又ハ修繕ヲ加ヘントスルトキハ別紙第一號書式ニヨリ願出ツ

第十三類 土 木

ヘシ

- 第五條 使用地内物件ノ所有權移轉ノ爲メ使用者ノ變更ヲ願出ツルモノアルトキハ特ニ許可スルコトアルヘシ
- 第六條 第三條及第五條ニヨリ許可ヲ受ケタル者ハ退滞ナク別紙第一號書式ノ請書ヲ差出スヘシ
- 第七條 使用地ハ許可ヲ受ケタル者ノ外使用スルコトヲ得ス
- 第八條 使用地ハ常に清潔ヲ保持スヘシ
- 第九條 使用者ノ物件ニシテ公園ノ風致ヲ損スルモノト認ムルトキハ其物件ノ改良又ハ撤去ヲ命スルコトアルヘシ
- 第十條 本市ノ都合ニヨリ使用ノ許可ヲ取消シタルトキハ使用者ハ何時ニテモ其指定期間内ニ使用地ヲ原狀ニ復スヘシ
- 第十一條 使用者ノ都合ニヨリ使用期間内ニ不用ニ歸シ又ハ使用期間ノ終了スル場合ニ於テハ其期日迄ニ使用地ヲ原狀ニ復スヘシ
- 第十二條 第三條及第四條ニヨリ許可ヲ得テ物件ノ設置及變更ヲ爲シタルトキ其他第九條乃至第十一條及第十三條ニヨリ使用地ヲ原狀ニ復シタルトキハ速ニ其旨ヲ届出ツヘシ
- 第十三條 左ノ場合ニ於テハ使用ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ
 - 一 第七條及第八條ニ違背シタルトキ
 - 二 第九條ノ命ニ應セザルトキ
 - 三 使用許可後三十日以内ニ使用ヲ開始セザルトキ
 - 四 使用料ナ期間内ニ納付セザルトキ
- 第十四條 當廳ニ於テ必要ト認メタルトキハ何時ニテモ當該吏員ヲ

一 圖面ハ使用地平面及物件ノ構造ノ詳細ヲ記載スルヲ要ス
 第二號書式

請書

印紙

所在地番

一何公園地 何坪

自明治何年何月何日何ヶ年(又ハ月、日)間使用
 至明治何年何月何日
 此使用料金何程

明治何年何月何日ヲ以テ出願候前記公園使用願ニ對シ明治何年何月何日付テ以テ御許可ノ指令相成候ニ付テハ公園管理規則其他公園ニ關スル諸般ノ命令ヲ遵守可仕候依テ此段御請申上候也

年 月 日

住 所
 使用者 氏 名 印

大阪府參事會
 市長 宛

第十三類 土 木

四二〇

シテ使用ノ現狀ヲ検査セシムルコトアルヘシ
 第十五條 本則ニヨリ使用者ニ命シタル一切ノ事項ニ對シテハ渾テ損害賠償ノ責ニ任セス

第十六條 本則ニヨリ當廳ヘ差出ス願書ハ其公園所屬ノ區役所ヲ經由スヘシ

第十七條 使用料ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム
 第一號書式

公園地使用願

- 一 所在地 何市區町地番
 - 一 名稱 何公園地
 - 一 坪數 何坪
 - 一 目的 何々
 - 一 構造 別紙仕様書及圖面ノ通
 - 一 期間 自明治何年何月何日何ヶ年(又ハ月及日)間
 至明治何年何月何日
 右公園管理規則ニヨリ出願候也
- 年 月 日

住 所
 出願者 氏 名 印

大阪府參事會

市長 宛

注 意

一 仕様書ハ物件ノ有無ニ拘ハラズ其構造方法等ヲ緻密ニ記載スルヲ要ス

●公園地使用ノ件

明治卅三年二月廿六日
 市 會 議 決

本市中ノ島公園地一千坪ヲ濶シ大阪府立圖書館敷地トシテ左ノ條件ヲ付シ大阪府ノ使用ニ供スルモノトス

- 一 但其位置ハ市參事會ニ於テ適宜大阪府ト協定スルモノトス
- 一 本地ハ府立大阪圖書館存立期間永久供用スルモノトス
- 一 本地ハ無料使用ニ供スト雖モ本地ニ對スル公課ハ大阪府ヨリ辨償ヲ受ルモノトス
- 一 圖書館及付屬上作物ノ構造ハ公園ノ設備ニ關係ナ有スルヲ以テ其設計ニ就キ豫メ市參事會ニ於テ大阪府ヨリ協議ヲ受ケルモノトス
- 一 供用地ニ現在スル建物及樹木等ニシテ圖書館建設ノ爲メ移轉ヲ要スルモノハ市參事會ニ於テ適當ト認ムル箇所ヘ大阪府ノ費用ヲ以テ移轉セシムルモノトス

●外國人居留地町名設定

明治卅二年七月十七日
 大阪府告示第三四號

本年大阪府告示第四百十五號ニ依リ大阪外國人居留地ヲ西區ニ編入セラレタル上ハ川口町ト稱ス

川岸町	春日出町	前田屋町	八幡屋町	田中町	石田町	木屋町	湊屋町	池山町	市岡町	平尾町
川北大字南	川北大字春日出ノ内 字惡水吐五百五十九番五百六十番合併地五百六十一番地ヲ除ノ外	川南大字前田屋	川南大字八幡屋 川南大字田中ノ内 無字二百九十七番地	川南大字田中ノ内 無字二百九十七番地ヲ除ノ外	川南大字石田	川南大字木屋	川南大字湊屋	川南大字池山	川南大字市岡ノ内 字百十五號千六百六十一番地及境川町ニ合シタル土地ヲ除ノ外	川南大字平尾

西野下之町	西野上之町	安治川通北四丁目	四貫島町	島屋町	恩貴島南之町	恩貴島北之町	秀野町	常吉町	西島町
全 字西ノ割	川北大字西野ノ内 字氏神前 字氏神前ノ割 字宮下 字宮ノ下 字墓下	川北大字六軒家ノ内 字乙ノ割	川北大字西野ノ内 川北大字北傳法 川北大字四貫島ノ内 川北大字軒家ノ内 字惡水吐井路島屋新田地内ニ孕ム三百八十九番地ヲ除ノ外 字四貫島氏神前	川北大字島屋 川北大字春日出ノ内 川北大字四貫島ノ内 字惡水吐井路島屋新田地内ニ孕ム三百八十九番地	川北大字恩貴島ノ内 正蓮寺川中央以南	川北大字恩貴島ノ内 傳法大字南傳法 正蓮寺川中央以北	川北大字秀野	川北大字常吉	川北大字本西島

西九條上之町	川北大字西九條ノ内	字イ	字ロ	字ヌ	字リ	字ル	字チ
西九條下之町	全	字ハ	字ニ	字ホ	字ヘ	字ト	字ホニ界
櫻島町	川北大字築地						
南區							
町名	區						域
西濱南通一丁目	西濱町ノ内	舊字穗波町					
西濱南通二丁目	全	舊字洲先町					
西濱南通三丁目	全	舊字境町					
西濱中通一丁目	全	舊字茶摘町					
西濱中通二丁目	全	舊字千里町					
西濱中通三丁目	全	舊字入江町					
西濱北通一丁目	全	舊字藻薊町					

西濱北通二丁目	西濱町ノ内	舊字野上町					
西濱北通三丁目	全	舊字霧島町					
西濱北通四丁目	全	舊字七瀬町					
難波元町一丁目	難波大字難波ノ内	字叶田					
難波元町二丁目	全	字北ノ端	字北ノ端	字北ノ上	字北ノ西		
難波元町三丁目	全	字宮ノ北					
難波元町四丁目	全	字宮ノ内	字宮ノ前				
難波元町五丁目	全	字南ノ東	字南東	字南ノ西			
難波新川一丁目	全	字大里					
難波新川二丁目	全	字向岸	字大柏子				
難波新川三丁目	全	字東浦手					
難波東圓手町	全	字圓手					

難波西圓手町	難波東神田町	難波西神田町	難波櫻川一丁目	難波櫻川二丁目	難波櫻川三丁目	難波櫻川四丁目	難波稻荷町一丁目	難波稻荷町二丁目	難波稻荷町三丁目	難波小田町	難波鹽草町
難波大字難波ノ内	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
字南通 字南通リ	字西浦手	字神田 字小田間	字外保	字堤添	字米田	字西ノ側	字横枕	字北荒開	字荒開	字小田 字丸島	字鹽草

難波菅原町	難波久保吉町	難波立葉町	難波反物町	難波藏前町	難波河原町一丁目	難波河原町二丁目	木津川町一丁目	木津川町二丁目	木津川町三丁目	南 阪 町	木津北島町一丁目
難波大字難波ノ内	全	全	全	全	全	全	難波大字西側	難波大字材木置場ノ内	全	難波大字西高津ノ内	木津ノ内
字三ッ種	字久保吉	字三立葉	字廿反物	字藏前	字北河原	字南河原	難波大字西側	十三間川中央以北	十三間川中央以南	字髭剃 字髭剃	字北島 字北川岸

木津北島町二丁目	木津ノ内	字堂面
木津北島町三丁目	全	字前開
木津北島町四丁目	全	字四ツ塚 字四塚
木津大國町一丁目	全	字須賀
木津大國町二丁目	全	字瓊矛
木津大國町三丁目	全	字眞阪樹
木津大國町四丁目	全	字東上ケ畑 字東川代田 字東川代田
木津鷗町一丁目	全	字千基
木津鷗町二丁目	全	字八阪部
木津鷗町三丁目	全	字茅預
木津鷗町四丁目	全	字西上ケ畑 字西上ケ畑 字東上ケ畑
木津勘助町一丁目	全	字潮凝結

木津勘助町二丁目	木津ノ内	字敷津
木津勘助町三丁目	全	字廣鉢
木津勘助町四丁目	全	字土瓶川 字土瓶川西上ケ畑
木津敷津町	全	字東浦
木津三島町	全	字三石島
惠美須町一丁目	今宮ノ内	字高辻
惠美須町二丁目	全	字札ノ辻、字廣橋 字田中ノ内二十八番地ヨリ三十番地迄、三十番地ノ一、三十一番地三十二番地ヲ除ノ外
惠美須町三丁目	全	字南口、字油小路、字宮ノ前、字高橋、字田中ノ内二十八番地ヨリ三十番地迄、三十番地ノ一、三十一番地三十二番地
惠美須町四丁目	全	字櫃原
馬淵町	全	字馬淵 字馬淵水渡
貝柄町	全	字貝柄

宮津町	今宮ノ内	字西野	字西野馬淵
水崎町	全	字水渡	字水渡リ
東關谷町	全	字西浦	字町裏
西關谷町	全	字關谷	
船出町	全	字牛ヶ口町	
北高岸町	全	字高岸	
南高岸町	全	字山ノ鼻	
廣田町	全	字神宮地	
北霞町	全	字水田	
南霞田	全	字八田	
上本町七丁目	天王寺大字天王寺ノ内	字中町裏	字大辻
下寺町二丁目	全	字下寺町	

下寺町三丁目	天王寺大字天王寺ノ内	字南下寺町	字深田	字蘭坪
下寺町四丁目	全	字高圓 北ノ一ヶ所	字増井	字宮ノ下
日本橋筋東一丁目	全	字真菰原	字西向	字島田
日本橋筋東二丁目	全	字濱ノ口	字井杭	字西水田
逢阪上之町	全	字義千御 字南ノ丸	字義千	字魚小路
逢阪下之町	全	字戎杭	字御所ノ内	字東水田
天王寺生玉前町	全	字東生玉前 字西生玉町	字東生玉町	字生玉前
天王寺六万休町	全	字東谷 字六万休	字西谷	字屋敷前
天王寺稚寺町	全	字古屋敷	字稚寺外	字稚寺外
天王寺元町	全	字荒陵山	字園裏	字龜遊島
天王寺生玉寺町	全	字生玉寺町	字尼寺	

天王寺夕陽丘町	天王寺大字天王寺ノ内	字夕陽岳	字夕陽丘	字口繩阪	字乾山
天王寺伶人町	全	字北ノ丸	字中ノ丸		
天王寺玉水町	全	字小田ヶ池 字北國分寺	字小田池	字城ノ下	字城下 字墓ノ前
天王寺大道一丁目	全	字烏橋	字烏橋	字土塔	字東中ノ町
天王寺大道二丁目	全	字竹中	字表筋	字裏筋	字往大道
天王寺大道三丁目	全	字隱元ノ辻	字隱元之辻	字北河堀	字河堀 字宮ノ前
天王寺大道四丁目	全	字内田 字鳥ヶ上	字馬ノ口 字十六	字河堀口 字十六南川	字黃金地
天王寺阿部野筋一丁目	天王寺大字天王寺ノ内	字西久保			
天王寺阿部野筋二丁目	全	字堀越	字長者ヶ崎	字長者崎	字脇ノ岡
天王寺茶臼山町	全	字茶臼山 字垣添 字塚原外三字	字中ノ町 字大堀	字仲ノ町 字四ツ松	字仲町 字塚原 字下ノ町
天王寺悲田院町	全	字悲田院 字東長者崎	字悲田院	字東長者ヶ崎	字東長者ヶ崎

天王寺北河堀町	天王寺大字天王寺ノ内	字タ、ラ	字小川	字清水二ヶ所ノ内南ノ一ヶ所	
天王寺南河堀町	全	字南平戸 字三明	字北平戸 字三明外二字	字平戸	字大倉 字牛追塚
天王寺寺田町	全	字北寺田	字南寺田		
天王寺勝山通一丁目	全	字申山 字東寺ノ町	字西寺之町 字東門前	字西寺ノ町	字東寺之町
天王寺勝山通二丁目	全	字尻矢	字小儀口		
天王寺勝山通三丁目	全	字百濟寺 字キトラ	字奥ノ内		
天王寺眞法院町	天王寺大字天王寺ノ内	字眞法院 字下ノ大道口	字直法院	字毘沙門	字下大道口
天王寺烏ヶ辻町	全	字東烏ヶ辻 字葭ヶ碓	字西烏ヶ辻 字東部	字東烏ヶ辻	字烏ヶ辻 字西烏ヶ辻
天王寺小宮町	全	字小宮			
天王寺上之宮町	全	字上ノ宮			

天王寺北山町	天王寺大字天王寺ノ内	字北ノ山
天王寺石ヶ辻町	全	字石ヶ辻 字野中
天王寺筆ヶ崎町	全	字筆ヶ崎 字金池 字中ノ山 字五合谷
天王寺細工谷町	全	字細工谷
天王寺松ヶ鼻町	全	字松ヶ鼻
天王寺堂ヶ芝町	全	字堂ヶ芝 字南堂ヶ芝 字大ノ池 字南堂 字井ノ内 字南堂ヶ辻 字井ノ内 字南堂ヶ碓
天王寺東上町	全	字阿州 字阿劬 字阿洲 字東上郷
生野國分町	生野大字國分ノ内	字山ノ内南川 字高田 字山ノ内 字南門 字松ヶ崎
東 區		
町 名		
區		
域		
谷町八丁目	西高津ノ内	字谷町八丁目寺町 字谷町筋八丁目寺町 字八丁目寺町 字梅ヶ辻ノ内五十一番地

谷町九丁目	西高津ノ内	字梅ヶ辻ノ内五十一番地ヲ除クノ外
西高津中寺町	全	字中寺町 字生玉筋中寺町 字中寺町西裏 字生玉中寺町
生 玉 町	全	字生玉(生國魂神社地)ノ内百六十二番地、六百十二番地ノ一、六百十二番地ノ二ヲ除クノ外 字西寺町ノ内百八十五番地 字持明院前 字生玉寺町 字源聖寺阪 字源照寺阪
下寺町一丁目	全	字西寺町ノ内百八十五番地ヲ除クノ外 字生玉新地 字生玉ノ内百六十二番地ノ一、百六十二番地ノ二
東平野町一丁目	東平野大字北平野ノ内	字壹丁目
東平野町二丁目	全	字貳丁目
東平野町三丁目	全	字三丁目
東平野町四丁目	全	字四丁目 字四丁目
東平野町五丁目	全	字五丁目 字野堂町
東平野町六丁目	全	字六丁目 字六丁目

東平野町七丁目	東平野町八丁目	東平野町九丁目	東平野町十丁目	上 綿屋町	上本町八丁目	上本町九丁目	上本町十丁目	上本町五丁目	上本町六丁目	東高津北之町
東平野大字北平野ノ内 字七丁目 字裏町	全 字八丁目 字町跡	東平野大字南平野ノ内 字九丁目	全 字拾丁目 字十丁目 字拾町目	全 字横町	全 字中町 字中町裏 字元中町 字搦町表 字泥堂町ノ内五番地、五番地ノ一、六番地、六番地ノ一	全 字泥堂町ノ内五番地、五番地ノ一、六番地、六番地ノ一ヲ除ノ外 字京町	全 字紺屋町	東平野大字高津ノ内 大字淨寺浦 字向カイト 字向イト	全 字屋敷	全
					字東畑 字カイトノ内五十四番地 字交ヶ山 字丁長 字小拍子 字築山 字エタカマヘ 字道ヨリ北東浦 字北東浦 字タタビヤノ内二百三番地、二百三番地ノ甲、二百三番地ノ乙					

東高津南之町	餅差町	上本町四丁目	八丁目中寺町	八丁目東寺町	小橋寺町	山小橋町	宰相山町	山之町	清堀町
東平野大字高津ノ内 字奥谷 字久保地 字東浦 字道場島 字道場島ノ乙ヲ除ノ外 字タタビヤノ内二百三番地、二百三番地ノ甲、二百三番地	全 清堀ノ内 字餅差町 字カイトノ内五十四番地ヲ除ノ外 字茴香畑	東平野大字東高津ノ内 字八丁目寺町 字上本町八丁目寺町 字八丁目本町 字上寺町八丁目寺町	全 字八丁目中寺町 字上本町八丁目中寺町	全 字八丁目東寺町	全 字小橋寺町 字傳同	全 字小橋山ノ内百八十番地、百八十一番地、百八十二番地ヲ除ノ外	全 字宰相山	全 字山ノ下	全 字堀

北野佐藤町	北野ノ内	字サトウ
北野牛丸町	全	字牛丸
北野大深町	全	字大フケ
北野小深町	全	字小フケ
北野芝田町	全	字芝田
北野茶屋町	全	字茶屋ノ下
北野松本町	全	字松ヶ本
北野角田町	全	字角田 字堂金
北野小松原町	全	字小松原
北野高垣町	全	字高ノ内 字高ノ内 字カイチ
北野堂山町	全	字堂ノ後 字堂山
北野東之町	全	字神山 字寺山

北野西之町	北野ノ内	字西ノ口
北野太融寺町	全	字二王門 字仁王門 字稻荷山
北野兔我野町	全	字兔我ノ尾 字兔我野尾ノ内通稱西寺町通寺院地墓地及七百九十一番地 ヲ除ノ外 字藏人
西寺町二丁目	全	字兔我野尾ノ内通稱西寺町通寺院地墓地及七百九十一番地
西梅ヶ枝町	全	字才田
野崎町	全	字アドエ 字野神 字北野口
曾根崎永樂町	曾根崎ノ内	字永樂
曾根崎上一丁目	全	字藤ノ棚
曾根崎上二丁目	全	字志摩殿内
曾根崎上三丁目	全	字古城
曾根崎上四丁目	全	字城ノ内 字城之内

曾根崎中一丁目	曾根崎ノ内	字大高
曾根崎中二丁目	全	字盛都
東梅田町	全	字關明
梅田町	全	字住ノ江 字住野江
北梅田町	全	字北條 字北条
西梅田町	全	字南條 字南条 字天戸
上福島一丁目	上福島ノ内	字上砂 字川岸ノ内九百十五番地西端以東 字下砂 字江ノ口
上福島二丁目	全	字明島 字北ノ場 字宮ノ前 字渡シ場 字大道 字川岸ノ内九百十五番地西端以西九百三十七番地ノ二西端
上福島三丁目	全	字中 字川岸ノ内九百三十七番地ノ二西端以西 字コモ池 字九十婦 字樋下 字樋ノ下
上福島中一丁目	全	字見古田 字見コウ田 字見コウテン 字尺古田 字眞砂
上福島中二丁目	全	字中道 字中通 字中通リ 字野中

上福島中三丁目	全	字廻リ江 字廻江
上福島中四丁目	全	字南室田
上福島中五丁目	全	字越ケ樋 字越カ樋 字コシガヒ
上福島北一丁目	全	字打越 字横堤
上福島北二丁目	全	字長福寺 字ヒダナ 字ヒタナ 字ヒダナ第一號
上福島北三丁目	全	字道端 字カイトノ前 字カイドノ前
下福島一丁目	下福島大字下福島ノ内	字河原 字カハラ 字コシカヒ
下福島二丁目	全	字船越 字川岸 字樋ノ下 字樓川岸 字樓河岸 字宮ノ西
下福島三丁目	全	字樋ノ上 字草場 字艸場 字清渚 字苗代
下福島四丁目	全	字芦ノ江
下福島五丁目	全	字下小島
安井町	下福島大字安井	

東 寺 町	西成川崎ノ内	字東寺町	字寺町
南同心町一丁目	全	字南町東	
南同心町二丁目	全	字南町西	
興力町一丁目	全	字西町東	
興力町二丁目	全	字西町	
北同心町一丁目	全	字北町東	
北同心町二丁目	全	字北町西	字夫婦池
天満橋筋五丁目	全	字外島	字源八 字花ノ蔭 字花蔭
天満橋筋西一丁目	全	字南小家場	字南小屋場 字東小家場 字東小屋場
天満橋筋西二丁目	全	字觀音寺	字七村
天神橋筋東一丁目	全	字西小家場	字天満山
天神橋筋東二丁目	全	字池田町東裏	字白壁

天神橋筋五丁目	西成川崎ノ内	字新宅	
天神橋筋六丁目	全	字六十間	字六拾間 字北太夫殿 字西流山
天神橋筋西一丁目	全	字陣屋前	字新屋敷 字堀留
天神橋筋西二丁目	全	字池田町西裏	字新宅西 字難波地 字南太夫殿
西寺町一丁目	全	字アドエ	字アトエ 字北野口 字藏人
東 梅ヶ枚 町	全	字梅ヶ枚	字砂原 字才田
西野田平松町	西成野田ノ内	字平松	
西野田草開町	全	字草開	
西野田玉川町一丁目	全	字村東	
西野田玉川町二丁目	全	字弓場	字奥 字大北
西野田玉川町三丁目	全	字城ノ内	字堤
西野田玉川町四丁目	全	字北ノ口	字北之口

西野田龜甲北之町	西成野田ノ内	字龜甲貳	字龜甲二
西野田龜甲南之町	全	字龜甲壹	字龜甲一
西野田中江町	全	字中江壹	字中江一
西野田江成町	全	字江成壹	字江成一
西野田吉野東之町	全	字吉野中壹	字吉野中一
西野田吉野西之町	全	字吉野中四	字吉野中三
西野田今開町	全	字今開貳	字今開二
西野田大野町一丁目	全	字大野	字大南
西野田大野町二丁目	全	字大野	字大野
西野田十六町	全	字十六	字十六一
西野田對込町	全	字對込	字對込

西野田兼平町	西成野田ノ内	字兼平	
西野田茶園町	全	字茶園壹	字茶園ノ貳
西野田大開町	全	字大開壹	字大開三
西野田新家東之町	全	字新家東	字中瀬
西野田新家西之町	全	字新家西	字新家前
西野田上島町	全	字上島田	字曾根島
西野田下島町	全	字下島	字土信
西野田嬉ヶ崎町	全	字嬉ヶ崎	
天神橋筋東四丁目	豐崎大字本庄ノ内	字東流山	字西流山
本庄中野町	全	字上中野	字奥中野
本庄黒崎町	全	字黒崎	字淵ノ側

本庄浮田町	豐崎大字本庄ノ内	字浮田	字長刀
本庄葉村町	全	字東葉村	字西葉村 字葉村
本庄横道町	全	字横道	字山ノ鼻 字山ノハナ
本庄東權現町	全	字東權現	
本庄西權現町	全	字權現	
南濱町	豐崎大字南濱		
天滿橋筋西三丁目	豐崎大字國分寺ノ内	字開花	字櫻狩
天滿橋筋西四丁目	全	字春霞	
樋之口上之町	全	字花遊	
樋之口下之町	全	字樋ノ口	字新川
天滿橋筋六丁目	全	字梅ノ宮	字梅之宮
天滿橋筋七丁目	全	字花ノ下	

天神橋筋東三丁目	豐崎大字國分寺ノ内	字六十間	字六拾間 字六十間東 字六拾間東
新喜多町	鯉江大字新喜多 鯉江大字蒲生		
善源寺町	都島大字善源寺		
澤上江町	都島大字澤上江		
中野町	都島大字中野		
東野田町	東成野田		

●築港埋立地新町名設定

(沿革) 四三年三月告示第二六號改正
 明治四十年三月廿九日
 大阪市告示第一六號

本市會ノ議決ヲ經大阪府知事ノ許可ヲ受ケ本年四月一日ヨリ築港埠頭及八幡屋町地先埋立地へ左記ノ町名ヲ設定ス
 西區一條通一丁目、全二丁目、二條通一丁目、全二丁目、全三丁目、全四丁目、三條通一丁目、全二丁目、全三丁目、全四丁目、四條通一丁目、全二丁目、全三丁目、全四丁目、五條通一丁目
 第十三類 土木

●築港埋立地新町名設定

明治四十年六月廿四日
 大阪市告示第四七號

本市會ノ議決ヲ經大阪府知事ノ許可ヲ受ケ本年七月一日ヨリ淀川下
 四五七

流八幡屋町地先及尻無川下流北福崎町地先埋立地ニ左ノ町名ヲ設定ス

西區 天保町
同 北福崎町

舊 北堀江下通二丁目
新 北堀江御池通二丁目
舊 北堀江下通三丁目
新 北堀江御池通三丁目
舊 北堀江下通四丁目
新 北堀江御池通四丁目
舊 北堀江下通五丁目
新 北堀江御池通五丁目
舊 北堀江下通六丁目
新 北堀江御池通六丁目

町名改稱並町區域變更ノ件

明治四十五年二月十四日
大阪市告示第十號

(沿革) 四五年三月告示第二二號、四五年四月告示第四二號改正
本市會ノ議決ヲ經大阪府知事ノ許可ヲ受ケ本月八日ヨリ左記ノ通町
名ヲ改稱シ並町區域ヲ變更ス但シ詳細ヲ知ラムトスル者ハ本市役所
ニ就キ承合スヘシ

記

東區 新宮林町
南區 舊 古屋敷町
舊 東新瓦屋町
舊 西新瓦屋町
西區 北堀江下通一丁目
新 北堀江御池通一丁目

新 九條北通一丁目
舊 九條北通一丁目
九條北通一丁目境界以西、五百五十九番地ノ一地先ヨリ西へ、五百五十九番地ノ一地先ニ至ル道路以北、五百八十二番地ノ一地及五百九番地ノ一地東側道路以西、四百八十二番地先ニ至ル道路以北、全地先ヨリ西へ三百七十一番地先ニ至ル道路以北

九條通一丁目

九條北通一丁目境界以南、八百六十九番地八百七十番地境界ヨリ西へ六十六番地ノ七地先ニ至ル道路以北、全地先ヨリ北へ四十八番地ノ二ノ二ノ三地先ニ至ル道路以東

全 二丁目
九條通一丁目境界以西、九條北通二丁目境界以南、六十六番地ノ一地先ヨリ西へ六百四十四番地ノ四地先ニ至ル道路以北、六百四十五番地ノ三地五百七十二番地ノ六地以北、全地先ヨリ北へ六百七十五番地ノ七地先ニ至ル道路以東

全 三丁目
九條通二丁目境界及五百七十二番地ノ三地五百七十四番地ノ一地五百七十五番地ノ一地東側道路以西、九條北通三丁目境界以南、五百七十五番地ノ一地先ヨリ西へ四百五十九番地先ニ至ル道路以北、全番地先ヨリ北へ四百八十二番地先ニ至ル道路以東

全 四丁目
九條通三丁目境界以西、九條北通三丁目境界以南、四百五十八番地ノ一地先ヨリ西へ三百五十五番地ノ二地先ニ至ル道路以北
九條中通一丁目
九條通一丁目境界以南、七百五十六番地ノ五地及八百八

十四番地ト七百九十五番地及八百八十五番地境界ヨリ西へ百五十三番地ノ一地先ニ至ル道路以北、全地先ヨリ北へ六十五番地ノ九地先ニ至ル道路以東
全 二丁目
九條中通一丁目境界以西、九條通二丁目境界以南、百五十三番地ノ一地先ヨリ西へ五百九十三番地ノ八地先ニ至ル道路以北、全地先ヨリ北へ五百七十二番地ノ七地先ニ至ル道路以東
全 三丁目
九條中通二丁目境界以西、九條通三丁目境界以南、五百八十七番地ノ八地先ヨリ西へ三百十五番地先ニ至ル道路以北、全地先ヨリ北へ四百五十八番地ノ一地東側ニ至ル道路以東
全 四丁目
九條中通三丁目境界以西、九條通四丁目境界以南、三百十五番地先ヨリ西へ三百三十六番地先ニ至ル道路以北、四百三番地先ヨリ南へ四百七番地ノ四地先ニ至ル道路以西
九條南通一丁目
九條中通一丁目境界以南、百六十九番地ノ五地先ヨリ北へ百五十三番地ノ一地先ニ至ル道路以東
全 二丁目
九條南通一丁目境界以西、九條中通二丁目境界以南、二

第十三類 土 木

百三十九番地ノ一地先ヨリ北へ五百九十三番地ノ七地先ニ至ル道路以東

全 三丁目

九條南通二丁目境界以西、九條中通三丁目境界以南、三百二十二番地ノ三地先ヨリ北へ三百十五番地先ニ至ル道路以東

全 四丁目

東 九條南通三丁目境界以西、九條中通四丁目境界以南及以

舊 安治川通北四丁目

新 北安治川通四丁目

舊 境川町

新 北境川町

舊境川町中九條町外一箇町區負擔區ニ屬スル部分即境川運河中央以北

新 南境川町

舊境川町中市岡町外十一箇町區負擔區ニ屬スル部分即境川運河中央以南

岩崎町ノ區域ヲ變更シ二十六番ノ一地以東、六番地ノ二地東側道路以東、六番地ノ二地南側境界以南、九十四番地ノ六地九十四番地ノ四地及六十四番地六十五番地六十六番地六十七番地合併地ノ東側境界以外東ヲ松島町三丁目ト改稱

北 區

舊 安治川通上一丁目

新 安治川通上一丁目

四六〇

舊 安治川通上二丁目

新 安治川通上二丁目

舊 安治川通北一丁目

新 北安治川通一丁目

舊 安治川通北二丁目

新 北安治川通二丁目

舊 安治川通北三丁目

新 北安治川通三丁目

舊 安治川通南一丁目

新 南安治川通一丁目

舊 安治川通南二丁目

新 南安治川通二丁目

舊 安治川通南三丁目

新 南安治川通三丁目

第十四類 市 有 地

●濱地下付ニ付府知事命令

明治三十年十二月九日 大阪府指令第二六八五號

大 阪 市

大阪築港工事ヲ補助スル爲メ大阪市内國有濱地下付候條左記命令ノ各項堅ク遵守スヘシ

命 令 書

一大阪市ニ下付スル國有濱地ノ坪數ハ別紙調書及圖面ニ依リ八萬三千四百十三坪九合五勺ト定メ他日ニ至リ測量ノ結果等ニ依リ坪數ニ異動ヲ生スルモ下付シタル濱地ハ一切之ヲ増減セサルモノトス

二築港工事費ニ不足ヲ生スルカ又ハ濱地賣却代金豫定ノ價格ニ達セサル等ノ理由ヲ以テ更ニ下付セサル部分ノ濱地下付ヲ請求スルコトアルモ一切之ヲ聽許セサルモノトス

三左ニ掲グル事項ハ市會ノ議決ヲ經テ本知事ノ認可ヲ受クヘシ他日之カ變更ヲ爲サントスルトキ亦同シ

一濱地賣却手續

二賣却代金徵收手續

三未納代金擔保方法

第十四類 市 有 地

四濱地ヲ賣却シタルトキハ其地番號(濱地番)坪數賣却代價等一筆限リ取調ヘ府廳ヲ經由シテ內務大臣ニ報告スヘシ

五國有濱地ノ下付ニ付大阪府ハ本年勅令第七十二號及本年九月八日訓第八〇五號內務大臣訓令并ニ本命令ノ各條項ヲ堅ク遵守スヘキ旨請書差出スヘシ

六國有濱地ノ下付ハ前項ノ請書ヲ差出シタル日ヲ以テ効力ヲ生スルモノトス

七本命令ノ全部ヲ遵守セサルトキハ下付シタル濱地ノ全部若クハ一部ヲ返納セシメ又ハ之ニ相當スル金額ヲ國庫ニ納付セシムルコトアルヘシ

(別紙略ス)

●市有濱地賣却規程

明治卅一年九月十七日 大阪府告示參第二五號

第一條 明治三十年三月勅令七十二號ニ依リ本市ニ下付セラレタル濱地ハ本市ニ於テ評定シタル價格ニ依リ隨意契約ヲ以テ左ニ掲

グルモノニ之ヲ賣却ス

一貸渡アル濱地ハ其借用者

二貸渡ナキ濱地ハ曾テ國ニ於テ貸渡タルコトアリタルモノ國ノ都合

ニ依リ期限中ニ返地ヲ命セラレタルモノ若クハ期限滿期ノ際返

四六一

第十四類 市有地

地セシメラレタルモノニシテ當時ノ借用者尙其濱地ノ隣地若ク

ハ其濱地ト道路ヲ隔テ相對スル土地ヲ所有スルトキハ其借用者

第二條 第一條第一項第二項ニ該當セサルモノ及第一項ニ該當スル

モノハ内國ニ於テ貸渡タル期限經過シ更ニ市ニ於テ賣却スル迄ノ

間特ニ貸渡タルモノ并ニ第二項ニ該當スルモノ其買受テ望マサルモ

ノハ競争入札ニ付シ之ヲ公賣ス

第三條 市ノ直接公用ニ供スル爲メ必要ナル濱地ハ第一條第二條ノ

規定ニ依ラス市費相當科目ヨリ其代價ヲ支出スルモノトス

第四條 第一條第一項第二項ニ該當スルモノ其濱地ノ買受テ望ムト

キハ圖面及評定價格ヲ示シ別紙第一號書式ノ願書ヲ差出サシメ代

金ヲ納付シタル上第二號書式ノ賣渡證書ヲ付與ス

第五條 第一條第一項及第二項ニ該當スルモノ其濱地ノ買受テ望ム

モ一時ニ代價ヲ納付スルコト能ハサルトキハ其出願ニ依リ代價ノ

分納ヲ許ス可シ此賣買ニ關スル方法ハ追テ之ヲ定ム

第六條 競争入札ヲ以テ濱地ノ公賣ヲ爲ストキハ左ノ事項ヲ公告ス

一 公賣スル濱地ノ所在並ニ地番號及坪數

二 入札及開札ノ場所日時

三 入札保證金額

四 代價納付期日

五 第一項乃至第四項ニ掲ケル外必要ト認ムル事項

第七條 競争入札ヲ爲サントスルモノハ濱地取扱所ニ就キ關係書類

熟覽ノ上公告ノ日時迄ニ入札保證金ヲ添ヘ入札スヘシ

但一坪ニ付金 圓

右ハ今般前書ノ代金ヲ以テ御拂下相成度就テハ市有濱地賣却規程

遵守可致ハ勿論代金ハ御指定ノ期日ニ完納可致候間御開屆相成度

此段相願候也

年 月 日

住 所

氏 名 印

大阪市參事會宛

(第二號書式) 土地賣渡證

大阪市 區 町 番地

一市街宅地 坪

此代金 圓

右ノ土地前記ノ代金ヲ以テ賣渡候也

年 月 日

大阪市參事會

大阪府 知事

何 某

(第三號書式) 請 書

大阪市 區 町 番地

一市街宅地 坪

右競争入札ノ結果私ニ落札相成候旨御達ニ付請書差出候也

第十四類 市有地

第八條 入札ハ最高額ヲ以テ落札トス最高額ノ者二名以上アルトキ

ハ之ヲシテ其最高額以上ノ價格ヲ以テ競争入札ヲ爲サシメ落札者

若シ此入札ニ於テモ最高額二名以上アルトキハ抽籤ヲ以テ落札者

ヲ定ム

但入札ノ金額不相當ト認ムルトキハ總テ入札ヲ取消ス可シ

第九條 落札者ノ入札保證金ハ代價完納ノ上之ヲ還付シ其他ノ入札

保證金ハ開札ノ後之ヲ還付ス

但シ落札者ノ入札保證金ハ代價ノ内ニ轉納スルコトヲ得

第十條 落札者定マリタルトキハ別紙第三號書式ニ依リ直ニ其請書

ヲ徵シ代價完納シタルトキ別紙第四號書式ノ賣渡證書ヲ付與シ落

札者請書ヲ差出ササルカ又ハ落札ノ取消ヲ乞ヒ若クハ指定ノ期日

迄ニ代價ヲ納メサルトキハ其落札ヲ取消シ入札保證金ハ違約金ト

シテ本市ノ所得トス

第十一條 第八條第十條ニ依リ入札又ハ落札ヲ取消シタルトキハ更

ニ入札ニ付シ其入札ニ於テモ尙ホ入札金額不相當ト認ムルトキハ

之ヲ取消シ隨意契約ニ依リ賣却スルモノトス

第十二條 本規程施行ニ關シ前各條ニ規定シタル外必妥ト認ムル事

項ハ市參事會之ヲ定ム

(別紙) (第一號書式) 濱地御拂下願

大阪市 區 町 番地

一市街宅地 坪

此代金 圓

年 月 日

住 所

氏 名 印

大阪市參事會宛

(第四號書式) 土地賣渡證

大阪市 區 町 番地

一市街宅地 坪

此代金 圓

右ノ土地競争入札ニ依リ前記ノ代金ヲ以テ賣渡候也

年 月 日

大阪市參事會

市 長

何 某

市有濱地賣却代價分納規程

明治卅五年七月廿三日

大阪府告示第四六號

本市會ノ議決ヲ經大阪府知事ノ認可ヲ得テ市有濱地賣却代價分納規

程左ノ通相定ム

第一條 市有濱地賣却規程第五條規定ノ濱地代金分納ノ方法ハ本規

第十四類 市有地

程ノ定ムル所ニ依ル

第二條 代金分納ノ方法ニ依リ濱地買受ケ契約ヲ爲シタルモノハ直ニ分納代金第一回分トシテ賣買代價ノ十分ノ二ニ相當スヘキ金額ヲ本市ニ納付スルヲ要ス

第三條 濱地代金分納ノ回数金額及時期ハ左ノ方法ニ依ルモノトス一回數ハ之ヲ五回ト定ム但買受人ノ望ミニ依リ四回以下ニ納ムルコトヲ得

二賣買代金ノ内ヨリ第二條ノ第一回分納代金ヲ引去リ殘金ハ第一回以下ノ回数ニ平分シ每期其一分ヲ納付スルモノトス但金額ノ計算ハ總テ四捨五入ノ法ニ基キ錢位ニ止ム

三納期ハ毎年七月三十日トス
但第二條ノ第一回分ヲ分納セシモノハ次キノ納期ハ其翌年七月三十日トス

第四條 買受人ハ分納代金ノ數回分ヲ一時ニ納付スルコトヲ得此場合ニ於テ別ニ申出ナキトキハ殘代金ニ對スル納期ハ順次之ヲ繰上タルモノト看做ス

第五條 分納代金ノ納付ヲ遲滞シタルトキハ納期ノ翌月ヨリ百圓ニ付一日金四錢ノ割合ヲ以テ遲延利息ヲ納付セシムルモノトス

第六條 分納代金ノ納付ヲ遲滞シタルトキハ納期日後十日ヲ經テ催告ヲ爲スヘシ催告後二十日ヲ經テ尙納付セサルトキハ殘代金ヲ一時ニ請求シ又ハ賣買契約ヲ解除スルコトアルヘシ

第七條 買受人ノ責ニ歸スヘキ理由ニ依リ契約ヲ解除シタルトキハ第二條ノ第一回分納代金ハ市ノ所得トス

市ニ於テ代金ヲ領收シタル翌日ヨリ之ヲ起算ス買受人分納代金ノ數回分ヲ一時ニ納付シ殘代金ノ納期ヲ順次繰上ケサル旨ヲ申出テタルトキハ貸貸料ハ一ケ年分宛毎年七月卅日之ヲ前納セシム

第四條 貸貸料ノ計算ハ四捨五入ノ法ニ依リ之ヲ錢位ニ止ム
前項ハ貸貸料又ハ分納代金ニ對スル遲延利息ノ計算ニ關シ之ヲ準用ス

第五條 買受人ハ別紙第一號様式ノ承諾請求書ヲ提出シテ本市ノ承諾ヲ得タルトキハ代金完納前自己ノ權利及義務ヲ全部第三者ニ讓渡スコトヲ得

承諾請求書ハ讓受人之ニ連署スルコトヲ要ス
讓渡ハ本市書面ヲ以テ承諾ノ通知ヲ發送シタル當日ヨリ本市ニ對シテ其効力ヲ生ス

第六條 買受人ハ本市ニ對スル讓受人ノ債務ニ關シ保證ノ義務ヲ負フ
讓受人ハ本市ニ對スル債務ニ關シ買受人ノ外一名以上ノ保證人ヲ立ツルコトヲ要ス

第七條 讓渡以後ニ對スル既納ノ貸貸料ハ之ヲ讓受人ノ納付シタルモノト看做ス

第八條 相續又ハ遺贈ニ由リ買受人ノ權利及義務ヲ承繼シタル者ハ左記各號ノ區別ニ依リ本市ニ對シテ其通知ヲ爲スコトヲ要ス
一家督相續ノ場合ハ戶籍ノ謄本ヲ添附シ相續シタルコトヲ知リタル當日ヨリ四十日以内ニ家督相續通知書ヲ提出スルコト

二遺產相續ノ場合ハ買受人又ハ相續人ノ親族二名以上連署ノ證明

第十四類 市有地

第八條 代金分納ニ係ル濱地ハ代金完納ノ後ニアラサレハ所有權ヲ移轉セサルモノトス

第九條 代金分納ニ係ル濱地ハ分納期間中之ヲ買受人ニ貸渡スモノトス其貸貸料ハ一ケ年代金百分ノ八トシ分納スヘキ代金ノ割合ニ應シ一期毎ニ遞減スルモノトス

第十條 本規程ノ施行ニ必要ナル事項ハ市參事會之ヲ定ム

●市有濱地賣却代價分納規程施行細則

明治卅六年三月十三日
告示第一〇號

(沿革) 三十七年二月告示第三號改正

本市市有濱地賣却代價分納規程第十條ニ依リ市有濱地賣却代價分納規程施行細則左ノ通相定ム

第一條 市有濱地賣却代價分納規程施行細則
第一條 買受人ハ納期以外ニ於テモ分納代金ノ殘額ヲ一時ニ完納スルコトヲ得

第二條 本市ハ前條ノ場合ニ於テ納付ノ申込ヲ受ケタル當日其代金ヲ領收ス但本市ニ於テ事務ノ都合上其他止ムヲ得サル事故アルトキハ別ニ領收ノ期日ヲ指定ス

第三條 前二條ノ適用ニ因リ返還スヘキ貸貸料ニ相當スル日數ハ本

ナ附記シ相續シタルコトヲ知リタル當日ヨリ二十日以内ニ遺產相續通知書ヲ提出スルコト

三遺贈ノ場合ハ之ニ對スル證據物件ヲ添附シ遺言ノ効力ヲ生シタルコトヲ知リタル當日ヨリ二十日以内ニ受遺通知書ヲ提出スルコト

前項第二號ノ證明人ハ肩書トシテ買受人又ハ相續人ニ對スル親族關係ヲ附記スルコトヲ要ス

第九條 買受人ハ別紙第二號様式ノ證明請求書ヲ提出シテ第三號様式ノ契約證明書ヲ交付ヲ請求スルコトヲ得

第十條 買受人ハ第三者ニ對スル法律行為ニ關シ其證據物件トシテ契約證明書ヲ使用シタルトキハ其相手方ト連署シテ使用ノ當日ヨリ五日以内ニ別紙第四號様式ノ使用通知書ヲ提出スルコトヲ要ス

第十一條 前條ノ各連署者ハ法律關係消滅ノ場合ニ於テ本市ニ對シ更ニ連署ヲ以テ消滅ノ當日ヨリ五日以内ニ別紙第五號様式ノ消滅通知書ヲ提出スルコトヲ要ス

第十二條 買受人ハ本市トノ賣買契約解除ノ場合ニ於テ解除ノ當日ヨリ七日以内ニ契約證明書ヲ本市ニ返還スルコトヲ要ス

第十三條 本市ハ買受人代金ヲ完納シタルトキハ別紙第六號様式ノ土地賣渡證書ヲ交付ス

第十四條 買受人ハ土地賣渡證書受領ノ際契約證明書ヲ返還スルコトヲ要ス

第十五條 買受人ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ其事情ヲ具シテ本市ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第十四類 市有地

四六六

一、第十條又ハ第十一條ノ連署ヲ求ムル能ハサルトキ
 二、第十二條又ハ前條ノ返還ヲ爲ス能ハサルトキ
 本市ハ前項ニ依リ買受人ノ具申シタル事情ヲ否認スルコトヲ得

第十六條 本市ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ第十條ノ連署ヲ爲シタル買受人ノ相手方ニ對シ其事情ヲ通知シ又ハ適當ノ方法ニ依リ之ヲ公告ス

一、契約證明書ノ返還及第十一條ノ通知無クシテ買受人トノ賣買契約解除ニ至リタルトキ
 二、買受人前條ノ手續ヲ爲サ、ルトキ
 三、本市ニ於テ前條第二項ニ依リ事情ヲ否認シタルトキ
 四、前三號ノ外第三者ノ利害關係上通知又ハ公告ノ必要アリト認めタルトキ

第十七條 本市ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ買受人契約證明書滅失其他ノ理由ヲ以テ再度ノ交付ヲ請求スルモ又ハ代金ヲ完納シテ土地賣渡證書ノ交付ヲ請求スルモ第十條ノ連署ヲ爲シタル相手方ニ對シ其事情ヲ通知シ又ハ適當ノ方法ニ依リ之ヲ公告シ相當ト認めタル期間其交付ヲ延期ス

一、第十一條ノ通知無キ以前
 二、第十五條第二項ニ依リ事情ヲ否認シタルトキ
 三、前三項ノ外第三者ノ利害關係上通知又ハ公告ノ必要アリト認めタルトキ

第十八條 本市ハ前二條ノ手續ヲ經タル後不都合アリト認めタルトキハ交付ノ請求ニ應スルコト無シ

大阪市參事會
 大阪市長

殿

第二號

證明請求書

區 町 番
一市 街 宅 地

前記ノ土地ニ關スル御市トノ契約御證明相成度市有濱地賣却代價分納規程施行細則ニ依リ此段及請求候也

明治 年 月 日

買受人

大阪市參事會
 大阪市長

殿

第三號

契約證明書

一、契約ノ目的物 區 町 番市街宅地 坪 合 勺
 二、契約ノ相手方
 三、代金總額
 四、土地買受契約書ノ日附 明治 年 月 日
 五、代金分納ノ回数 回
 六、既納回数 回
 七、未納代金

前記第一號ノ土地ニ對シ本市ハ市有濱地賣却規程及市有濱地賣却代價分納規程ニ依リ賣買契約ヲ締結シ第二號乃至第七號ノ事項ハ

第十四類 市有地

第十九條 前二條ハ汚損其他ノ理由ヲ以テ新舊契約證明書ノ交換ヲ請求セラレタル場合ニハ之ヲ適用セス

第二十條 本市ヨリ囑託スヘキ所有權移轉ノ登記又ハ買受人ヨリ申請スヘキ所有權保存ノ登記終了ニ至ル迄ハ土地賣渡證書ニ關シ第十條第十一條及第十五條乃至第十九條ヲ準用ス

第二十一條 買受人ハ此細則ニ依リ設定シタル義務ノ履行ヲ怠リ本市トノ賣買契約ヲ解除セラル、モ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第二十二條 本市ハ止ムヲ得サル事由アリト認めタル場合ニアラザレハ土地轉貸ノ請求ニ應スルコト無シ

第二十三條 此細則ニ依リ設定シタル買受人ノ權利及義務ハ第五條ニ依リ讓渡又ハ第八條ニ依リ相續若クハ遺贈ノ際共ニ移轉スルモノト看做ス

但第六條第一項ノ適用ヲ妨ケス

第一號

承諾請求書

區 町 番
一市 街 宅 地

前記ノ土地ニ關スル買受人ノ權利及義務契約ニ依リ全部讓渡致度候ニ付御承諾相成度市有濱地賣却代價分納規程施行細則ニ依リ此段及請求候也

明治 年 月 日

買受人
承繼人

事實タルヲ證明ス
 明治 年 月 日

大阪市參事會

大阪市長

附記

一、市有濱地賣却代價分納規程抄錄

第八條 代金分納ニ係ル濱地ハ代金完納ノ後ニアラサレハ所有權ヲ移轉セサルモノトス

二、市有濱地賣却代價分納規程施行細則抄錄

第十條 買受人ハ第三者ニ對スル法律行為ニ關シ其證據物件トシテ契約證明書ヲ使用シタルトキハ其相手方ト連署シテ使用ノ當日ヨリ五日以內ニ別紙第四號様式ノ使用通知書ヲ提出スルコトヲ要ス

第十一條 前條ノ各連署者ハ法律關係消滅ノ場合ニ於テ本市ニ對シ更ニ連署ヲ以テ消滅ノ當日ヨリ五日以內ニ別紙第五號様式ノ消滅通知書ヲ提出スルコトヲ要ス

第十二條 買受人ハ本市トノ賣買契約解除ノ場合ニ於テ解除ノ當日ヨリ七日以內ニ契約證明書ヲ本市ニ返還スルコトヲ要ス

第十三條 本市ハ買受人代金ヲ完納シタルトキハ別紙第六號様式ノ土地賣渡證書ヲ交付ス

第十四條 買受人ハ土地賣渡證書受領ノ際契約證明書ヲ返還スルコトヲ要ス

第十五條 買受人ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ其事情ヲ具シテ本市ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

四六七

第十四類 市有地

一 第十條又ハ第十一條ノ連署ヲ求ムル能ハサルトキ
二 第十二條又ハ前條ノ返還ヲ爲ス能ハサルトキ

本市ハ前項ニ依リ買受人ノ具申シタル事情ヲ否認スルコトヲ得
第十六條 本市ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ第十條ノ連署
ヲ爲シタル買受人ノ相手方ニ對シ其事情ヲ通知シ又ハ適當ノ方法
ニ依リ之ヲ公告ス

一 契約證明書ノ返還及第十一條ノ通知無クシテ買受人トノ賣買契
約解除ニ至リタルトキ
二 買受人前條ノ手續ヲ爲サ、ルトキ

三 本市ニ於テ前條第二項ニ依リ事情ヲ否認シタルトキ
四 前三號ノ外第三者ノ利害關係上通知又ハ公告ノ必要アリト認メ
タルトキ

第十七條 本市ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ買受人契約證
明書滅失其他ノ理由ヲ以テ再度ノ交付ヲ請求スルモ又ハ代金ヲ完
納シテ土地賣渡證書ノ交付ヲ請求スルモ第十條ノ連署ヲ爲シタル
相手方ニ對シ其事情ヲ通知シ又ハ適當ノ方法ニ依リ之ヲ公告シ相
當ト認メタル期間其交付ヲ延期ス

一 第十一條ノ通知無キ以前
二 第十五條第二項ニ依リ事情ヲ否認シタルトキ
三 前三號ノ外第三者ノ利害關係上通知又ハ公告ノ必要アリト認メ
タルトキ

第十八條 本市ハ前二條ノ手續ヲ經タル後不都合アリト認メタルト
キハ交付ノ請求ニ應スルコト無シ

大阪市參事會

大阪市長

殿

第六號

土地賣渡證書

區町番

一市街宅地

但此代金

前記ノ土地市有濱地賣却規程市有濱地賣却代價分納規程及市有濱
地賣却代價分納規程施行細則ニ依リ但書ノ代金ヲ以テ賣渡候也

明治 年 月 日

大阪市參事會

大阪市長

殿

附記

市有濱地賣却代價分納規程施行細則抄録

第十條 買受人ハ第三者ニ對スル法律行為ニ關シ其證據物件トシテ
契約證明書ヲ使用シタルトキハ其相手方ト連署シテ使用ノ當日ヨ
リ五日以内ニ別紙第四號様式ノ使用通知書ヲ提出スルコトヲ要ス

第十一條 前條ノ各運署者ハ法律關係消滅ノ場合ニ於テ本市ニ對シ
更ニ連署ヲ以テ消滅ノ當日ヨリ五日以内ニ別紙第五號様式ノ消滅
通知書ヲ提出スルコトヲ要ス

第十二條 買受人ハ本市トノ賣買契約解除ノ場合ニ於テ解除ノ當日
ヨリ七日以内ニ契約證明書ヲ本市ニ返還スルコトヲ要ス

第十四類 市有地

四六八

第十九條 前二條ハ汚損其他ノ理由ヲ以テ新舊契約證明書ノ交換ヲ
請求セラレタル場合ニハ之ヲ適用セス

第二十條 本市ヨリ囑託スヘキ所有權移轉ノ登記又ハ買受人ヨリ申
請スヘキ所有權保存ノ登記終了ニ至ル迄ハ土地賣渡證書ニ關シ第
十條第十一條及第十五條乃至第十九條ヲ準用ス

第四號 使用通知書

明治 年 月 日附 區 町 番市街宅地買受契約ニ關スル御市
ノ第 號契約證明書ハ拙者共 名ノ法律行為ニ關シ其證據物件ト
シテ使用致候ニ付市有濱地賣却規程施行細則ニ對シ異議ナキ旨ヲ
契約シ此段及通知候也

明治 年 月 日

買受人

法律行為關係人

大阪市參事會

大阪市長

殿

第五號 消滅通知書

明治 年 月 日附使用通知書ニ依リ及通知候法律關係ハ明治
年 月 日ヲ以テ消滅致候ニ付此段及通知候也

明治 年 月 日

買受人

法律行為關係人

第十三條 本市ハ買受人代金ヲ完納シタルトキハ別紙第六號様式ノ
土地賣渡證書ヲ交付ス

第十四條 買受人ハ土地賣渡證書受領ノ際契約證明書ヲ返還スルコ
トヲ要ス

第十五條 買受人ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ其事情ヲ具
シテ本市ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

一 第十條又ハ第十一條ノ連署ヲ求ムル能ハサルトキ
二 第十二條又ハ前條ノ返還ヲ爲ス能ハサルトキ
本市ハ前項ニ依リ買受人ノ具申シタル事情ヲ否認スルコトヲ得

第十六條 本市ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ第十條ノ連署
ヲ爲シタル買受人ノ相手方ニ對シ其事情ヲ通知シ又ハ適當ノ方法
ニ依リ之ヲ公告ス

一 契約證明書ノ返還及第十一條ノ通知無クシテ買受人トノ賣買
契約解除ニ至リタルトキ
二 買受人前條ノ手續ヲ爲サ、ルトキ

三 本市ニ於テ前條第二項ニ依リ事情ヲ否認シタルトキ
四 前三號ノ外第三者ノ利害關係上通知又ハ公告ノ必要アリト認
メタルトキ

第十七條 本市ハ左記各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ買受人契約證
明書滅失其他ノ理由ヲ以テ再度ノ交付ヲ請求スルモ又ハ代金ヲ完
納シテ土地賣渡證書ノ交付ヲ請求スルモ第十條ノ連署ヲ爲シタル
相手方ニ對シ其事情ヲ通知シ又ハ適當ノ方法ニ依リ之ヲ公告シ相
當ト認メタル期間其交付ヲ延期ス

第十四類 市有地

- 一 第十一條ノ通知無キ以前
- 二 第十五條第二項ニ依リ事情ヲ否認シタルトキ
- 三 前二號ノ外第三者ノ利害關係上通知又ハ公告ノ必要アリト認メタルトキ
- 第十八條 本市ハ前二條ノ手續ヲ經タル後不都合アリト認メタルトキハ交付ノ請求ニ應スルコト無シ
- 第十九條 前二條ハ汚損其他ノ理由ヲ以テ新舊契約證明書ノ交換ヲ請求セラレタル場合ニハ之ヲ適用セス
- 第二十條 本市ヨリ囑託スヘキ所有權移轉ノ登記又ハ買受人ヨリ申請スヘキ所有權保存ノ登記終了ニ至ル迄ハ土地賣渡證書ニ關シ第十條第十一條及第十五條乃至第十九條ヲ準用ス

市有濱地貸渡方

明治卅一年五月卅一日 市會 議 決

市有濱地ノ内從前貸渡アリシモノニシテ期限經過セシモノハ追テ賣却ニ至ルマテ別紙様式ノ借用證書ヲ徵シ之ヲ貸渡ヲ爲スモノトス但貸渡料ノ額及貸渡ニ關シ必要ナル規程ハ市參事會之ヲ定ム

參 錢 紙 土地借用證

大阪市 町 番地

一市街宅地 坪

但護岸石垣(堰板) 坪
右ノ土地明治 年 月 日ヨリ同 年 月 日迄大阪府知事ノ許可ヲ得テ借用罷在候處明治三十年三月勅令第七十二號ニ依リ大阪市ニ下付セラレタルニ依リ追テ市ニ於テ賣却セラル、迄引續キ借用ノ許可ヲ得候就テハ左ノ條項遵守可致萬一之ニ違背シタルトキハ何時ニテモ之ヲ御引揚ケ相成候共異議不申立ハ勿論爲メニ市ノ損害ヲ生シタルトキハ借用人ニ於テ賠償可致候尤借用人負擔ノ義務ヲ盡サ、ルトキハ借用人ニ代リ保證人ニ於テ之ヲ履行可仕候依テ證書差出候也
明治三十一年 月 日

住 所	借用人 姓 名 印
住 所	保證人 姓 名 印

大阪市參事會宛

- 一 借地料明治 年 月 日ヨリ起算シ一ヶ年 圓錢厘ノ割ヲ以テ御指定ニ從ヒ可相納事
- 二 借用地ニ於テハ既設建造物ノ普通修繕ヲ除クノ外地形ノ變更又ハ増築改築ヲ爲サ、ル事
- 三 借用中借用人ハ其土地保護ノ責ニ任スル事且ツ土地保護ノ爲メ工事ヲ施サントスルトキハ豫メ許可ヲ受クヘキ事
- 四 市ニ於テ借用地ヲ賣却セラル、ニ當リ借用人ニ於テ市ノ賣却規程ニ從ヒ之ヲ買受サル場合ハ直ニ返地スヘキハ勿論借用人ノ所

市有濱地貸渡中地上建物新築 改造及修繕方

明治卅一年九月廿七日 市會 議 決

有ニ係ル地上ノ物件ハ其際御指定ノ期限内ニ必ス撤却スヘキ事 借用者契約違背ノ爲メ借用地ヲ引揚ケラレタル場合ニ於テ損害ヲ生スルモ市ニ對シ賠償ノ要求ヲ爲サ、ル事

大阪市參事會宛

市有濱地貸渡中借受人ニ於テ左ニ掲ケル事項ニ該當シ地上建物ノ新築改造若クハ修繕等出願スルモノニ對シテハ市參事會ニ於テ調査ノ上事實不得止モノト認ムルモノニ限リ別紙案ノ受書ヲ徵シ之ヲ許可スルモノトス

但違約金ノ額ハ市參事會之ヲ定ム

一 火災其他天災ニヨリ既設建造物ノ燒失若クハ大破セシトキ

一 建造物ノ腐朽其他ノ事故ニ依リ其筋ヨリ改造ノ命ヲ受ケタルトキ

御 請 書

大阪市 區 町 番地

一市街宅地 坪

但護岸石垣 坪

右市有濱地ハ賣却規程ニヨリ市ニ於テ賣却セラル、迄拙者へ借用罷在候然ルニ借用中既設建造物ノ普通修繕ヲ除クノ外地形ノ變更

第十四類 市有地

市有濱地上建物撤却ニ關スル 違約金ノ件

明治卅一年十一月五日 市參事會 議 決

違約金一日ニ付貸渡料金年額十分ノ一トシ最低額ヲ金壹圓トス但壹圓以上壹圓ニ滿タル端金ハ四捨五入ノ法ニ據リ圓位ニ止ム

又ハ増築改築等ヲ爲ス能ハサル契約ニ候處從來右地上ニ現在セシ 家屋(納屋)ハ今般火災ノ爲メ燒失(半燒)ニ付(又ハ何々ノ爲)更ニ 改築(大修繕)致度旨特ニ出願御許可ヲ得候ニ付テハ明治三十一年 九月本市告示參第二十五號市有濱地賣却規程第一條ニ依リ該地所 御賣却相成候節拙者ニ於テ之ヲ買受サルトキ若クハ全規程第三條 ニヨリ市ノ公用地トシテ返地ヲ命セラレタルトキハ地上物件ハ三 十日以内ニ撤却可致候萬一撤却方等閑ニ付シ候トキハ違約金トシ テ右期限經過ノ翌日ヨリ一日ニ付金何圓ツ、御指定ノ日ニ相納ムヘク依テ保證人連署ヲ以テ請書差上候也

年 月 日

住 所	借地人 氏 名
住 所	保證人 氏 名

市有濱地貸渡ニ關スル件

明治卅二年五月十日
市會 議決

市有濱地借用人破産家資分散及強制執行ノ爲メ地上ノ物件競賣ニ付セラレ其他裁判ノ結果ニ依リ物件ノ所有權ヲ失ヒタル者ニシテ濱地貸渡料金ヲ納付セサル等ノ事由ヲ以テ貸渡契約ノ解除ヲ爲シタル土地ニシテ將來本市ニ於テ公共ノ用ニ供スル見込ナキモノニ限リ更ニ其地上物件ノ所有權ヲ得タル者ニ對シ追テ賣却ニ至ルマテ貸渡ヲ爲スコトヲ得

市有濱地一時貸與規程

明治卅五年十一月十九日
市會 議決

第一條 市有濱地ノ内從來貸渡無キモノ及貸與契約ヲ解除シタルモノハ本規程ニ依リ一時之ヲ貸與スルコトヲ得

第二條 市有濱地ノ一時貸與ハ其使用ノ目的永久ニ港ラスト認メタルモノニ限ル

但貸與契約ヲ解除シタル土地ニシテ地上物件ノ所有者ニ貸與スル場合ハ此限ニアラス

第三條 貸與期間ハ六ヶ月以内トス但特ニ六ヶ月以上ノ期間ヲ要ス

使用ノ件今回内務大臣ニ於テ左ノ條件ヲ付シ許可セラレ候旨通牒有之稟請ニ對シテハ別ニ指令ニ及ハス候間左様御了知相成度依命此段及通牒候也

追テ命令條項ニ基キ使用處分ニ付認可ヲ稟請セラル、場合ニハ各建築物ノ位置構造下水ノ排除等衛生上ニ關シ特ニ御注意ノ上其計畫相成度候也

記

大阪築港埋立地使用許可條件

- 一 使用期間ハ大阪築港工事完成迄トス
- 一 使用許可ノ土地ニ施設スル工作物其他ノ物件ハ一時ノ用ニ供スルモノニ限ル
- 一 明治三十年訓第八〇五號第七條ニ依リ本大臣ニ於テ土地ヲ指定シタル場合ニ於テハ其土地ニ存スル地上物件ハ市ノ負擔ヲ以テ一定ノ期間内ニ之ヲ除却スヘシ
- 一 使用土地ノ區域ハ道路、溝渠、橋梁、運河、水道、船渠其他ノ工作物ノ施設ニ差支サル様注意スヘシ
- 一 使用處分ニ付テハ一件毎ニ大阪府知事ノ認可ヲ受クヘシ

築港埋立地下付願

明治三十八年七月二十日
工甲第二八五二號
大阪灣築港工事ニ伴フ水面埋立事業ハ別紙圖面及調書ノ通竣功ニ至

ル事情アルモノハ尙三ヶ月以内ヲ延長スルコトヲ得
貸與期間中ト雖本市ニ於テ必要アルトキハ何時ニテモ返地セシムルコトヲ得

第四條 賃貸料ハ土地ノ狀況及使用ノ方法ニ依リ一ヶ月ニ付該濱地ニ對スル本市評定價格千分ノ六乃至十五ノ範圍ヲ以テ之ヲ定ム

築港埋立地道路溝渠其他設備

ニ關スル訓令

明治卅九年十一月十五日
大阪府訓令第四五四號

大阪府 參事會

明治三十年九月八日内務省訓令第八〇五號第九條第二項ニ依リ設備ヲ爲サムトスルトキハ當府ノ許可ヲ受クヘシ

右訓令ス

築港埋立地使用許可條件

明治三十七年五月十七日第二
八二二號大阪府内務部長通牒

本年四月九日付工甲第一二六一號ヲ以テ稟請相成候大阪築港埋立地

ノルモノ既ニ四十六萬四千二百八十六坪ニ達シ候處近時船舶ノ出入漸ク頻繁ニシテ陸上設備ノ完成ヲ催スコト益急ナルノミナラス或ハ現時埋立地ヲ賃貸シテ收益ヲ圖リ或ハ將來之ヲ賣却シテ市債ノ償還ニ充テムトスルモ先ツ御下付ナ許サレ候テハ之ニ永久ノ設備ヲ施スニ由無ク從テ賃貸收益ノ多カラサルハ勿論市債償還ノ目的ニ供スルコトヲ得サルノミナラス港灣ノ繁榮發達ヲ沮害スヘキ次第ニ御座候就テハ何卒此際特別ノ御詮議ヲ以テ前記ノ土地御下付相成度此段稟申仕候也

内務大臣宛

(別紙) 既成築港埋立地調書 (圖面ハ省略ス)

- 一 築港埠頭 三八八、五八九坪
 - 一 安治川口櫻島町地先 八九、一七五
 - 一 同左岸八幡屋町地先 六、一九五
 - 一 尻無川右岸福崎町地先 四、七八五
 - 一 木津川口南恩加島町地先 二五、五四二
- 計 四六四、二八六

築港埋立地一部下付

明治三十九年十一月八日内
務省阪甲第一八三號指令
明治三十八年七月二十日工甲第二八五二號出願埋立地下付ノ件ハ築

港埠頭三十三萬八千五百八十九坪ハ岸地八十間通及別紙圖面点線區域ヲ除キタル殘地ト八幡屋町地先六千九百九十五坪ノ場所ヲ市ノ所有ニ屬セシムヘク候條更ニ實測圖ヲ添ヘ大阪府知事ノ指揮ヲ受クヘシ
(別紙圖面省略)

築港埋立地下付願

明治四十年一月十八日
發 第二五號

一 淀川筋下流八幡屋町地先一千九百七十一坪六合
一 尻無川筋北福崎町地先四千七百八十五坪
右ハ豫テ當市ニ於テ埋立施工ノ所今般竣成候ニ付前記ノ地積御下付相成度明治三十年九月訓令第八〇五號第五條ニヨリ圖面相添此段申請候也

內務大臣宛
(圖面省略)

築港埋立地一部下付

明治四十年三月四日內務省阪甲第一四號指令
務省阪甲第一四號指令

本年一月十八日發第二五號申請既成埋立地下付ノ件開屆候條更ニ實測圖ヲ添ヘ大阪府知事ノ指揮ヲ受クヘシ

築港埋立地所有權認可申請

明治四十年四月一日
發 第二一九號

明治四十年三月四日內務省阪甲第一四號ヲ以テ御下付相成候當市築港既成埋立地淀川筋下流八幡屋町地先及尻無川筋福崎町地先ノ地域ハ別紙實測圖ノ通ニ候間所有權御認可相成度此段御指揮相仰候也
(別紙略)

大阪府知事宛

築港埠頭實測圖計算表 (實測圖ハ省略ス)

淀川筋下流八幡屋町地先

一、九七一坪

築港埋立地所有權認可申請

明治四十年二月二日
發 第六二號

明治三十九年十一月八日內務省三八阪甲第一八三號ヲ以テ御下付相成候當市築港既成埋立地ノ內築港埠頭及八幡屋町地先ノ區域ハ別紙實測圖ノ通ニ候間所有權確定ノ義御認可相成度此段何分ノ御指揮相仰候也
(別紙略)

大阪府知事宛

築港埠頭實測圖計算表 (實測圖ハ省略ス)

小區劃內 一六五、四六一、一七八七
道 路 四三、五三一、四四〇〇五
傾 斜 地 八〇五、七六〇
合 計 二〇九、七九八、三七八七五

築港埋立地所有權認可

明治四十年三月六日大阪府指令土甲第三八四號

本年二月二日付發第六二號申請三十九年十一月八日內務省三八阪甲第一八三號ヲ以テ下付セラレタル大阪築港埋立地ニ關スル件ハ申請ノ通其所有權ヲ認可ス

尻無川筋北福崎町地先
合 計

四、七八五
六、七五六

築港埋立地所有權認可

明治四十年四月十日大阪府指令土甲第一六八號

本年四月一日附發第二一九號申請四十年三月四日內務省阪甲第一四號ヲ以テ下付セラレタル築港埋立地ニ關スル件其所有權ヲ認可ス

築港埋立地新開免租地

明治四十年五月二十九日發第四八三號申請
同年六月十九日中第七二三四號中之島稅務署長指令

町名	地番	目的地目	坪數	年 期	事 由	地 主
一條通一丁目乃至八條通三丁目	一番地外二三三筆	宅 地	一五九、四六六、八九坪	五十年	明治三十九年十一月八日下付ヲ受ク	大 阪 市
出 崎 町	二番地外九筆	全	六、七二一、〇六坪	全	全	全
天 保 町	百二十二番地	全	六、一九五、六三坪	全	全	全

計		一七二、三八三、五八 ^坪			
一條通二丁目乃至八條通三丁目	三番ノ一外八十九筆	通路	一四七、七二五 ^反	五十年	明治三十九年十一月八日下付ヲ受ク
出崎町	一番地外一筆全		七、四二〇 ^反 全	全	全
計			一四五、二一五 ^反		

●築港埋立地新開免租地

明治四十年六月二十八日發第六二六號全年十月二十八日中第一一六六二號中之島稅務署長指令

町名	地番	目的地目	坪數	年期	事由	地主
天保町	一一三	宅地	一、九七一、〇〇 ^坪	五十年	明治四十年三月四日下付ヲ受ク	大阪市
北福崎町	一一三三	全	四、七八五、〇〇 ^坪	全	全	全

●築港埋立地貸與規程

明治三十八年十月二日 市議會 議決

(沿革)

四〇年九月市會議決全年一月市會議決四一年九月市會議決四三年八月市會議決四一年一月市會議決改正

第一條 本市築港埋立地ハ明治四十年議案第十六號ノ議決(築港埋

立地既成部分區劃ノ件)ニ依リ定マリタル一小區劃毎ニ之ヲ貸貸スルコトヲ得但區劃ノ形狀又ハ使用ノ方法ニ依リ必要ト認メタル場合ハ之ヲ合併又ハ分割スルコトヲ得

第二條 貸貸期間ハ五年ヲ以テ一期トス

貸貸期間滿了ニ至リタルトキ市參事會ハ之ヲ更新スルコトヲ得

第三條 賃借人ハ地位等級表ニ掲ケル賃貸料ヲ標準トシ隨意契約ヲ以テ之ヲ選定スルコトヲ得但地位等級表ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

同一ノ土地ニ對シ賃借人二名以上アルトキハ賃貸料ヲ競争セシメ賃貸料相同シキトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 賃貸契約ヲ締結スル場合ハ契約保證金トシテ賃貸料二箇月分ニ相當スル金額ヲ納付セシム

賃借人ハ從來二箇年以上市内ニ居住シ現ニ直接國稅年額貳拾五圓以上ヲ納ムル者タルコトヲ要ス

第五條 埋立地ニ於テ工作物ヲ築造スルニハ各區劃地境線ヨリ二間以上ヲ隔ツルコトヲ要ス

市參事會ハ豫メ工作物築造ノ標準ヲ定ムヘシ

第六條 賃貸料ハ二箇月分ヲ二箇月以内ニ納付セシムルコトヲ要ス

第七條 公益上其他ニ故障ナシト認メタル場合ハ賃借地全部若クハ一部ノ轉貸又ハ賃借權ノ讓渡ヲ許可スルコトヲ得

第八條 賃借人前條ノ許可ヲ受ケス第三者ヲシテ賃借地ノ使用又ハ

收益ヲ爲サシメタル場合ハ賃貸契約ヲ解除スヘシ

前項ノ場合ニ於テ市參事會ハ隨意契約ヲ以テ現ニ使用收益ヲナス者ニ之ヲ賃貸スルコトヲ得

第九條 左記各號ノ一ニ該當スル場合ハ期限内ト雖賃借地ノ全部又ハ一部ヲ返還セシムルコトヲ得

一 賃借人契約ニ違背シタルトキ

二 賃借人六箇月以上土地ヲ使用セサルトキ

三 一箇年以上土地上ノ物件ヲ使用セサルトキ

四 本市ニ於テ返還セシムルノ必要アルトキ

前項第二號乃至第四號ニ該當スル場合ハ滿三箇月以上ノ期間ヲ隔テ賃借人ニ其旨ヲ豫告スルコトヲ要ス

第十條 賃貸契約終了ニ至リタル場合ハ三十日以内ニ土地ヲ原狀ニ復セシムルコトヲ要ス

但市參事會ニ於テ其必要ヲ認メサルトキハ此限リニアラス

第十一條 公用ニ供スル場合又ハ監督官廳ノ指揮ヲ受ケタル場合其他市會ニ於テ公益ノ爲必要アリト認メタル場合ハ有償又ハ無償ニテ埋立地ヲ使用セシムルコトヲ得

第十二條 第一條乃至第十條ハ賃貸期間六箇月以内ノ契約及前條ノ契約ニ對シテ之ヲ適用セス

第十三條 本市ニ於テ賃貸シタル埋立地ヲ賣却スル場合ハ賣却ノ際現ニ賃借セル者ヲシテ先買ノ權利ヲ有セシム但賣却代價其他契約ニ關スル條項ハ本市ニ於テ之ヲ定ム

賃借地ヲ轉貸シタル場合ニハ轉借人ニ前項ノ先買權ヲ有セシム
第十四條 本規程施行ニ關シ必要ナル事項ハ市參事會之ヲ定ム

(別表)

築港埋立地地位等級表

- 一 等 一箇月一坪賃貸料金六錢以上
三條通四丁目、四條通四丁目
- 二 等 一箇月一坪賃貸料金五錢以上
三條通三丁目、一條通二丁目、二條通四丁目、四條通三丁目
- 三 等 一箇月一坪賃貸料金四錢以上
三條通二丁目、二條通三丁目、四條通二丁目
- 四 等 一箇月一坪賃貸料金參錢以上
三條通一丁目、二條通二丁目、四條通一丁目
- 五 等 一箇月一坪賃貸料金貳錢以上
二條通一丁目

築港埋立地一時使用許可後
報告方

明治三十九年三月廿八日
市參事會議決

近時棉花其他ノ貨物陸揚ノ爲一時埋立地ヲ使用方顯出ツル者有之就
テハ一々經伺候テハ日時ヲ要シ爲ニ機宜ヲ誤ルノ嫌有之候ニ付使用
日數參拾日以内ノ分ニ限リ特ニ之ヲ許可シ其結果ヲ一件毎ニ報告ス
ルモノトス

築港埋立地賃借申込保證金
徵收方

明治三十九年十一月八日
市參事會議決

競争入札ニヨラスシテ埋立地ヲ賃貸スル場合ニ賃貸申込者カ申込後
其意志ヲ變更シ當所カ賃貸承諾ヲ通告スルニ不拘賃借契約ヲ締結セ
サル者有之候モ目下ノ處ニテハ之カ制裁無之爲市ノ損失ヲ救匡スル
ノ途無之ノミナラス土地賃貸ノ旨意ニ乖戻候様思料候間此等ノ弊ヲ
矯正スル爲自今右等申込者ニ對シテハ競争入札ニ於ケル入札保證金
ト同様相當申込保證金ヲ徵シ契約締結後之ヲ返還シ萬一指定期日內
ニ契約締結セサル者ハ之ヲ徵收スルモノトス

櫻島町地先既成築港埋立地
貸與規程準用

明治三十九年十二月三日
市會議決

櫻島町地先既成築港埋立地貸與ニ關シテハ明治三十八年十月二日市
會議決議案第四十二號築港埋立地貸與規程ヲ準用スルモノトス

築港既成埋立地一時使用
貸渡方

明治四十年八月二日
市會議決

既成埋立地ノ内一時ノ使用ハ市參事會ニ於テ六箇月ヲ限リ相當賃貸
料ヲ徵收シ許可スルコトヲ得

築港埋立地特別賃貸方

明治四十年十二月四日
市會議決

左記各號ノ一ニ該當スル者ハ當分ノ内一區劃以内ヲ限リ地位等級表
ニ掲グル賃貸料ノ半額ヲ以テ別紙契約條項ニ依リ賃貸スルモノトス

- 一 運送營業者
- 二 運送取扱營業者
- 三 倉庫營業者
- 四 資本金拂込額五拾萬圓以上ノ銀行營業者

(別紙)

埋立地賃貸契約條項

- 一、賃貸期間ハ契約締結ノ日ヨリ五箇年トスヘキコト
- 二、賃貸ノ土地ハ何々業者ノ營業用ニノミ之ヲ使用セシムヘキコト
- 三、賃貸人地上ニ工作物ヲ新設シ若クハ之ヲ變更シ又ハ土地ノ形狀ヲ變更セムトスルトキハ豫メ詳細ナル圖面及設計書ヲ添附シテ許可ヲ求メシムヘキコト
- 四、契約保證金ハ一箇年賃貸料ノ六分ノ一ニ相當スル金額ヲ契約締結ノ日ヨリ十日以内ニ納付セシムヘキコト
- 五、但賃貸人ノ希望アルトキハ相當ナル有價證券ヲ以テ代用セシムヘキコト
- 六、公用ニ供スル場合又ハ當該官廳ノ指揮ヲ受ケタル場合其他公益上必要アル場合ハ無償ニテ左ノ處分ヲ爲スヘキコト
- 七、賃借人土地及工作物使用ノ方法又ハ工作物ノ新設變更ニ關シテ許可ヲ求メタル場合ハ其使用ノ方法又ハ施設ノ種類ヲ制限シ其他許可申請ノ一部又ハ全部ヲ拒絶スルコト
- 八、賃借人ナシテ既設物件ノ變更其他相當ノ施設ヲナサシムルコト

三、期間満了前本契約ヲ解除シ又ハ土地ノ一部ヲ返還セシムルコト

五、賃借人不可抗力ニ因ルニアラスシテ土地返還ニ必要ナル手續ヲ遲滞シタルトキハ其遲滞日數一日ニ付壹坪金拾錢ノ割合ヲ以テ損害ヲ賠償セシムヘキコト

六、市參事會ハ前各條項ノ外必要ナル條項ヲ約定スヘキコト

●築港埋立地特別賃貸方

明治四十二年十月二日
市會議決

築港埋立地域内ニ於テ營利ヲ目的トセサル神佛其他各宗ノ教用ニ供スル堂宇、會堂、教説場、講義所其他之ニ準スヘキ建物ヲ建設セムトスル者アルトキハ地位等級表ニ掲グル賃貸料ノ四分ノ一以内ヲ以テ賃貸スルモノトス
但賃貸契約條項ハ明治四十年議案第二九四號議決築港埋立地特別賃貸ニ關スル條件ヲ準用ス

●築港埋立地無償使用方

明治四十一年三月三日
市會議決

埋立地及同區域内市有建物賃借人ニシテ工作物材料其他ノ物件ヲ運搬スル爲埋立地内ニ輕便軌道ヲ敷設セムトスル者アルトキハ當分ノ内左記條件ヲ附シ無償ニテ之ヲ使用セシムルコトヲ得

埋立地無償使用條件

- 一 使用期間ハ工作物材料其他ノ物件ヲ運搬スル爲必要ト認ムル程度ニ於テ之ヲ定ムルコト
- 二 使用期間内ト雖必要ヲ生シタル場合ハ速ニ無償ニテ土地ヲ返還セシムルコト
- 三 土地返還ノ際ハ原形ニ回復セシムヘキハ勿論其使用ニ基因シテ損害ヲ生シタルトキハ市ノ指定スル所ニ從ヒ之ヲ賠償セシムヘキコト
- 四 使用人不可抗力ニ因ルニアラスシテ土地返還ニ必要ナル行爲ヲ完了セサルトキハ其遲滞日數一日ニ付一坪金拾錢ノ割合ヲ以テ損害ヲ賠償セシムヘキコト
- 五 市參事會ハ前各條項ノ外必要ナル條件ヲ附加スルコトヲ得

●築港埋立地無償使用方

明治四十二年十一月五日
市會議決

築港埋立地ノ内一時ノ使用ハ市參事會ニ於テ七日間ヲ限り無償ニテ許可スルコトヲ得
但使用許可ニ關シ必要ナル事項ハ市參事會之ヲ定ム

●櫻島町地先埋立地賃貸方

明治四十一年三月廿八日
市會議決

櫻島町地先築港埋立地ハ當分ノ内一箇月一坪ニ付金五錢以上拾錢以内ノ賃貸料ヲ徴收シ賃貸スルモノトス

第十五類 水道

●水道規則

明治四十一年三月卅日
大阪市規則第一號

本市會ニ於テ水道規則ヲ議決シ市制第二百二十三條ニ依リ大阪府參事會ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

水道規則

第一章

第一條 給水栓ハ專用栓、共用栓ノ二種トシ別ニ防火栓ヲ設置スルコトヲ得

第二條 專用栓ハ一個ノ住宅又ハ事業ノ爲ニノミ之ヲ使用セシム

第三條 共用栓ハ賃貸價格一ヶ月金拾圓未滿ノ住宅ニ住居スル者其他相當ノ事由アル者ニノミ共同ニ之ヲ使用セシム

前項ノ賃貸價格ハ宅地ノ賃貸價格ヲ加算シ當廳ノ見積ヲ以テ之ヲ定ム

共用栓ノ使用者ニ關スル制限ハ防火栓ニ對シテ之ヲ適用セス

第四條 給水ハ總テ計量ノ方法ヲ以テス但防火栓ハ此限ニアラス

第五條 水栓所有者ノ權利ヲ承繼シタル者及契約ヲ以テ權利ヲ讓渡シタル者ハ其實質ヲ證明シテ之ヲ届出ツヘシ

前項ノ手續ヲ爲サ、ルモノハ權利ノ承繼又ハ讓渡ヲ以テ本市ニ對抗スルコトヲ得ス

第六條 水栓所有者ノ權利ハ其義務ト分離シテ承繼スルコトヲ得ス

第十五類 水道

第七條ノ要件ヲ具備セサル者ハ水栓所有者ノ權利ヲ承繼スルコトヲ得ス

第二章 設備

第七條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ本市ノ住民タルト否トテ問ハス水栓ノ設置ヲ請求スルコトヲ得

一 水栓ヲ設置スヘキ土地ヲ所有スル者

二 水栓使用ノ目的タルヘキ家屋ヲ所有スル者

三 官廳又ハ公署

第八條 本支水管ニ接続スル細管其他特ニ水栓設置ノ爲メ必要ナル物件ハ當廳其材料ヲ調達シテ之ヲ設置シ其費用ハ設置請求者ノ負擔トス

前項ノ物件ハ設置竣了後設置請求者ノ所有ニ歸ス

第九條 設置請求者負擔ノ費用ハ之ヲ前徵ス但官廳又ハ公署ハ此限ニアラス

前徵費用ハ設置請求者ノ希望ニヨリ當廳所定ノ利息ヲ加算シ十二ヶ月以内ノ月割ヲ以テ分納スルコトヲ得

費用分納ノ場合ハ第一回徵收ノ後設置ニ着手ス

設計ノ變更ニ伴ヒ前徵費用ニ差額ヲ生シタルトキハ設置竣了後其差額ヲ還付シ又ハ之ヲ追徵ス但分納費用ノ差額ハ爾後徵收ノ部分ヲ以テ之ヲ計算ス

第十條 設置請求者ハ相當ノ事由アルトキハ設置着手前其請求ヲ取消スルコトヲ得

設置請求者前徵費用ノ納付ヲ怠リ尙ホ督促ニ應セサルトキハ其請求ヲ取消シタルモノト看做ス但設置竣了後ニ分納費用ノ納付ヲ怠リタル場合ハ此限ニアラス

前二項ニ依リ其請求ヲ取消シタル者ハ當廳ノ見積ニ從ヒ本市ノ損失ヲ補償ス可シ

第十一條 既設物件ノ修繕、加工、改造及取替ニ關スル費用ハ隨時之ヲ徵收ス

第十二條 水栓所有者又ハ使用者ハ漏水若クハ漏水ノ虞アルトキハ直ニ修繕其他必要ノ處分ヲ請求ス可シ

水栓所有者ハ第十一條及前項ノ場合ニ於テ其所有材料ノ使用ヲ請求スルコトヲ得但品質形狀又ハ構造ノ適否ニ關シ豫メ當廳ノ試験ヲ受クヘシ

水栓所有者ハ量水器ノ作用ニ關シテ試験ヲ請求スルコトヲ得前二項ニ要スル費用ハ之ヲ前徵ス

第十三條 水道ノ設備ハ水栓ノ外之ニ觸ル、コトヲ得ス
防火栓ハ消防及演習ノ外當廳ノ認可ヲ得タル者ニアラサレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

演習ノ爲メ防火栓ヲ使用スルモノハ豫メ當該職員ノ立會ヲ求メ使用ノ方法及時間ノ制限其他必要ナル事項ニ關シテ其指揮ニ從フ可シ

消防ノ爲メ防火栓ヲ使用シタルモノハ直ニ其旨ヲ届出ツ可シ

第十四條 水栓所有者ハ何時ニテモ既設物件ノ撤去ヲ請求スルコトヲ得但之ニ要スル費用ヲ前徵ス

四 使用料其他ノ費用ノ納付ヲ怠リタルトキ

五 當該職員ノ職務執行ヲ妨害シタルトキ

前項ハ同居者滞在者借地人及借家人其他當該水栓ノ使用ニ加入シタル者ノ所爲ナリ一切水栓所有者ノ所爲ト看做シ之ヲ適用ス

第十九條 水栓所有者又ハ使用者ハ水色其他水質ニ異狀ヲ生シタルトキハ直ニ其旨ヲ届出ツヘシ

水栓所有者ハ給水不用トナリタルトキ其他正當ノ事由アルトキハ給水ノ停止又ハ廢止ヲ請求スルコトヲ得

第四章 附 則

第二十條 本規則ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但從來ノ放任栓ニ對シテハ量水器ノ設備ヲ爲シタルトキヨリ漸次之ヲ施行ス

本規則ノ公布ノ日以後ニ於テ水栓設置ヲ請求スルモノニ對シテハ第三條第四條ヲ適用ス

第二十一條 第三條ノ制限ニ抵觸スル水栓所有者ハ明治四十三年四月一日迄ニ設備變更其他相當ノ手續ヲ爲スヘシ

前項ノ期間内ニ其手續ヲ爲サ、ル者ニ對シテハ第十七條ヲ準用ス

第二十二條 本規則ニ抵觸スル從前ノ規則其他ノ議決ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第二十三條 給水工事費月賦金完納ニ至ラサルモノ、納付方法ハ從前ノ規則ニ由ル

水栓所有者ハ水道ノ使用ヲ廢止シタルトキハ廢止ノ當日ヨリ三十日以内ニ既設物件ノ撤去ヲ請求スヘシ

前項ノ請求ナク當廳ニ於テ廢止ノ狀態ニアリト認メタルトキハ其旨ヲ告知シ三十日ヲ過クルトキハ請求ニ依ラスシテ之ヲ撤去スルコトヲ得若シ告知シ得サルトキハ更ニ之ヲ告示シ十五日ヲ過クルトキハ前項ヲ適用ス

第十五條 第十四條第三項ニ由リテ撤去シタル物件ノ引渡ヲ請求スルモノハ撤去ノ費用及未納ノ費用ヲ一時ニ納付ス可シ

第三章 給 水

第十六條 給水ハ設備ノ損傷其他止ムヲ得サル事由アルトキノ外停止又ハ制限スルコトナシ

本市ノ公益ヲ保持センカ爲メ必要アルトキハ市外ニモ給水スルトアルヘシ但市内ノ給水ニ缺乏ヲ生スル場合其他止ムヲ得サル事由アル場合ハ此限リニアラス

第十七條 左記各號ノ一ニ該當スル場合ハ給水ヲ停止ス

一 給水不用トナリタルトキ

二 水栓所有者水栓ノ管理ヲ拋棄シタルトキ

三 水栓ノ損傷其他ノ事由ニ因リテ給水停止ノ必要生シタルトキ

第十八條 水栓所有者左記各號ノ一ニ該當スルノ行爲アルトキハ七日以内給水ヲ停止ス

一 給水ヲ濫用シタルトキ

二 第十條乃至第十三條ニ違背シタルトキ

三 設置物件ヲ毀棄シ又ハ其作用ヲ妨害シタルトキ

● 水道規則施行細則

明治四十一年四月四日

大阪市告示第三一號

(沿革) 四一年七月告示第五三號同月告示第六一號四五年五月告示第四四號改正

本市水道規則施行細則左ノ通相定ム

水道規則施行細則

第一條 水栓ノ設置ヲ請求セムトスル者ハ書面ヲ以テ當廳ニ請求スヘシ但水栓ヲ設置スヘキ土地又ハ水道使用ノ目的タルヘキ家屋ノ登記簿謄本、抄本若クハ土地臺帳謄本又ハ區長ノ證明書ヲ以テ其所有權ヲ證明スベシ

前項所有權ノ證明ニ關スル事項ハ官廳又ハ公署ニ之ヲ適用セス

第二條 水道規則第十條第三項ノ補償金ハ水栓設置請求一件毎ニ金壹圓トシ請求ノ際豫納セシム但水道規則第十條第一項及第二項ニ依リ請求ヲ取消シタルトキハ之ヲ還付セス

第三條 水栓設置ノ請求アリタルトキハ當廳ハ實地検査ノ上設計書ヲ調製シ其工費ヲ二十日以内ニ納付セシム

第四條 水道規則第五條ニ依リ届出ヲ爲ス場合ハ第一條第一項但書ノ書類ヲ添付スヘシ

第五條 水栓設置工費ノ分納ヲ希望スル者ハ保證人連署ヲ以テ第一號書式ニ依リ月賦證書ヲ差出スヘシ但保證人ハ市内現住者ニシテ二年以來直接國稅年額十圓以上ヲ納付スル者ニ限ル
保證人前項但書ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ其手續

第十五類 水道

ヲ爲スヘシ

工費分納ノ場合ハ第一回分徴收ノ翌月ヨリ毎月十日迄ニ之ヲ徴收ス

第六條 量水器ノ貸與ニ關シテハ第二號書式ニ依リ保管證ヲ差出スヘシ

第七條 量水器保管中水栓所有ノ權利ヲ移轉シタルトキハ承繼人ハ前條ニ依リ保管證ヲ差出スヘシ

第八條 當廳ハ量水器ノ位置不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更スルコトアルヘシ

第九條 保管ニ係ル量水器ヲ故意又ハ過失ニ因リ毀損亡失シタルトキハ其損害ヲ辨償セシム

第十條 水道規則第三條ノ貸賃價格ハ貸賃借證書及通帳其他ノ事實ヲ參酌シ當廳ノ見積ヲ以テ之ヲ認定ス

第十一條 水道規則第十二條ノ試驗料ハ左ノ區分ニ依ル但運搬費及工費ヲ要スル場合ハ別ニ其實費ヲ徴收ス

一 量水器

一吋以下 一個 金五拾錢

二吋以上 一個 金壹圓五拾錢

一 鉛管

長五十尺迄 金四拾錢

以上五十尺以内ヲ加フル毎ニ金貳拾錢ヲ増加ス

一 各種水栓 一個 金拾錢

一 鐵管

四八六

三吋半ヨリ六吋迄 一本 金參拾錢

八吋ヨリ十吋迄 一本 金四拾五錢

一 制水瓣防火栓

三吋ヨリ六吋迄 一個 金六拾錢

八吋ヨリ十吋迄 一個 金九拾錢

第十二條 演習ノ爲メ私設防火栓ヲ使用セントスルモノハ書面ヲ以テ届出テ所定ノ料金ヲ納付スヘシ

第十三條 既設物件ヲ修繕、加工、改造及撤去セントスルトキハ書面ヲ以テ當廳ニ請求スヘシ

第十四條 水道係員ノ携帶スル證票ハ左ノ如シ

第 號

大阪市役所

水道係員之證

市役所印

第一號書式

給水工費月賦證書

一金

但何町何地(專)用水設置工事費

此拂込

第一回金

第二回ヨリ十二回迄一回ニ付金

右大阪市水道規則第九條ニヨリ月賦分納ノ儀御承認相成候ニ就テハ前記ノ金員毎回指定ノ期日ニ拂込ムヘク候萬一本人義務履行ヲ怠リタル時ハ保證人ハ連帶ヲ以テ之ヲ辨償ノ責ニ任スヘク候尙大坂市水道規則及施行細則月賦分納ニ關スル規則ハ遵守可致候也

明治 年 月 日

住 所

氏 名

住 所

氏 名

大阪市參事會

大阪市長宛

名 印

名 印

水道使用料條例

明治四十一年一月十四日 條例 第一號

本市會ニ於テ水道使用料條例ヲ議決シ市制第二百二十一條第二百二十二條及水道條例第三條ニ依リ内務大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

水道使用料條例

第一章 納 入

第一條 水栓所有者、船舶用ノ求水者ハ水道使用料ヲ納付スル義務ヲ負フ

第二條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ特別水道使用料ヲ納付スル義務ヲ負フ但火災其他止ムヲ得サル事由ニ出タルトキハ此限ニアラス

一 量水器ノ作用ヲ妨害シ其他使用料ノ逋脱ヲ圖リテ其目的ヲ達シタル者

二 給水ヲ濫用シタル者

三 給水停止處分ノ執行ヲ妨害シテ水道ヲ使用シタル者

四八七

第二號書式

量水器保管證

一 量水器

何々

一個

但何區何町(何丁目)何番地(專)用水栓ニ取付使用

右ハ大阪市水道規則及施行細則ニ依リ借用致候ニ就テハ同規則ヲ遵守シ保管可致候尙保管中毀損又ハ亡失シタル時ハ御指定ニ從ヒ其損害ヲ賠償可致候也

明治 年 月 日

住 所

氏 名

名 印

第十五類 水道

第十五類 水道

四 水道規則ニ違背シテ漏水セシメタル者
 前項ハ同居者、滞在者、借地人及借家人其他當該水栓ノ使用ニ加入シタル者ノ所爲ナリ一切水栓所有者ノ所爲ト看做シテ之ヲ適用ス

第三條 水栓所有者交替シタルトキハ既納及未納ノ金額ニ對スル權利及義務モ全部同時ニ移轉シタルモノト看做ス

第四條 水栓所有者ハ他人ヲシテ水栓所在ノ土地又ハ家屋ヲ管理セシムル場合ニ當廳ノ要求ヲ受ケタルトキハ其管理者ヲシテ使用料代納者タラシムヘシ

第二章 料 金

第五條 水道使用料ハ左ノ區分ニ由リテ之ヲ徵收ス

一 家事又ハ營業ノ爲ニ使用スルモノハ 一石ニ付キ 専用栓ハ金八厘 共用栓ハ金六厘

二 湯屋營業ノ爲ニ使用スルモノハ 一石ニ付キ 金 五 厘

三 原動力及船舶ニ於テ使用スルモノハ 一石ニ付キ 金壹錢五厘

四 官廳又ハ公署ニ於テ使用スルモノハ 一石ニ付キ 金 壹 錢
 但兵營ニ於テ使用スルモノハ 一石ニ付キ 金 貳 厘

五 娛樂又ハ奢侈ノ用途ニ充ツルモノハ 一石ニ付キ 金 參 錢

前項ニ該當セサル用途ノ爲給水スル場合ハ類似シタル用途ノ比率

ヲ準用ス

第一項第四號ノ給水ニシテ第三號ヲ兼ルトキハ第三號ニ由ル一箇ノ量水器ヲ以テスル給水ノ用途二種以上ニ跨ルトキハ當廳ノ認ムル所ニ據ル但第一項第五號ハ別ニ量水器ヲ付シ計算スルモノトス

水道使用料ハ一ヶ月ニ付キ専用栓ニ在ツテハ金四拾貳錢共用栓ニ付テハ一戸金貳拾貳錢ヲ最低限度トス

防火栓ヲ以テ使用演習ノ爲ニ給スル水道使用料ハ水栓一個ノ使用一回ニ付キ金貳圓トス

第六條 給水ノ開始、廢止、停止ノ場合ニ於テ其使用料最低限度ニ達セサルモノニシテ使用日數十五日未滿ノモノハ前條第五項最低限度ノ半ヶ月分ヲ徵收ス

第七條 賃賃價格一ヶ月金拾圓以上ノ住宅ニ住居スルモノ共用栓ヲ使用スルトキハ專用栓ト同等ナル比率ヲ以テ使用料ヲ徵收ス但使用水量ヲ總戸數ニ同一ニ割當ツルモノトス

第八條 量水器其他ノ設備ニ故障ヲ生シタル場合ハ營業ノ狀態其他ノ事實ヲ參酌シテ當廳ニ於テ使用水量ヲ認定ス

第九條 防火栓ヲ以テ給水スル使用料ハ水栓使用ノ後第五條ノ區分ニ由リテ之ヲ徵收ス

第十條 特別使用料ハ一石ニ付キ金貳拾錢以下トス但其總額ハ金參拾圓以内トス

第十一條 量水器使用料ハ之ヲ徵收セス

第三章 徵 收

第十二條 使用料ハ毎年度左ノ四期ニ分チ之ヲ徵收ス

第一期 四月一日ヨリ六月末日ニ至ル

第二期 七月一日ヨリ九月末日ニ至ル

第三期 十月一日ヨリ十二月末日ニ至ル

第四期 一月一日ヨリ三月末日ニ至ル

船舶ニ於テ使用スルモノ、特別使用料防火栓ヲ以テ給水スル使用料ハ隨時之ヲ徵收ス

湯屋營業其他特別多量ニ給水スル場合ハ事宜ニ由リ一ヶ月毎ニ使用料ヲ徵收ス

第十三條 使用料ハ給水開始ノ際見積チ以テ一期相當ノ概算額ヲ前徵シ以後毎期開始ノ當月其前期分ノ精算額ヲ徵收ス但一ヶ月毎ニ徵收スルモノニ在ツテハ二ヶ月分ノ概算額ヲ前徵ス官廳又ハ公署ハ概算額ヲ徵收セス

概算額増減ノ必要生シタルトキハ三十日以内ニ其差額ヲ追徵シ又ハ之ヲ還付ス

精算額ハ量水器其他ノ設備ニ故障アルヲ發見ストモ過年度ノ部分ハ出納閉鎖以後ニ於テハ増減セス

給水ヲ廢止シ若クハ停止シタルトキハ概算額ト精算額ト差引シテ三十日以内ニ其差額ヲ徵收シ又ハ之ヲ還付ス

第十四條 特別使用料ハ當廳ニ於テ使用水量ヲ認定シ徵收ノ事由アルコトヲ發見シタル當日ヨリ三十日以内ニ之ヲ徵收ス

第十五條 使用料ハ給水ノ制限及停止ノ場合ト雖第五條乃至第七條ニ由リ徵收ス

第十五類 水道

水道使用料條例施行細則

明治四十一年四月四日
 大阪市告示第三二號

本市水道使用料條例施行細則左之通相定ム

第十六條 左記各號ノ一ニ該當スル場合ハ當廳ノ認ムル所ニヨリ使用料ノ全部又ハ一部ヲ徵收セス

一 資力乏シキ者ノ爲ニ給水スルトキ

二 區費ヲ以テ支辨スル事業ノ爲ニ給水スルトキ

三 保護ノ必要アル公益事業ノ爲ニ給水スルトキ

四 其他特別ノ理由アルトキ

特別使用料ハ損失シタル水量輕少ナルトキ其他必要ナシト認メタルトキハ之ヲ徵收セス

第十七條 本條例ニ由リテ徵收又ハ還付スヘキ一口ノ金額ハ厘位四拾五入ノ方法ヲ以テ之ヲ錢位ニ止ム

第四章 附 則

第十八條 本條例ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條 水道規則第二十一條ハ本條例ノ適用ヲ妨グルコトナシ

第二十條 本條例ニ抵觸スル從前ノ規則其他議決ハ本條例施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第二十一條 從前設置ノ水栓ニシテ量水器ノ設備ヲ了セサルモノニ對シテハ從前ノ規則ニ由ル

水道使用料條例施行細則

- 第一條 水栓所有者及船舶ノ求水者ハ書面ヲ以テ給水ノ申込ヲナス
- 第二條 水栓所有者ハ專用栓及共用栓ヲ使用スル現住者異動シタルトキハ五日以内ニ書面ヲ以テ届出ツヘシ
- 第三條 給水ヲ受クル者ノ門戸ニハ左ノ標識ヲ掲ケシム



上水道給水制限ニ關スル件

- 一 當市水道上水缺乏ノ虞アリト認ムルトキハ市參事會ニ於テ上水ノ使用ヲ制限スルコトヲ得若シ其制限ニ從ハサルモノアルトキハ一時給水ヲ停止スルコトアルヘシ

明治卅二年七月一日 市參事會決議

上水道各戸給水工事費ニ關スル規定

明治卅一年十一月十七日 市參事會決議

- 上水道各戸給水工事費ニ關スル件左ノ通改正スルモノトス
- 一 給水工費基金ハ拾萬圓以内トシ市參事會ニ於テ相當ノ利子ヲ付シ適宜之ヲ借入ル、モノトス
- 一 工事施行ハ前年度繰越金及借入金ヲ以テ之ニ着手シ爾後ハ漸次各戸ヨリノ還付金ヲ以テ運轉充用スルモノトス
- 一 給水工費基金ハ精算ノ上毎年市會へ決算報告ヲ爲シ若シ殘餘アルトキハ給水工費基金トシテ翌年度へ繰越スヘキモノトス但從前ノ給水工費基金モ決算ノ上殘餘アルトキハ本文同様取扱フモノトス

給水工事費厘位切上方

明治卅五年四月十二日 市參事會決議

給水工事費ハ精算ノ結果厘位ヲ生スルモノハ四捨五入ノ法ニ依リ錢止メトス

巡查派出所水道使用料ニ關スル件

明治四十三年三月二十八日 市參事會決議

巡查派出所水道使用料ハ水道使用料條例第十六條第一項第四號ヲ適用シ之ヲ徵收セサルモノトス

保管中ノ量水器毀損亡失ノ場合損害辨償額

明治四十二年七月十三日 市參事會決議

水道規則施行細則第九條(保管ニ係ル量水器ヲ故意又ハ過失ニ因リ毀損亡失シタルトキハ其損害ヲ辨償セシム)ニヨリ損害辨償額ハ左記標準ニヨリ當該課長之ヲ決定スルモノトス

- 一、毀損ノ場合ハ修繕ニ要スル一切ノ費用
- 一、亡失ノ場合ハ其亡失シタルモノノ購入原價及新ニ取付ニ要スル費用

數戸ノ專用栓ニ對シ一個ノ量水器ヲ以テ使用水量計算ニ關スル件

明治四十三年二月二十六日 市參事會決議

水栓所有者ノ申込アルトキハ同一家主ノ場合ニ限リ數戸ノ專用栓ニ對シ一個ノ量水器ヲ取付ケ使用水量ハ使用總戸數ニ同一ニ割當テ計算可然乎

追テ本文ノ場合ハ別紙申込書ヲ差出サシムルモノトス

水道費貯藏物品及給水工事費貯藏物品ヲ相互繰替使用方

明治卅五年六月十七日 市參事會決議

給水工事費又ハ水道費ノ材料品ニ缺乏ヲ生シタルトキ他ノ一方ニ餘裕アル場合ハ便宜繰替其年度内ニ於テ現品ヲ以テ戻入又ハ保管轉換ヲ爲スモノトス

●水道給水工事費現金利付

預ケ入方

明治卅五年七月廿二日
市參事會議決

水道給水工事費ノ歳入ニ係ル現金ハ有利預ケ入ヲ爲スモノトス
但預ケ入レ銀行及利子割合等ハ收入役ニ於テ撰定ノ事

●水道給水料及給水工事ニ
關スル歳入金徵收告知書
様式及取扱方法

明治卅九年三月廿六日
大阪市訓令第一一號

(沿革) 四一年三月訓令總第二六號改正

第一號様式

用紙適宜

縦四寸五分
横三寸二分

別符二寸五分

三枚接續

區 收入 役 長

- 水道給水料又ハ給水工事ニ關スル歳入金徵收ノ爲メ發スル告知書ノ
様式及其取扱方法ヲ左ノ通相定メ本年四月一日ヨリ施行ス
- 一 水道使用料ノ概算額ヲ前徵スルモノハ第一號様式ニ據ルヘシ
 - 二 水道使用料ノ精算額ヲ徵集スルモノハ第二號様式ニ據ルヘシ
 - 三 給水工事費ノ月賦ヲ以テ徵收スルモノハ第三號様式ニ據ルヘシ
 - 四 量水器代金ノ月賦ヲ以テ徵收スルモノハ第四號様式ニ據ルヘシ
 - 五 給水工事修繕費ヲ徵收スルモノハ第五號様式ニ據ルヘシ
 - 六 前項ノ外別ニ様式ヲ定ムル必要アルモノハ前各號ニ準シ適宜調製スヘシ但接續スル三葉ノ位置ヲ變更スルコトヲ得ス
 - 七 告知書ノ發付其他領收證書ノ交付手續等ハ本月廿六日訓令總第十號ニ據ルヘシ


領收	水栓所在	區	區
第 號	所有者住所	番屋敷	番屋敷


證書	明治 年度	水道	使用料	概算	豫納金
一金	右領收候也			(共用)	水水栓
明治 年月日					收入役又ハ區長


告知書	番 號	水栓所在	區	區
一金	明治 年度	水道	使用料	概算
右明治 年月日				(共用)
明治 年月日				水水栓

大阪市參事會市長又ハ區長


別	水栓所在	區	區
第 號	所有者住所	番屋敷	番屋敷

領收證書	給水工事場所
一金 但給水工事費月賦納金第	
右領收候也	
明治 年 月 日	
回分	
役所印	
	
大阪市收入役又ハ區長	

告知書	給水工事場所
一金 但給水工事費月賦納金第	
右明治 年 月 日	
日限納付セラルヘシ	
回分	
役所印	
	
大阪市參事會	
大阪市長又ハ區長	

別符	水給工事場所
一金 但給水工事費月賦納金第	
明治 年 月 日	
回分	
役所印	
	
大阪市收入役又ハ區長	

第四號樣式 用紙適宜 縱四寸五分 橫三寸二分 別符二寸五分 三枚接續

領收證書	量水器設置ノ場所
一金 但量水器代月賦金	
右領收候也	
明治 年 月 日	
回分	
役所印	
	
大阪市收入役又ハ區長	

第 號	住所氏名
第 號	住所氏名

量水器設置ノ場所

一金

但量水器代月賦金

月分

右明治 年 月

目限納付セラルヘシ

明治 年 月 日

役所印

大阪市參事會
大阪市長又ハ區長

年 月 日
何 銀行
領收印

告 知 書

第 號
量水器設置ノ場所

住 氏 名 所

役所印

符 別

一金

但量水器代月賦金

月分

明治 年 月 日

第五號樣式

用紙適宜

縱四寸五分

橫三寸二分

別符二寸五分

三枚接續

年 月 日
何 銀行
領收印

領 收 證 書

第 號

給水工事場所及住人

工費納入

一金

但給水工事修繕費

右 領 收 候 也

明治 年 月 日

役所印

大阪市收入役又ハ區長

明治 年 月 日
大阪市收入役
又ハ區長
領收印

告 知 書

第 號

給水工事場所及住人

工費納入

一金

但給水工事修繕費

右明治 年 月

日限納付セラルヘシ

明治 年 月 日

役所印

大阪市參事會
市長又ハ區長

年 月 日
何 銀行
領收印

符	別	第	號	工費納人
	給水工事場所及住人			
但給水工事修繕費	一金			
明治	年	月	日	

年 月 日
何 銀行
領 收 印

● 水道使用料徴集帳簿様式

明治四十一年三月四日
訓令總第二七號

明治四十一年度以後徴收スル水道使用料ハ別紙第一號乃至第三號様式ノ帳簿ニ依リ整理スヘシ

四 區 長

第十五類 水道

五〇九

第十五類 水道

五〇八

第一號圖樣式

水道使用料專(共)用徵收簿

第十四類
水道

水栓番號	水栓所在地	水栓所有者氏名	水栓所有者住所	回数
------	-------	---------	---------	----

第一回

第二回

第三回

第一回

第二回

第三回

第十五類
水道

第十五類 水道

五一六

第二號樣式

水道使用料徵收簿（湯屋營業其他）

第十五類 水道

五一七

第十五類
水道

番 號
督促狀
發送月日
納 付
期 日
水 栓
番 號
水 栓
所 在 地
住 所
氏 名

五
一
九

第十五類
水道

期 別
又
八 月
別
滯 納
使 用 料
督 促
手 數 料
處 分 費
處 分 費 使 用
料 收 入 月 日
督 促 狀
送 達 場 所
備 考

五
一
八

第三號樣式

水道使用料滯納整理簿

大阪城趾使用契約

明治廿五年一月廿五日
市會議決

陸軍省所轄地大阪城趾ニ於テ大阪市水道敷設ニ要スル地所ヲ大阪市ニ使用セシムルニ付第四師團監督部長堀忠次ト大阪市參事會大阪府知事山田信道トノ間ニ左ノ條款ヲ契約ス

第一條 貯水池及水管線路ニ係ル所用地ハ別紙一號圖面ノ如ク總計五千八百八十一坪六合三勺ヲ無料ニテ大阪市ニ使用セシムルモノトス

第二條 大阪市ハ水道敷設工事ニ要スル假小屋等建設地及所要材料ノ置場等ハ監督部ノ許可ヲ得テ使用スルコトヲ得

第三條 前條ノ地所國防上使用ニ供スルノ必要アルトキハ直ニ本契約ヲ解キ該貯水池ハ第四師團監督部ニ於テ臨機ノ處分ヲナスコトヲ得但此場合ニ於テ大阪市ハ如何ナル損失ヲ受クルト雖モ賠償ヲ求ムルコトヲ得ス

第四條 貯水池及城内ニ敷設スル水道井ニ之ニ附屬スル建造物ハ別紙二號圖面及設計書ニ則リ築設スヘキモノトス

第五條 貯水池ヲ設ケントシ又ハ設タルニ起因シ土地或ハ建築物ニ損害ヲ及ボシタルトキハ元形ノ通り大阪市ニ於テ之ヲ辨償スヘキモノトス其工事ニ就テハ監督部之方監視ヲナス

第六條 城内ニ關スル工事ハ明治二十五年一月ヨリ同年十二月限リ竣工セシムルモノトス但天災ニシテ不可避場合ニ在テハ此限ニ非

ラス

第七條 貯水池築設ノ際又ハ落成後修繕等ニシテ城内ノ道路ニ關スル工事ニ着手中ハ如何ナル場合ニ在リテモ軍隊ノ通行ニ妨礙ナキ様大阪市參事會ニ於テ注意スヘキモノトス

第八條 貯水池落成後修繕等ノ工事ニ着手セントスルトキハ大阪市參事會ハ其時々第四師團監督部ヘ協議シ承認ヲ得テ後着手スヘキモノトス

第九條 貯水池ニ關シ城地ノ維持上ニ係ル危險ヲ認メタルトキハ監督部ニ於テ豫防工事ヲ協議スヘシ然ルトキハ大阪市ハ速ニ之ニ應ジ該工事ニ著手スヘキモノトス

第十條 城内ニ出火アルトキハ貯水池附屬ノ防火器ニヨリ無代價ニテ用水ヲ使用スルモ大阪市ニ於テ異議アキモノトス

第十一條 貯水池工事落成後ハ大阪市參事會ハ左ノ方法ニ依リ監守スヘキモノトス
一 貯水池井ニ水辦室ハ各監守人及工夫二名乃至五名ナシテ晝夜監守セシムル事

二 前項ノ監守人及工夫ハ豫メ監督部ノ許可ヲ得テ城門ノ出入ヲ爲スコト

前條款雙方確守スル爲メ署名連印シテ各一通宛ヲ收メ置キ他日ノ證ニ供スルモノナリ

明治二十五年三月十七日

第四師團監督部長 堀 忠次
大阪市參事會大阪府知事 山田 信道

(別紙)

貯水池及送水管工事設計書

貯水池ノ事

貯水池ハ城内天主臺東邊ニ沿フテ之ヲ設ク其總水面積ハ凡ソ千六百六十六坪ニシテ二個ノ隔壁ニ依テ三區畫ニ分チ其一區畫ノ大サハ中百尺長サ二百尺ヲ有シ水深ハ十六尺トス故ニ貯水池周圍側壁ノ高サハ水面上尙ホ數尺ノ餘地アリ其位置及明細寸法等ハ別紙設計圖ニ記載スルカ如クニシテ其用地坪數ハ四千九百五十七坪八合四勺トス貯水水量ハ全市需用水量九時間ノ供給ヲ支ヘ得ルノ計畫ニシテ將來人口増殖ヲ見ル場合ニ在テハ本池ノ側壁及隔壁ノ高サ及厚サヲ増シ水深尙ホ四尺ヲ増加シ得ルヲ以テ本池ハ他日ニ至リ人口八十萬ニ増殖スルモ尙ホ且ツ需用水量九時間ノ供給ヲ支ヘ得セシムルノ目的ヲ以テ計畫セリ

貯水池位置ノ地盤ハ概テ平坦ニシテ天保山水平面ヲ拔クコト百五尺乃至六尺トス而シテ貯水池水面ハ天保山水面ヨリ高キコト百二十六尺ニシテ池底ノ高サハ百十尺トス故ニ池底ハ尙ホ地盤ヨリ高キコト平均四尺五寸ナリ然レトモ池底及側壁等總體「コンクリート」ヲ以テ構造シ尙洩水ナキヲ確實ナラシムル爲メ粘土ヲ以テ包繞スルカ故本池地形ハ現今ノ地盤ヨリ二尺五寸乃至三尺五寸通リ掘起シ總テ割石ヲ以テ滿タシ丁寧ニ搗キ固メノ上工事ヲ施スモノトス

本池ニ使用スル所ノコンクリートハ總テセメントヲ以テ製造シ側壁及隔壁ノ表面即チ空氣又ハ水ニ接スル部分ハ法勾配ヲ尺ニ一寸五分トシ石若クハ上等燒過煉瓦ヲ以テ其表面ヲ包裝スルモノトス

ノ水ハ市街需用量ニ餘アルトキハ其餘水ハ貯水池ニ入り若又需用急速ニシテ水源輸送水ノ供給不足ナルトキハ貯水池内ノ水モ送水管内ヲ下リ來リテ共ニ配水管内ニ入り急劇ナル需用ニ應スルノ方法ナリ又火災等ノ節其火勢猛烈ニシテ配水管内ノ水壓增加ヲ要スル場合ニハ辦ノ作用ニ依リ配水管ト貯水池トノ連絡ヲ絶チ水源ヨリ輸送シ來ル所ノ水ハ其水壓ヲ増加シ貯水池ニ通セス單ニ増加壓ヲ要スル配付本管ノミニ入ルヲ得ルノ裝置ニシテ是等ノ裝置ハ總テ配水管分派所ニ設ケ何レモ辦ノ作用ニ依テ其運用ヲナスモノトス而シテ送水管ハ水源ヨリ配水管分派所ニ係ルマテ單ニ送水ノミノ用ヲナスモ分派ノ所ヨリ貯水池ニ達スル部分ハ管内流水ハ市中需用ノ如何ニヨリテ順逆極リナク從テ貯水池水ノ出入ハ總テ送水管ノミニ依ラサルヲ得ス故ニ分派ノ所ニ辦室一ヶ所ヲ設ケ前陳諸般ノ運用ヲ處理スルニ必要ノ裝置ヲ爲ス其大手前辦室ノ爲メ要スル用地ハ百三十六坪五合ニシテ京橋水管橋架設ノ爲材廠荷揚場内ニ要スル用地ハ八十七坪二合九勺トス

16

側壁ノ周圍ハ山土及土砂ヲ適宜ニ混淆シ土堤ヲ築キ其馬踏幅十六尺餘法勾配一割五分ニシテ表面ハ總テ芝付ケテ爲シ尙ホ側壁ノ周圍ニハ高サ二尺五寸ノ牆壁ヲ設クルモノトス又本池ノ南邊法先キヨリ西邊ニ折廻リ高サ八尺五寸乃至四尺五寸ノ土留石垣ヲ築キ天主臺貯水池土堤ノ間十二尺通リ八尺五寸ノ置土ヲ爲シ貯水池ノ背後ニ達スルノ通路トス

送水管ノ事

貯水池西邊ノ所ニ煉瓦造辦井一ヶ所ヲ設ケ送水管ハ本井ニ接續シ本井ハ尙ホ鐵管ヲ以テ貯水池三ヶ所共ニ連絡シ其鐵管ニハ何レモ辦付シ水ノ出入ヲ制限シ得ルモノトス貯水池周圍ノ水吐及ヒ貯水池ノ餘水等ハ城内在來ノ水吐ニ依テ放排スルモノトス用地内在來ノ建物等ハ工事ヲ施スニ當リ指定ノ場所ニ移轉若クハ改築シ在來ノ水吐等ハ適當ノ位置ニ付換ユルモノトス

送水管ハ都島村大字中野及澤上江水源工場ヨリ起リ野田村ヲ經テ北區相生町ニ達シ京橋ノ下流ニ水管橋ヲ架設シ陸軍材廠荷揚場ノ東隅ヲ通シ京橋枿形袖石垣下ヲ貫キ大阪城外壕邊道路ニ沿フテ大手門前ニ出テ大手門櫻門等ヲ經テ城内貯水池ニ達ス送水管ハ大手門ニ入ルル前同門通路ヲ距ルコト北ノ方凡八十間ノ所ニ於テ市街配水本管四條分派スル基點トス

水道水源地公舎規程

明治三十八年四月十二日 市參事會議決

- 第一條 公舎ニ管理者一名ヲ置キ水源地出張所主席ヲ以テ之レニ充ツ
- 第二條 公舎ニ居住シ得ルモノハ本市ニ在職シ現ニ水源地出張所勤務者ノ一家族ニ限ルモノトス
- 第三條 公舎ニ居住セントスルモノハ豫メ管理者ヲ經テ市長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ
- 第四條 公舎居住者ハ總テ本則ヲ遵守スヘキハ勿論公舎臺帳ニ記名捺印シ臺帳記載ノ事項ヲ承認シ且公舎保管ノ責ニ任スルモノトス
- 第五條 公舎内ニ於テハ消費組合ヲ除ク外許可ヲ受クルニアラサルハ其他ノ事業ヲ營ムコトヲ得ス
- 第六條 居住者ハ許可ヲ經スシテ猥リニ公舎ヲ交換スル事ヲ得ス
- 第七條 居住者ハ相互ニ親睦ヲ旨トシ風紀又ハ公安ヲ害スル所爲アルヘカラス
- 第八條 居住者ハ平常内外ノ掃除ヲナシ不潔ナラサル様注意スルハ

第十五類 水道

勿論時々清潔法ヲ施行シ兼テ大阪府令(明治二十八年十二月第百十二號清潔法施行規則)ヲ遵守シ衛生上特ニ注意スヘシ

第九條 公舎各戸ニ水栓ヲ設置シアルヲ以テ居住者ハ本市水道給水假規則ヲ遵守スヘシ

第十條 水栓ニ關スル一切ノ事項ハ直接管理者ニ申出テ相當ノ處置ヲ受クヘシ

第十一條 自然腐朽又ハ不可抗力ニヨリ建物ノ全部又ハ一部破損シ疊ハ滿二ヶ年建具ハ五ヶ年以上ヲ經過シ修繕ヲ要スルトキハ居住者ヨリ其旨管理者ヲ經テ請求スヘシ

第十二條 居住者自己ノ便宜ニヨリ自費ヲ以テ増築又ハ建物ノ一部變更若クハ前條ノ理由ナクシテ修繕ヲ爲サントスルトキハ設計書及圖面并ニ其理由ヲ詳記シ管理者ヲ經テ願出ツヘシ

第十三條 管理者前二條ノ請求又ハ願出テテ受ケタルトキハ其原因及必要ノ有無等ニ就キ意見ヲ具シ市長ニ進達スヘシ

第十四條 第十二條ニヨリ認可ヲ受ケテ工事ヲ施シタルトキハ落成ノ上管理者及ヒ工務課長ノ指示シタル吏員立會ノ上之レカ検査ヲ爲スヘシ

第十五條 立退又ハ公舎内移轉セントスル場合ニ於テ第十二條ニヨル工事ヲ施シアルトキハ其増築ニ就テハ原形ニ復シ其變更ノ部分ハ原形ニ復セシムルカ無償ニテ其儘据置カシムルカハ本市ノ意見ニ從フヘシ

第十六條 居住者ノ過失ニヨリ生セシメタル破損並ニ保管ノ失當ニヨリ生シタルト認ムル損害ハ居住者ノ費用ヲ以テ之レカ修補ヲ命

スヘシ

第十七條 第八條ニ要スル費用及第九條ノ給水料其他衛生費等ハ凡テ居住者ノ負擔トス

第十八條 居住者左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ管理者ヨリ通知ヲ受ケタル翌日ヨリ起算シ五日以内ニ公舎ヲ立退クヘシ
但本人死亡ノ時ニ限り特ニ三十日以内ノ猶豫ヲ與フ事アルヘシ

一 本人死亡シタル時

二 解職又ハ他ハ勤務換テ命シタルトキ

三 本人及ヒ其家族中刑ニ處セラレタルトキ若クハ家資分散ノ決定ヲ受ケタルモノアルトキ

四 建物ノ大修繕ヲ爲ストキ

五 本則ニ違背シタルトキ

六 其他本市ノ必要アルトキ

第十九條 居住者立退クトキハ管理者及ヒ工務課長ノ指示シタル吏員立會ノ上公舎ノ検査ヲ爲スヘシ

第二十條 風水火災其他ノ事變ニ際シテハ直ニ管理者ニ報告シ之レカ防禦ニ從事スルハ勿論居住者相互ニ救助スヘシ

第二十一條 第十八條第三及第五ニ該當シ立退テ命セラレタルモノハ情狀ノ如何ニ拘ラス爾後再ヒ公舎ニ居住スルコトヲ得ス

第十六類 衛生

第一章 種痘

●種痘人員調査報告様式

明治卅四年十一月二日
訓衛第四六號

種痘人員ノ調査ハ明治三十二年大阪府訓令第十八號ニ據ルノ外自今左ノ様式ニ依リ當月分ヲ翌月十日迄ニ報告スヘシ

明治	年	月	種痘明細書	區		區	役	所				
				別	計							
善	感	不	善	感	滿一年以下	滿一年以上	滿二年以上	滿五年以上	滿十年以上	滿十五年以上	十五年以上	計
					初種							
接種シタルモ検査ヲ受ケサルモノ	病氣事故ニテ接種セサルモノ	善	感	善	感							

第二章 汚物取扱

●汚物掃除規程

明治三十一年十一月十六日
大阪市告示第七七號

本市會ニ於テ汚物掃除規程ヲ議決シ大阪府知事ノ認可ヲ受ケ左ノ通
相定ム

汚物掃除規程

- 第一條 汚物ハ左ノ區別ニヨリ常設人夫ヲ以テ搬出セシム
 - 一 人家稠密交通頻繁ニシテ汚物ヲ多量ニ出スヘキ場所ハ毎日搬出ス
 - 二 前項ヲ除ク一般ノ場所ニアリテハ四日間一周搬出ス
 - 三 營業業体ニヨリ衛生上注意ヲ要スル個所ハ臨時搬出ス
 - 四 前各項ノ個所ニ於テ一日十貫目以上汚物ヲ搬出スヘキモノ及市場等ハ市長特達ヲ以テ日々搬出セシム
- 第二條 共同物揚場及河岸地ニシテ市ノ掃除義務ニ屬スル個所ハ常
人夫ヲ置キ常ニ汚物ヲ除却セシム
- 第三條 河川ノ便ニヨリ搬出スル塵芥ハ當分ノ間河岸地ニ蒐集場ヲ
設置シ之レニ取集シ毎日船ニヨリ一定ノ場所ニ搬出セシム
但本條ノ事業ハ當分ノ間請負方法ニヨリ搬出セシム
- 第四條 陸上ノ便ニヨリ搬出スル塵芥ハ當分ノ間蒐集場ヲ設置シ之
レニ貯積シ便宜ノ方法ヲ以テ賣却ス
- 第五條 各戸ニ設置スヘキ汚泥容器ハ當分ノ間市ニ設置セル容器ヲ

代用セシメ其汚泥ハ時々船ニ依リ市ノ汚泥捨場ニ搬出セシム

第六條 河川搬出ニヨル塵芥蒐集場ハ屋根及板圍ヲ設ケ雨露ヲ凌キ
外觀ヲ損セサル装置ヲ爲スヘシ

第七條 陸上搬出ニヨル蒐集場ハ板圍ヲ設ケ番人ヲ附シ相當取締ヲ
爲スヘシ

附 則

第八條 路傍便所汲取ハ當分ノ間明治二十二年十月大阪市規則路傍
便所規則ニ依ル

第九條 塵芥汚泥蒐集場ノ個數ハ市參事會之レヲ定ム

第十條 第三條ニ規定スル處ノ請負方法ハ市參事會之レヲ定ム

●路傍便所規則

明治廿二年十月五日
大阪市規則第四號

本市會ニ於テ路傍便所規則ヲ議決シ市制第二百二十三條ニ依リ大阪府
知事ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

路傍便所規則

- 第一條 市内路傍便所ハ總數九百五十七ヶ所以内トシ實際ノ便宜ニ
應ジ之ヲ設置スルモノトス
- 第二條 路傍便所掃除汲取又ハ點燈ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三
十一日迄テ一期ト定メ入札ヲ以テ請負ヲ命スヘシ但請負ノ方法ハ

別ニ定ムル所ニヨル

第三條 掃除又ハ汲取ハ毎日一回之ヲ行フヘシ但尿管滿溢又ハ汚物
アル場合ニ於テハ臨時汲取又ハ掃除スルコトアルヘシ

第四條 惡疫流行又ハ炎暑ノ際ハ毎日防臭藥ヲ撒布スヘシ

第五條 臨時主務吏員ヲ派シ掃除又ハ汲取ノ實況ヲ監視セシムヘシ

●路傍便所掃除汲取及點燈

入札請負規則

明治廿二年十月一日
大阪市告示第二二號

本市會ノ議決ヲ經テ路傍便所掃除汲取及點燈入札請負規則ヲ定ムル
コト左ノ如シ

路傍便所掃除汲取及點燈入札請負規則

- 第一條 路傍便所掃除汲取又ハ點燈ハ各別ニ其請負ヲ命スヘシ但點
燈ハ街燈請負費額ヲ以テ同請負人ニ命令シ之ニ關スル規定ハ橋燈
及街燈點火入札請負規則ヲ適用スヘシ
- 第二條 汲取ノ請負ヲ命セラレタルモノハ身元保證金トシテ請負金
額四分ノ一ヲ差出スヘシ
- 第三條 便所數ヲ増減シタル場合ト雖モ其數五十個所以内ニ止マル
トキハ掃除又ハ汲取請負金ハ特ニ之ヲ増減セサルヘシ但五十個所
以上ヲ増減シタルトキハ其翌月ヨリ請負金ヲ増減スヘシ
- 第四條 掃除又ハ汲取等ニ要スル器械ハ總テ請負人ノ自辦タルヘシ

第五條 請負人ハ掃除又ハ汲取ニ係ル一切ノ事件ヲ辨スル爲メ府廳
ヲ距ル五丁以内ノ地ニ事務所及代人ヲ置キ其町名番地及氏名ヲ届
出ヘシ

第六條 掃除請負人ハ請負ヲ命セラレタル後五日以内ニ掃除人夫一
人ニ對スル擔當區域及其巡回線路掃除ノ時間ヲ定メ認可ヲ受ケヘ
シ其之ヲ變更スルトキ亦同シ

第七條 掃除ハ毎日一回之ヲ行フヘシ但便所ノ周圍一間以内ニ於テ
塵芥其他ノ汚物アルトキハ併テ掃除スヘシ
掃除不充分ト認ムルトキハ臨時掃除ヲ命スヘシ但其費用ハ請負人
ノ負擔トス

第八條 掃除請負人ハ毎月一回以上自費ヲ以テ各便所ノ周圍ニ平均
一荷以上ノ土砂ヲ撒布スヘシ

第九條 便所ニ小破損(板離ノ類)アルトキハ掃除請負人ハ自費ヲ以テ之
ヲ修理スヘシ

第十條 掃除請負人ハ便所ニ大破ヲ生シタルトキ又ハ汲取方不充分
ト認ムルトキハ速ニ届出ヘシ

第十一條 惡疫流行又ハ炎暑ノ際ハ掃除請負人ハ毎日防臭藥ヲ撒布
スヘシ但藥品ハ府廳ヨリ下付スヘシ

第十二條 掃除費金ハ毎月二十五日其月分ヲ請求スヘシ

第十三條 汲取ハ毎日一回之ヲ行フヘシ若シ不充分ト認ムルトキハ
臨時汲取ヲ命スヘシ但其費用ハ請負人ノ負擔トス

第十四條 尿管滿溢等ニヨリ至急汲取ヲ要スルトキハ臨時他ノ營業
人ヲシテ汲取ラシムルコトアルヘシ此場合ニ於テハ其尿管ハ請負

第十六類 衛生

人ノ損失トス

第十五條 汲取請負人ハ便所ニ破損アルトキ又ハ掃除不充分ト認ムルトキハ速ニ届出ツヘシ

第十六條 便所ノ容器内ニ溜滞スル土砂等ハ時々浚取ルヘシ但農作肥料ニ供スルノ外猥リニ他ノ個所ニ投棄スヘカラス

第十七條 尿尿代金ハ請負金額チ四分シ左ノ期限ニ從ヒ三ヶ月分チ前納スヘシ但休日ニ當ルトキハ其翌日之ヲ納ムヘシ

四月一日 七月一日 十月一日 翌年一月六日

第十八條 此規則ニ掲ケル外入札請負ノ方法ハ工事入札請負規則チ適用ス但入札請負證ハ別紙様式ニ依ルヘシ

第十九條 身元保證金ハ請負満期ノ後之ヲ還付スヘシ

第二十條 請負人規則命令ニ違背スルトキハ期限内ト雖モ直ニ其請負ヲ取消スコトアルヘシ但此場合ニ於テハ身元保證金ヲ没收スヘシ

(別紙)

第一號様式

入札

大阪市内路傍便所掃除費

一金 何圓也 (大阪市内路傍便所尿尿代金)

右金額ヲ以テ掃除方(汲取方)請負可申候也

年月日 住所 姓名 名印

大阪市參事會宛

第二號様式

請負證

五三〇

一金何百何拾圓

此身元保證金

金 何圓

何公債證書額面何圓 何枚

何國立銀行預證何圓

現金、公債證書、

身元保證ト

右金額ヲ以テ請負被命候依テ前記(國立銀行預證)チ身元保證トシテ御廳へ差出置總テ路傍便所規則ニ從ヒ何年何月ヨリ何年何月迄請負可申候萬一右規則ニ違背シタルトキハ違約金トシテ身元保證金ヲ没收セラレルハ勿論御規則ノ通處分相成候共異議無之御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人ニ於テ等閑ニ付スルトキハ保證人ニ於テ引受處分可致候仍テ連署ヲ以テ請負證差上候也

年月日

住所

請負人 姓名 名印

住所

保證人 姓名 名印

(保證人ハ府下現住者ニ限ル)

大阪市參事會宛

通常清潔法施行規程

明治卅三年十二月四日 大阪市告示第八六號

大阪府知事ノ認可ヲ經本市通常清潔法施行規程左ノ通り相定ム

大阪市通常清潔法施行規程

第一條 歳末又ハ祭日祝日前又ハ平日ニ於テ本規程第三條ニ據リ通常清潔法ヲ施行シ當該吏員ノ検査ヲ受ケタル家屋ハ其ノ施行ノ月ヨリ六ヶ月間ニ通常清潔法ノ指示アルモ監督官廳ノ認可ヲ經テ特ニ之ヲ施行セサルコトヲ得

但本條ノ期間内ト雖モ當該吏員ニ於テ不潔ト認メ又ハ必要ト認メタル場所ハ此限ニアラス

第二條 第一條ニ依リ通常清潔法ヲ施行スルトキハ其場所及施行ノ日時ヲ豫メ所轄掃除監視吏員派出所ニ申告シ其臨檢ヲ求ムヘシ但當該吏員ニ於テ前項ノ検査ヲ遂ケ適法ノ施行ヲ爲シタルモノト認メタルトキハ検査済ノ證票ヲ交付スヘシ

第三條 通常清潔法ハ左ノ各項ニ據ルヘシ
一 家屋内外不潔ノ箇所ハ能ク之ヲ掃除シ濕潤ナル箇所及床下ハ石灰又ハ乾砂ヲ敷クコト

二 室内ハ通氣ヲ能クシ疊戸障子類ハ掃除ノ上日光ニ曝乾シ若クハ戶外ニ於テ乾燥スルコト

三 井戸端、走り元、下水溝及便所等ハ掃除シ且ツ汚水ノ排除ヲ能クスルコト

第十六類 衛生

塵芥灰及塵芥賣却ニ關スル件

明治三十六年十一月二日 市會 議 決

本市塵芥燒却灰及塵芥堆積肥料ハ五ヶ年以内期限ヲ定メ地域ヲ限リ一手販賣ヲ許スコトヲ得

塵芥中有價物撰別採取請負ニ關スル隨意契約ノ件

明治四十年三月十二日 市會 議 決

本市内南區上大和橋東詰外七十三所ノ塵芥蒐集場ニ蒐集スル塵芥中ノ有價物撰別採取ノ請負ハ隨意契約ニ依リ請負人ヲ定ムルコトヲ得

●塵芥燒却灰賣價變更ノ件

明治四十一年十一月二日
市參事會議決

本市製造塵芥燒却灰ハ正味拾貫ニ付金拾錢以上ニテ賣却ノ事ニ決定
ノ處爾今左ノ通改正シ隨時衛生課長ニ於テ決行スルモノトス
拾貳貫入壹叭ニ付拾錢以上
但シ叭ヲ自辨スルトキハ金五錢ヲ減額ス

●塵芥灰及堆積肥料一手販賣

許可ニ關スル條件

明治三十六年十二月十九日
市參事會議決

- 一 大阪市カ何府縣何郡區何町村大字何々何某ニ許可シタル本市塵芥燒却灰及塵芥堆積肥料一手販賣ノ區域ハ何府縣何郡區及何郡區トス
- 二 大阪市ハ許可區域内ニ住スル他ノ者ニ直接販賣ヲナササルモノトス
- 三 一手販賣許可ノ期限ハ明治何年何月何日ヨリ何年何月何日迄トス

條件書

- 十 一手販賣人ニ於テ本市ノ損害トナルヘキ行爲アリタルトキハ損害賠償ノ責ニ任スヘシ
 - 十一 大阪市ニ於テ必要ト認ムル場合ハ一手販賣人ヲシテ本條件履行ノ保證トシテ金五拾圓以上參百圓以下ノ範圍内ニ於テ本市カ指定シタル金額ヲ提供セシムルコトアルヘシ
- 該保證金ハ一手販賣人カ本條件書ニ違背シタルトキハ違約金トシテ其全部若クハ一部ヲ市ニ沒收スルコトアルヘシ
- 明治 年 月 日
大阪市役所 印

●燒却灰中ニ混入セル土砂賣却ノ件

明治四十年九月十日
市參事會議決

塵芥燒却場ニ於テ燒却灰ヲ精製スル爲生スル土砂ハ目下築港埋立地ニ投棄致居候處將來土地埋立等ノ爲購入希望者アルトキハ其都度衛生課長ニ於テ一樽分(四斗)代價五厘以上ニテ隨意賣却スルモノトス

但大阪市ノ都合ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

- 四 一手販賣人ハ自費ヲ以テ一手販賣ノ看板ヲ掲出スヘシ
- 五 一手販賣人ハ大阪市ノ所定ニ從ヒ代價ヲ前納シ塵芥燒却灰一個月何貫目以上何貫目以下、塵芥堆積肥料ハ一ヶ月何貫目以上何貫目以下ヲ引取ヘキ義務アルモノトス
- 六 大阪市ノ都合ニ依リ第五項ノ取引ヲ中止シ又ハ數量ヲ増減スルコトアルヘシ
- 七 代金ヲ納付シ指定期限内ニ現品ヲ引取ラサルトキハ拾貫目ニ付一日金參厘ノ倉敷料ヲ徴收ス三十日ヲ經ルモ尙引取ラサルトキハ現品ヲ沒收スルモノトス但事情止ムヲ得サルモノト認ムルトキハ期日ヲ猶豫スルコトアルヘシ
- 八 左ノ場合ニ於テハ大阪市ハ一手販賣ノ許可ヲ取消スモノトス
 - 一 一手販賣人カ許可取消ヲ願出タルトキ
 - 二 本市ニ於テ一手販賣人カ將來義務ヲ履行スル見込ナシト認ムルトキ
 - 三 一手販賣人ニ於テ他品ヲ本市ノ製品ト詐稱シ又ハ許可ヲ得スシテ他品ヲ混合シ或ハ本市ノ徽章アル容器ニ他ノ肥料ヲ入レ販賣シタルトキ
 - 四 一手販賣人カ許可區域以外ニ轉住シタルトキ
 - 五 本市ノ損害トナルヘキ行爲アリタルトキ其他市ニ於テ許可ノ取消ヲ必要ト認メタルトキ
- 九 第六項及第八項ノ場合ニ於テ一手販賣人ニ於テ損害ヲ蒙ルコトアルモ本市ハ其責ニ任セス

●塵芥賣却ニ關スル件

明治四十四年三月二十五日
市長 決

汚物掃除ヨリ生スル塵芥ハ買受希望者アルトキハ左ノ標準ニヨリ隨時衛生課長ニ於テ之ヲ賣却スルモノトス
一 塵芥壹艘(塵芥運漕船)ニ付金參拾錢以上
積量約六百貫匁

●船舶ヨリ生スル汚物蒐集ニ關スル件

明治三十七年二月三日
市參事會議決

大阪築港内ニ碇船スル船舶ヨリ生スル塵芥、石炭滓、荷粉(船艙掃除ニ因リ生シタル米、麥、豆其他ノ雜物)ハ衛生課ニ於テ之ヲ蒐集シ塵芥ハ燒却場ニ於テ燒却シ石炭滓ハ埋立地ニ利用シ荷粉ハ消毒ノ上取纏メ公賣ニ附スルモノトス
但本文事業ニ要スル船ハ當分ノ内衛生課備附ノ汚泥船ヲ充用シ人夫モ現員ノ内ヲ以テ繰合スコト

築港内碇泊船舶汚物掃除ニ關スル件

明治三十七年十一月十四日
市參事會議決

- 一 石炭滓并ニ塵芥 塵芥船壹艘ニ付(四百貫積) 壹圓五拾錢
- 一 荷粉類 無償

築港碇泊船舶ノ塵芥及灰燼

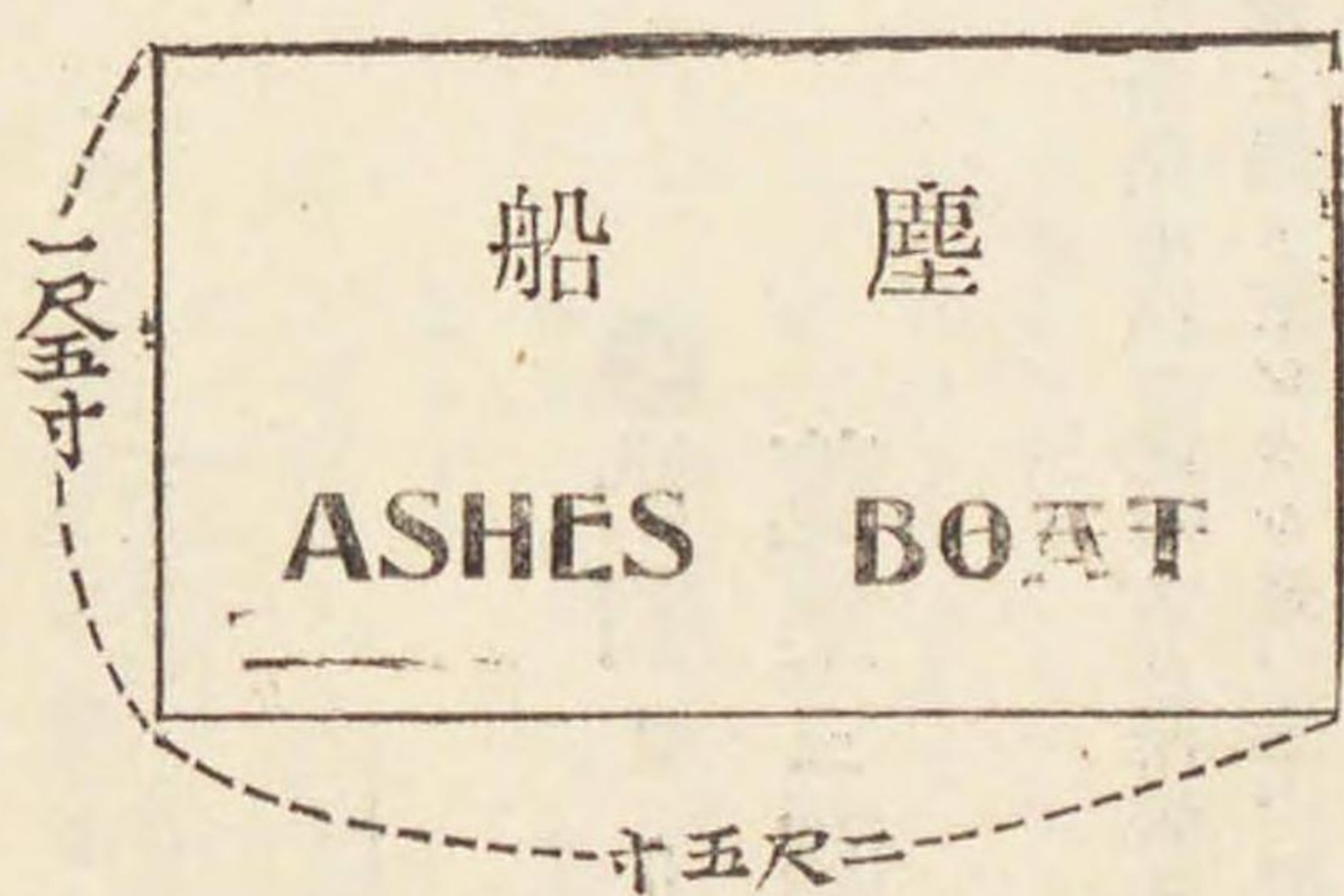
搬出船號旗其他ノ件

明治四十一年四月十八日
市長決定

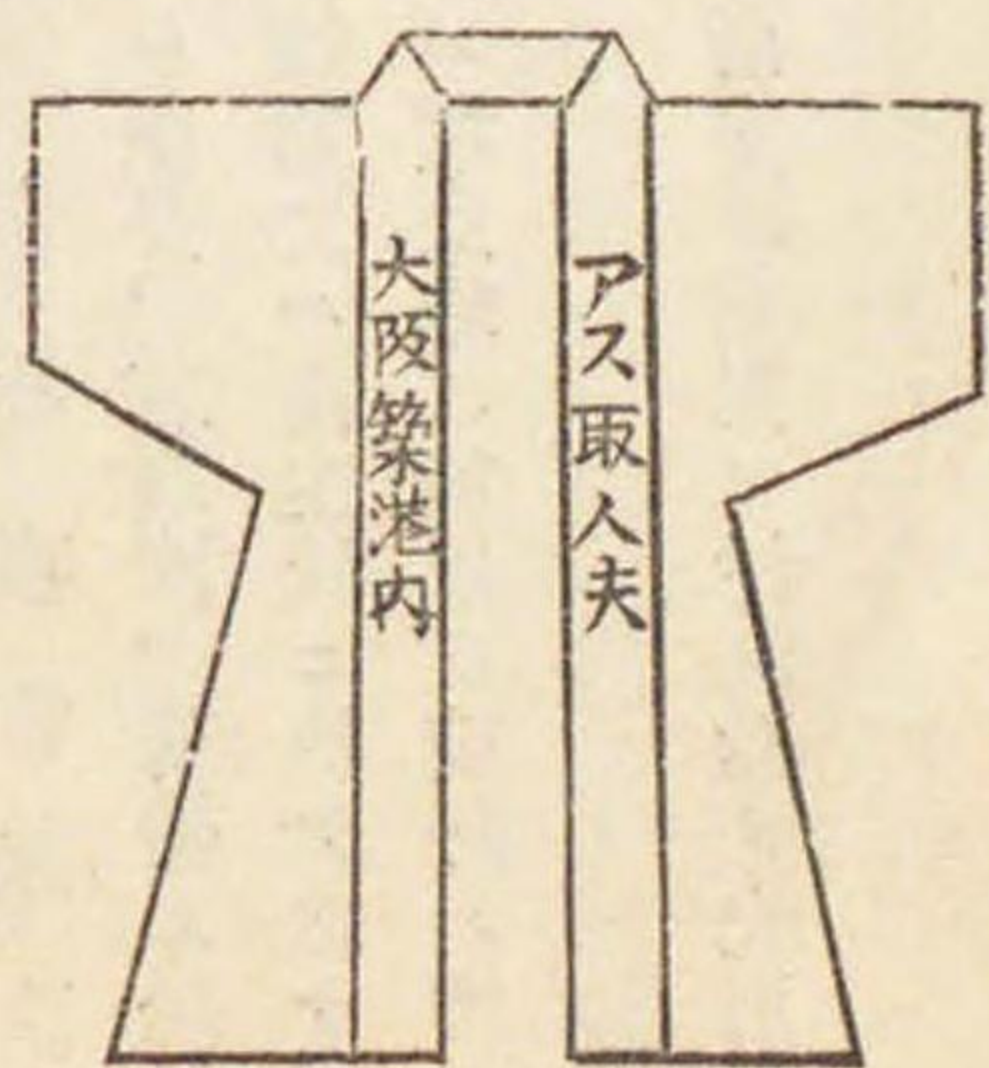
築港内碇泊船舶ノ塵芥及灰燼搬出船號旗及之ニ從事スル人夫ノ法被
ハ一般塵芥運漕船及運漕人夫ト同一ナル爲船船ヨリ塵船使用ノ要求
アル場合ニ於テ往々不便有之候ニ付自今右搬出船ニハ別紙雜形甲ノ
如キ號旗ヲ其船尾ニ掲ケシメ且全人夫ニハ雜形乙ノ如キ法被ヲ着用
セシムルモノトス

(別紙)
雜形(甲)

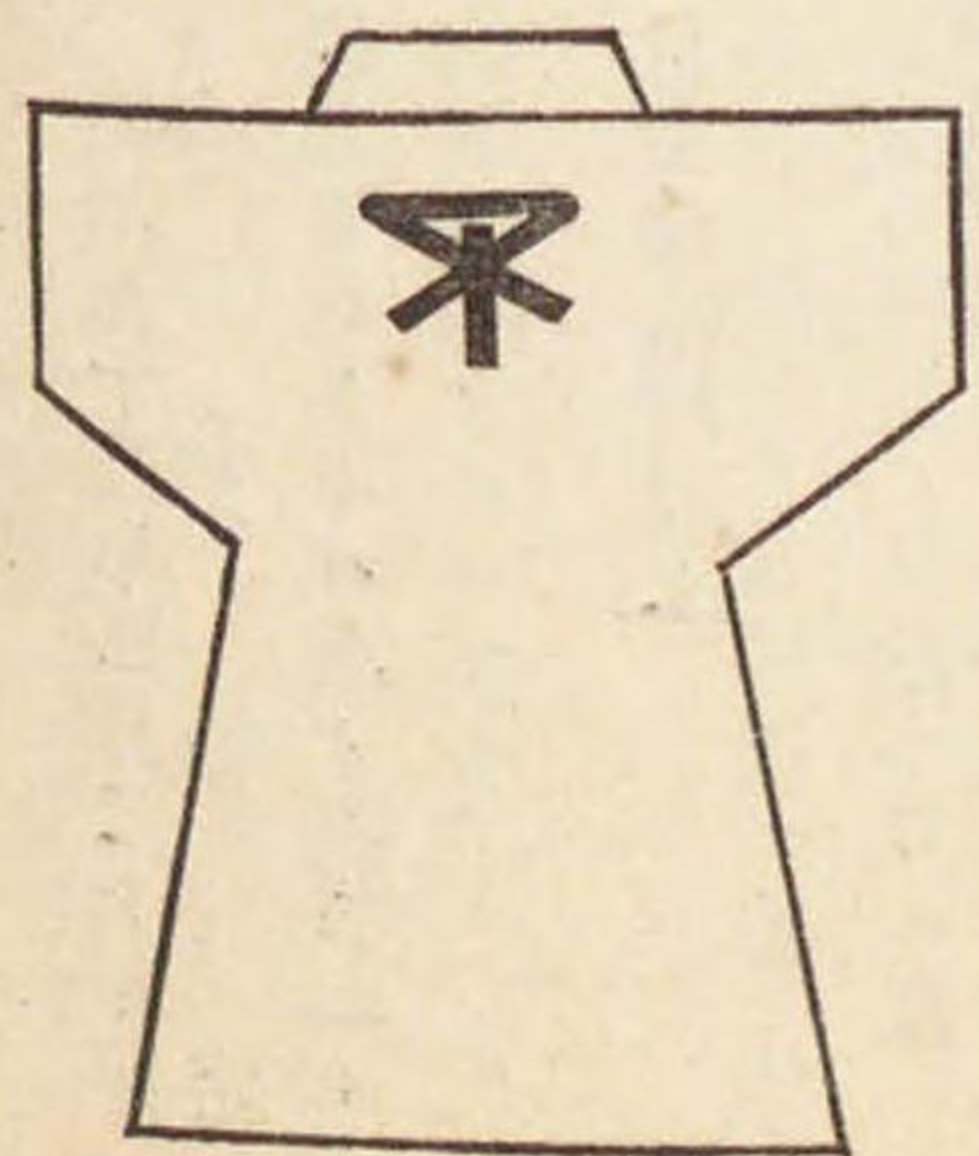
白地赤文字



(乙)



前面



後面

胞衣及汚物取扱規程

明治四十年六月十九日
告示 第四五號

胞衣及汚物取扱規程左ノ通相定ム

胞衣及汚物取扱規程

- 第一條 本規程ニ於テ胞衣及汚物ト稱スルハ明治三十二年九月大阪府令第八十三號胞衣及汚物取扱規程ニ該當スヘキモノヲ云フ
- 第二條 胞衣及汚物處分ノ爲メ焼却場及消毒場ヲ西區尻無川河口ニ埋没地ヲ府下東成郡天王寺村市立天王寺葬儀所内ニ設置ス
- 第三條 前條ノ處分ヲナスニ必要ナル吏員及人夫ヲ衛生課、埋没地、焼却場及消毒場ニ配置ス
- 前項ノ吏員ハ衛生課長ノ指揮ヲ受ケ庶務又ハ人夫ノ監督ニ從事シ衛生課詰人夫ハ專ラ胞衣及汚物ノ蒐集ニ埋没地焼却場及消毒場詰人夫ハ埋没焼却又ハ消毒事業ニ從事スルモノトス
- 第四條 胞衣及汚物ヲ蒐集運搬スル器具及運搬車ハ臭氣ノ發散汚液ノ漏洩ヲ防止スルノ裝置ヲ爲シ且ツ外觀ヲ損セサルモノヲ使用スヘキモノトス
- 第五條 胞衣及汚物取扱手数料ハ左ノ種別ニ依リ徵收ス
但赤貧者並ニ胞衣ト全時ニ取扱フ汚物ニ對シテハ手数料ヲ徵收セス

- 一 胞衣及汚物取扱手数料
 - 特等 一回ニ付 金貳圓
 - 一等 全 金壹圓

- 二等 一回ニ付 金五拾錢
- 三等 全 金參拾錢
- 一 汚物取扱手数料 金參拾錢
- 汚水 一回ニ付 金拾錢
- 胞衣全 金拾錢

胞衣取扱ニ關スル特等ニ對シテハ前項ノ外石標料トシテ金壹圓ヲ徵收ス

- 第六條 胞衣ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ處分ス
 - 一 取扱手数料三等ニ該當スルモノハ之ヲ埋没又ハ焼却ス
 - 二 全二等ニ該當スルモノハ埋没ノ上木標ヲ建テ二年間保存シ其後ハ胞衣塚ニ合祀ス
 - 三 全一等ニ該當スルモノハ埋没ノ上石標ヲ建テ五年間保存シ其後ハ胞衣塚ニ合祀ス
 - 四 全特等ニ該當スルモノハ埋没ノ上石標ヲ建テ之ヲ保存ス
- 第七條 汚物ハ之ヲ埋没又ハ焼却ス但汚染物中襪トシテ價格ヲ有スルモノハ總テ消毒洗滌シテ之ヲ賣却ス
- 第八條 胞衣及汚物取扱ヲ受ケントスルトキハ其旨市役所衛生課ニ申込ムヘシ
- 第九條 衛生課ニ於テ前條ノ申込ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク蒐集其他適當ノ處分ヲナスヘシ
- 第十條 本規程ノ外胞衣及汚物取扱ニ關スル細則及料金ノ徵集方法等ハ市長之ヲ定ム

第三章 衛生試驗所

●市立大阪衛生試驗所規則

明治卅九年八月十日
規則第四號

沿革) 四二年一〇月規則第二號改正

本市會ニ於テ市立大阪衛生試驗所規則ヲ議決シ市制第二百二十三條ニ依リ大阪府參事會ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

市立大阪衛生試驗所規則

第一條 本市西區阿波堀通三丁目^{三十二}番地ニ衛生試驗所ヲ置キ左ノ事項ニ關スル事項

- 一 防疫ニ關スル事項
- 二 水道ノ水質ニ關スル事項
- 三 住民其他ノ請求スル衛生上ノ事項
- 四 其他本市衛生ニ關スル事項

第二條 衛生試驗所ニ左ノ職員ヲ置ク但技師以下ノ人員ハ豫算ノ範圍内ニ於テ増減スルコトヲ得

- 所長 一人
- 技師 二人
- 書記 三人
- 助手 五人

第三條 所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ所内ノ事務ヲ管理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第四條 技師及助手ハ所長ノ指揮ヲ承ケ試驗ニ關スル事務ニ從事ス

第五條 助手ハ所長ノ指揮ヲ承ケ試驗ニ關スル事務ヲ補助ス

第六條 書記ハ所長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第七條 衛生試驗所事務ノ分課又ハ細則ハ市參事會ノ認可ヲ得テ所長之ヲ定ム

●市立大阪衛生試驗所細則

明治卅九年八月十五日
大阪市告示第六三號

(沿革) 四三年一月告示第一號改正

本年大阪市規則第四號市立大阪衛生試驗所規則第七條ニ依リ市參事會ニ於テ認可シタル市立大阪衛生試驗所細則左ノ如シ

市立大阪衛生試驗所細則

第一條 本所ニ部ヲ置キ事務ヲ分擔スルコト左ノ如シ

- 第一部
 - 一 細菌ニ關スル事項
 - 一 身體検査ニ關スル事項
 - 一 其他ノ醫事ニ關スル事項

第二部

- 一 水道及其他ノ水質ニ關スル事項
- 一 飲食物ニ關スル事項
- 一 其他ノ理化學ニ關スル事項

第三部

- 一 文書ノ起案、編纂ニ關スル事項
- 一 物品ノ出納、保管、其他會計ニ關スル事項
- 一 公印ノ保管ニ關スル事項
- 一 人事ニ關スル事項
- 一 他ノ主管ニ屬セサル事項

第二條 第一部及第二部ニ検査簿ヲ備ヘ各検査要件ヲ記入シ第三部ニ日誌ヲ備ヘ日々ノ事故ヲ記載スヘシ

第三條 所長事故アルトキハ上席者其職務ヲ代理ス

第四條 所長ハ毎年一月前年中ノ事務要項ヲ市參事會ニ報告スヘシ

第五條 本所及所長ノ印章ハ左ノ如シ

所 市立大阪
衛生試驗
所之印

分三寸一方

所長印 市立大阪
衛生試驗
所長之印

分八方

第六條 住民其他ノ請求スル物件ノ検査成績ハ主任者ヨリ庶務部ニ

第七條 住民其他ノ請求スル物件ノ検査ニ對シテハ手数料ヲ徴收セ

第十六類 衛生

五三七

ス但多額ノ費用ヲ要スルモノハ其實費ヲ納付セシムルコトアルヘシ

第八條 左ノ事項ハ所長ニ於テ處辨スヘシ

- 一 一廉金拾圓未満ノ建物修繕、人夫ノ使役及物品購入、修繕又ハ賣却ニ關スル事
- 二 介補以下ノ進退ニ關スル事
- 三 職員ノ市内出張ニ關スル事

前項第一號及第二號ニ關スル前月分ノ事項ハ翌月十日迄市參事會ニ報告スヘシ

第九條 前條第一項第一號ニ掲ケサル建物修繕及物品ノ購入、修繕又ハ賣却等ハ衛生課ヲ經テ各主務課ニ請求スヘシ

第十條 收支ニ關スル納付書又ハ請求書ハ相當科目ヲ付シ二日以内ニ市參事會ニ廻付スヘシ

第十一條 會計整理ノ爲メ本所ニ左ノ帳簿ヲ備ヘ出納ノ事績並ニ現在高テ明ニスヘシ

- 一 財產原簿
- 一 備品明細簿
- 一 消耗品受拂簿
- 一 經費豫算差引簿

第十二條 本所ノ執務時間ハ市役所ノ執務時間ニ據ル

第十三條 職員病氣又ハ忌引等ニテ勤務シ能ハサルトキハ當日出勤時刻ニ所長宛其旨ヲ届出ヘシ但病氣欠勤一週間以上ニ亘ルトキハ

第十六類 衛生

第四條 所内定期試験ニ供スル材料ノ採取者ハ所長ニ於テ相當技術者タル資格ヲ認メタル者ニ限ル

第五條 所内定期試験ニ於テ全月ニ渉リ其成績良好ナルモノニ對シ特ニ附録第二様式品質認定書ヲ附與スルコトアルヘシ依頼者ハ左ノ場合ニ於テ該認定書ノ全文ヲ其翌月中ノ牛乳容器ニ封紙トシテ用ユル事ヲ得

第六條 第一條〇項ノ出張試験ヲ施シタルトキハ其成績ヲ即時ニ發表シ同時ニ其所轄府縣令規定全乳資格ヲ具フルモノニ對シテハ願ニ依リ該容器ニ證明封箋ヲ貼布スルモノトス封箋ハ附録第三様式ニ據ル

第七條 前條ノ出張検査ハ日出ヨリ日没ニ至ル間ニ於テ行フモノナレトモ若シ願出人ニシテ取扱上ノ都合ニヨリ夜間ノ出張ヲ要求スルモノアルトキハ之ヲ許可スルコトアルヘシ但此場合ニ於ケル料金ハ別ニ之ヲ定ム

第八條 試験標本タルヘキ牛乳ハ凝固セサルモノニ限り其分量ハ一種ニ付二百瓦以下トシ之ヲ還付セサルモノトス

第九條 出張試験ノ際ハ出張員自ラ標本ヲ採取スルモノトス而シテ一種ノ検体量一石以下ハ上下二層ニ於テ以上ハ五斗毎ニ更ニ中層ニ於テ各一種ノ標本ヲ採取シ各別ニ試験ヲ行ヒ其成績ヲ報告スルモノトス

第十條 試験報告書ハ附録第三乃至第七様式ニ仍テ調製スルモノトス
第十一條 試験料ハ凡テ前納セシメ證明封箋料ハ其月分ヲ積算シ翌月五日迄ニ納付セシム

(附録第一様式)

牛乳試験施行願

拙者取扱ニ係ル牛乳ニ對シ品質検査相願度候ニ付テハ検査ニ對スル營業上ノ廣告其他ノ吹聴等ハ豫メ必ス御承諾ヲ承ケ萬事御迷惑相掛ケ申間敷候間日々(或ハ毎月幾回宛)引續キ御検査施行被成下度此段奉願候也

検査所在地

明治 年 月 日

何 某 〇

市立大阪衛生試験所長何之某殿

(附録第二様式)

第二部第 號 試驗報告

一牛乳

依頼人 何 之 某 殿

目的 品質認定

右依頼人カ取扱ニ係ル牛乳ニ對シノ衛生的試験ヲ施行スルニ其月中ノ成績別紙ノ如クニシテ其品質良好ナル全乳ノ資格ヲ具備スルモノト認定ス

市立大阪衛生試験所

明治 年 月 日

所 長 何 之 某 〇
主任技師 何 之 某 〇

(附録第三様式)

(省略ス)

(附録第四様式)

第二部第 號試驗報告

一牛乳

住所 依頼人 何 之 某 殿

目的 定量分析

當所ニ差出シタル品ハ固有ノ臭味(色彩)ヲ具ヘ 性ノ反應ヲ徴シ比重ハ攝氏十五度ニ於テ ナリ今之カ分析ヲ遂クルニ其百分中含有スル成分量左ノ如シ

一水分

一固形物

一脂肪

一カゼイン 一アルブミン 一ラクトロブテイン(或ハ蛋白質)

一乳糖 一灰 分

右成績ニ依レハ本品ハ主要成分ノ含量配合適當ニシテ品質良好ナル牛乳ト認定ス

明治 年 月 日

市立大阪衛生試験所

所 長 何 之 某 〇
主任技師 何 之 某 〇

(附録第五様式)

第二部 種瓶

號試驗報告

一牛乳

住所

第十六類 衛生

(附録第六様式)

牛乳試験施行願

拙者取扱ニ係ル牛乳ニ對シ品質検査相願度候ニ付テハ検査ニ對スル營業上ノ廣告其他ノ吹聴等ハ豫メ必ス御承諾ヲ承ケ萬事御迷惑相掛ケ申間敷候間日々(或ハ毎月幾回宛)引續キ御検査施行被成下度此段奉願候也

検査所在地

明治 年 月 日

何 某 〇

市立大阪衛生試験所長何之某殿

(附録第七様式)

第二部第 號 試驗報告

一牛乳

依頼人 何 之 某 殿

目的 品質認定

本所ニ差出シタル品ニ就キ試験ヲ遂クルニ其成績左ノ如クニシテ全乳ノ資格ヲ有スルモノト認ム

市立大阪衛生試験所

明治 年 月 日

所 長 何 之 某 〇
主任技師 何 之 某 〇

(附録第八様式)

(省略ス)

(附録第九様式)

第二部第 號試驗報告

一牛乳

住所 依頼人 何 之 某 殿

目的 衛生的試験

何々府縣牛乳營業取締規則ニ合格スルモノト認ム

一水分

一固形物

一脂肪

一カゼイン 一アルブミン 一ラクトロブテイン(或ハ蛋白質)

一乳糖 一灰 分

右成績ニ依レハ本品ハ主要成分ノ含量配合適當ニシテ品質良好ナル牛乳ト認定ス

明治 年 月 日

市立大阪衛生試験所

所 長 何 之 某 〇
主任技師 何 之 某 〇

(附録第十様式)

第二部 種瓶

號試驗報告

一牛乳

住所

第十六類 衛生

住所

依頼人 何 之 某 殿

目的 衛生的試験

明治 年 月中依頼人ノ取扱ニ係ル牛乳全量ニ對シ日朝夕貳回所
員出張検査ヲ施行セル成績左ノ如シ

一 色臭味 一 反應 一 攝氏十五度ノ温ニ於ケル平均比重
一 百分中ニ含有スル平均脂肪量 一人爲的混合物
右成績ニ依リ全牛乳ハ品質純良ニシテ全乳ノ資格ヲ有セシモノタル
ヲ證明ス

市立大阪衛生試験所

所 長 何

主任技師 何

某 某

一 其月内ニ於テ五種以上ノ検査ヲ出願シタルトキハ

第五種以上第九種マテ 壹種ニ付 金參拾錢宛

第十種以上第十九種マテ 全 金貳拾五錢宛

第二十種以上 全 金貳拾錢宛

一 市内又ハ其接續町村ニ出張検査ノ上封緘紙貼用ヲ出願シタル
トキハ

其月内十日以内 検査料 金貳拾圓

全 二十日以内 全 金貳拾五圓

全 壹箇月間 全 金參拾圓

一 但右ハ一日二回毎回五種以下ノ料金ニシテ六種以上ハ二種ニ
付金拾錢ヲ増徴ス

封緘料 一日ヲ通シテ 金五拾錢

封緘千枚ニ付 以上十枚以下ヲ増ス毎ニ金五厘ヲ増徴ス

●牛乳検査ニ對シ料金割引 徴收ノ件

明治四十一年十一月十日
市 長 決 定

爾今其月内ニ於テ多數ノ牛乳検査ヲ豫メ種數ヲ定メテ出願シタルモ
ノニ對シテハ明治四十一年十月七日市參事會決其費徴收額明細書但
書ニ基キ左記ノ標準額ニ依リテ料金ヲ徴收スルモノトス

一 同五ホンド未滿ノモノハ 五拾箇
以下ノ藥品ハ各其下ニ示セル箇數迄テ一口トナスヘシ
亞硝酸アミール 二五〇箇
フイソスチアミン 鹽類

キールバルサム 五 箇
コバイバルサム 皮 五 箇
水銀軟膏 膏 六 箇
亞鉛華軟膏 膏 一 樽

肝油 六 箇
葡萄酒 一 樽
一 試驗實費徴收額ハ一口ニ付 金壹圓
但急速ヲ要スル場合ハ金貳圓トス

一 封緘紙代ハ 壹枚 金壹錢
一 實費及封緘紙代共一廉金五圓ヲ超過スルトキハ其割額額ス
一小分事業ハ一切出願者ニテ行フコト
但當所ヨリ嚴重ナル監督ヲナスモノトス

一 出願品ハ當所ニテ倉庫ニ保管スルモ火災盜難等ニ對シテハ當所ハ
其責任ヲ負ハス

一 左記ノ藥品ハ試験ノ依頼ニ應スルモ唯其成績報告書ヲ交付スルノ
ミニシテ検査封緘ノ紙ハ貼布セス

石榴皮、サリチール酸ガーゼ、大黃エキス、含糖沃度鐵、次醋
酸鉛液、稠厚牛膽、石炭酸綿、昇汞綿、ヨーフオ綿、沸騰散、
緩下沸騰散、アセチールタンニン、昇汞ガーゼ、ヨーフオガ
七、大黃丁幾

●藥品其他ノ試験依頼者心得

明治四十一年十月七日
市立大阪衛生試験所所長決定

一 依頼品ハ一口ニ付左記ノ制限箇數ヲ超ユルコトヲ許サス

一 一容器ノ内容四百ホンド以上ノモノハ 壹 箇

一 同百ホンド以上四百ホンド未滿ノモノハ 拾 箇

一 同五ホンド以上百ホンド未滿ノモノハ 拾五箇

一 左記ノ藥品ハ試験依頼ニ應セス

桂皮水、橙皮水、茴香水、薄荷水、彈力コロヂウム、紙類、發
泡コロヂウム、煎劑、硬膏劑(英法絆創膏單鉛硬膏ヲ除ク)商
陸、止血綿、浸劑、擦劑、漿渣水劑(硫規丸、水銀丸、ケレオ
ソート丸ヲ除ク)アルテア、コンナ、大黃、覆盆子、センナニ
ナノ六舍利別、散劑(ドーナル氏散、サルチル酸、滑石散ヲ除
ク)芳香精、芳香丁幾、海葱丁幾、復方ラヘンテル丁幾、ヘ
ラ軟膏、強弱發泡膏、其他藥石去中「用ニ臨ンテ調製スヘシ」ノ明
文アル藥品

一 封緘紙ヲ貼布スヘキ藥品内容ノ量目ハ左ノ標準ニヨルヘシ

〇々一分三厘 〇グラム五〇

〇々二分六厘 一グラム〇〇

一 〇々 三グラム七五

七 〇々五分 二八グラム「オンス」

一五 〇々〇〇 五六グラム「二オンス」

三〇 〇々〇〇 一一二グラム「四オンス」

六〇 〇々〇〇 二二五グラム「半ポンド」

一二〇 〇々〇〇 四五〇グラム「ポンド」

斤(一六〇 〇々) 貫 基

葡 萄 酒 四合(七二〇CC)

サ フ ラ ン 二合(三六〇CC)

但見本品ノ封藥品其他特別ノ理由アルモノハ特ニ右標準量以
外ノ小分ヲナスコトアルヘシ

● 検査物件中飲食物ニ對シ
封緘紙料金徴收ノ件

明治四十一年十二月七日
市長 決 定

飲食物(牛乳ヲ除ク)ノ検査物件ニ對シ證明封緘紙貼布ヲ出願シタル場合ニ於テハ左記ノ標準額ニ據リテ料金ヲ徴收スルモノトス

- 第壹號紙 壹枚ニ付 金壹厘
 - 第貳號紙 全 金貳厘
 - 第參號紙 全 金參厘
 - 第四號紙 全 金五厘
 - 第五號紙 全 金壹錢
- 但料金ノ總額以下ハ錢位ニ繰上ケトス

物質又ハ試験方法ノ如何ニヨリ右明細書ニ準據シ料金ヲ徴收シテ試験ヲ施行スルモノトス

● 裁判所ヨリノ囑託ニ係ル
諸種鑑定ニ關スル件

明治四十一年十一月十六日
市長 決 定

裁判所ヨリノ諸種鑑定ノ囑託ヲ受ケタルトキハ所長限リ之ヲ執行スルモノトス

● 實費徴收額明細書以外ノ
物件依頼ニ對シ料金徴收
ノ件

明治四十三年四月十六日
市參事會 議 決

明治四十一年十月七日決定ニ係ル衛生試験實費徴收額明細書記載以外ノ物件ニ對シ試験ヲ願出ツル者アルトキハ其試験實費徴收額ハ其

第四章 傳染病豫防 消毒

● 傳染病豫防消毒事務取
扱規程

明治卅四年三月八日
大阪市告示 第八號

- 第一條 區役所又ハ市ノ當該吏員ニ於テ傳染病豫防法第三條及第四條ノ届出ヲ受ケ又ハ警察官吏ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ消毒團ニ通報スヘシ
- 市役所ニ於テ届出ヲ受ケタルトキハ直ニ區役所及警察署ニ通報スヘシ
- 第二條 消毒團ニ於テ前條ノ通報ヲ受ケタルトキハ直ニ現場ニ出張シ消毒又ハ輸送ノ事務ニ従事スヘシ直接届出ニ接シタルトキ亦同シ
- 第三條 傳染病豫防法第七條及施行規則第五條ニ依リ傳染病院又ハ隔離所ニ入ラシムルトキハ市役所ハ送狀ヲ附スヘシ其様式ハ別ニ之ヲ定ム
- 傳染病院又ハ隔離所ニ入ラシメタルトキハ區役所ニ通知スヘシ區役所ニ於テ其通知ヲ受ケタルトキハ本人ニ關スル戸籍謄本ヲ市役所ニ送付スヘシ
- 第四條 患者ニ屬スル費用ハ別段ノ規程ニ依リ市役所ノ通知ヲ受ケ區役所ニ於テ取扱モノトス
- 第五條 傳染病院ニ收容シタル患者ニシテ全治シタルトキハ退院ノ前日病院ヨリ市役所區役所及本人ノ戸主又ハ家族若クハ其他ノ關

係者ハ退院ノ日時ヲ通知スヘシ
區役所ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ所轄警察署ニ通知スヘシ

第六條 收容患者カ病症増進シタルトキハ傳染病院ハ本人ノ戸主又ハ家族若クハ其他ノ關係者ヘ通知スヘシ

收容患者死亡シタルトキハ市役所區役所及本人ノ戸主又ハ家族若クハ其他ノ關係者ニ通知スヘシ

區役所ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ所轄警察署ニ通知スヘシ

第七條 死体ノ處分ハ戸主又ハ家族若クハ其他ノ關係者ナシテ之ヲ爲サシム但戸主又ハ家族其他ノ關係者ナキトキ若クハ遠隔ノ地ニ在リテ其手續ヲ爲シ難キトキハ傳染病院ニ於テ火葬ノ手續ヲ爲スヘシ此場合ニ於テ百ケ日以内ニ其遺骨ノ受取方ヲ申出ルモノナキトキハ相當ノ場所ヘ納骨ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 前條ノ規定ハ第二條ニ依リ出張シタルトキ患者既ニ死亡シタル場合ノ處分ニ之ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ認許證下附ノ請求アリタルトキハ區役所ハ實地ニ出張シテ之ヲ下附スヘシ

第九條 消毒物品ノ運搬ハ布製ノ袋ニ收納シ之ニ封印ヲ施スヘシ

第十條 交通遮斷ノ爲メ隔離所ニ收容スヘキ場合ニ於テ其區域内ノ財産管理ノ爲メ當該吏員ノ承認ヲ得テ若干人ヲ留居セシムルコトヲ得

第十一條 隔離所ニ收容シタルモノニシテ其隔離期限夜間ニ屬スル